

一般教養科目

目次

日本語表現 1	1	社会学 α(前期), β(後期)	103
日本語表現 2	5	アート・マネジメント α(前期), β(後期)	107
日本語表現 3	9	比較文化論 α(前期), β(後期)	111
日本語表現 4	13	日本国憲法 I 人権 α(前期), β(後期)	117
日本語表現 5	17	日本国憲法 II 統治 α(前期), β(後期)	122
サイエンス α(前期), β(後期)	22	宗教学 α(前期), β(後期)	127
心理学 α(前期), β(後期)	25	美術史 α(前期), β(後期)	131
キャリア・デザイン α(前期), β(後期)	32	哲学 α(前期), β(後期)	148
情報リテラシー初級 I A α(前期)	37	体育講義 I α(前期), β(後期)	153
情報リテラシー初級 I B β(後期)	41	体育講義 II α(前期), β(後期)	158
情報リテラシー初級 II C α(前期)	45	体育実技 1 音楽家のためのトータルコンディショニング* α(前期), β(後期)	163
情報リテラシー初級 II D α(前期)	49	体育実技 2 ハフォーマンスアップ*骨体操 α(前期), β(後期)	169
情報リテラシー初級 II E β(後期)	53	体育実技 3 音楽家のための身体トレーニング* α(前期), β(後期)	176
情報リテラシー初級 III R β(後期)	57	体育実技 4 心身コントロール α(前期), β(後期)	182
情報リテラシー中級 I H α(前期)	62	体育実技 5 骨盤・肩甲骨からのリラクゼーション α(前期), β(後期)	188
ロシアの言語と文化 α(前期), β(後期)	65	体育実技 6 ナンハリスミック α(前期), β(後期)	196
日本の言語と文化 α(前期), β(後期)	70	体育実技 7 Let's Play! α(前期), β(後期)	200
英米の言語と文化 α(前期), β(後期)	76	体育実技 8 音楽と共に生きる心と身体 α(前期), β(後期)	204
ドイツの言語と文化 α(前期), β(後期)	81	体育実技特別コース(前期),(後期)	208
フランスの言語と文化 α(前期), β(後期)	87	体育実技 9 室内球技 α(前期), β(後期)	212
日本文化史 α(前期), β(後期)	90		
西洋史 α(前期), β(後期)	95		
国際政治学 α(前期), β(後期)	99		

日本語表現 1					
担当教員 内田 裕太 講師			曜日時限		水 4 時限
実施キャンパス	仙川	単位	2 単位	対象年次	学部 1 年

【授業の概要】

本授業では、前期においては日本語の多様な表現方法を小説や詩歌、評論等を通じて学ぶとともに、自己紹介文の作成や文章の要約といった実作を通じて、主として＜読む力＞と＜書く力＞の習得を目指す。後期においては音楽家としてのキャリアを見据えた上で、テーマに沿った形でプレゼンテーションやディスカッションを行い、＜聞く力＞と＜話す力＞の向上を図る。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話すという4つの観点に沿って、自身の思考や感性を場面に応じて適切に言語化するための方法を学び、実践できるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

1年生必修

【授業の形式】

講義と演習を中心とする。なお、後期にはキャリア支援センターとの連携授業を行う予定である。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	50%	50%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に

判断し、S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業時にフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1.前期の授業および「日本語表現」における総合的なイントロダクションを行う。

その際、簡単な自己紹介も行ってもらおう。

事前学習	自身のこれまでの読書遍歴を振り返り、印象に残っている作品をいくつかピッ	時間	45 分
------	-------------------------------------	----	------

	クアップしておくこと。		
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、理解を深めること。	時間	45 分

2.〈書く力〉に焦点を当て、「自己紹介文」の作成についての概要説明と準備を行う。

事前学習	「自己紹介文」についての構想を練っておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、理解を深めること。	時間	45 分

3.「自己紹介文」を完成させ、それをもとにして簡単なディスカッションを行う。

事前学習	「自己紹介文」の作成の準備を行うこと。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を振り返り、自身の「自己紹介文」について再検討してみる。	時間	45 分

4.レポートの書き方について学ぶ(句読点や文体など)①。

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業での実践を踏まえ、理解を深めること。	時間	45 分

5.レポートの書き方について学ぶ(書き出しや段落構成など)②。

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業での実践を踏まえ、理解を深めること。	時間	45 分

6.レポートの書き方について学ぶ(参考文献表記や資料の収集)③。

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業での実践を踏まえ、理解を深めること。	時間	45 分

7.〈読む力〉・〈書く力〉に焦点を当て、日本の近現代文学の複数の短篇を、主として表現技法に着目しつつ精読する①。

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

8.〈読む力〉・〈書く力〉に焦点を当て、日本の近現代文学の複数の短篇を、主として表現技法に着目しつつ精読する②。

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

9.〈読む力〉・〈書く力〉に焦点を当て、日本の近現代文学の複数の短篇を、主として表現技法に着目しつつ精読する③。

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

10.〈読む力〉・〈書く力〉に焦点を当て、日本の現代詩について、主として表現技法に着目しつつ精読する。

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

11.〈読む力〉・〈書く力〉に焦点を当て、日本の現代短歌について、主として表現技法に着目しつつ精読する。

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

	ること。		
--	------	--	--

12.〈読む力〉・〈書く力〉に焦点を当て、近年に書かれた日本の評論を精読する①。

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

13.〈読む力〉・〈書く力〉に焦点を当て、近年に書かれた日本の評論を精読する②。

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

14.〈読む力〉・〈書く力〉に焦点を当て、近年に書かれた日本の評論を精読する③。

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

15.学期末レポートの提出と前期のまとめを行う。

事前学習	学期末レポートに取り組み、Classroom を通じて事前に提出すること。	時間	60 分
事後学習	前期の授業を振り返り、内容を整理すること。	時間	30 分

【授業展開と内容-後期】

1.後期の授業についての総合的なイントロダクションを行う。

事前学習	自身の音楽家としてのキャリア形成について言語化できるよう、具体的にイメージしておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、理解を深めること。	時間	45 分

2.〈聞く力〉・〈話す力〉に焦点を当て、プレゼンテーションの方法についての概要説明を行う。

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくること。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、理解を深めること。	時間	45 分

3.〈聞く力〉・〈話す力〉に焦点を当て、ディスカッションの方法についての概要説明を行う。

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくること。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、理解を深めること。	時間	45 分

4.キャリア支援センターとの連携授業(音楽家としてのキャリアについて考える内容)を予定。

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくること。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、理解を深めること。	時間	45 分

5.キャリア支援センターとの連携授業(音楽家としてのキャリアについて考える内容)を予定。

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくること。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、理解を深めること。	時間	45 分

6.第 2 回の授業内容を振り返り、プレゼンテーションの準備を行う。

事前学習	プレゼンテーションの方法について、以前の授業を振り返り、復習しておくこと。	時間	45 分
------	---------------------------------------	----	------

	と。		
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、理解を深めること。	時間	45 分

7.〈聞く力〉・〈話す力〉に焦点を当て、プレゼンテーションの実践を行う①。

事前学習	プレゼンテーションの構想を練っておくこと。	時間	45 分
事後学習	自身の発表内容を振り返り、再検討してみる。	時間	45 分

8.〈聞く力〉・〈話す力〉に焦点を当て、プレゼンテーションの実践を行う②。

事前学習	プレゼンテーションの構想を練っておくこと。	時間	45 分
事後学習	自身の発表内容を振り返り、再検討してみる。	時間	45 分

9.第3回の授業内容を振り返り、トピックスを選定した上で、グループディスカッションの準備を行う。

事前学習	ディスカッションの方法について、以前の授業を振り返り、復習しておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、理解を深めること。	時間	45 分

10.〈聞く力〉・〈話す力〉に焦点を当て、選定したトピックスをもとに、グループディスカッションを行う①。

事前学習	グループディスカッションの構想を練っておくこと。	時間	45 分
事後学習	自身の発表内容を振り返り、再検討してみる。	時間	45 分

11.〈聞く力〉・〈話す力〉に焦点を当て、選定したトピックスをもとに、グループディスカッションを行う②。

事前学習	グループディスカッションの構想を練っておくこと。	時間	45 分
事後学習	自身の発表内容を振り返り、再検討してみる。	時間	45 分

12.〈聞く力〉・〈話す力〉に焦点を当て、選定したトピックスをもとに、グループディスカッションを行う③。

事前学習	グループディスカッションの構想を練っておくこと。	時間	45 分
事後学習	自身の発表内容を振り返り、再検討してみる。	時間	45 分

13.〈異文化コミュニケーション〉について、文学作品を含む複数の文章を通じて検討を行う(言語の越境性について①)。

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

14.〈異文化コミュニケーション〉について、文学作品を含む複数の文章を通じて検討を行う(言語の越境性について②)。

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

15.学期末レポートの提出と後期のまとめを行う。

事前学習	学期末レポートに取り組み、Classroom を通じて事前に提出すること。	時間	60 分
事後学習	後期の授業を振り返り、内容を整理すること。	時間	30 分

【オフィスアワー】

木曜日 仙川教員室に授業前後に時間を確保します。

【テキスト】

【教材】

プリントを配布する。

日本語表現 2					
担当教員 内田 裕太 講師			曜日時限		木 2 時限
実施キャンパス	仙川	単位	2 単位	対象年次	学部 1 年

【授業の概要】

本授業では、前期においては日本語の多様な表現方法を小説や詩歌、評論等を通じて学ぶとともに、自己紹介文の作成や文章の要約といった実作を通じて、主として＜読む力＞と＜書く力＞の習得を目指す。後期においては音楽家としてのキャリアを見据えた上で、テーマに沿った形でプレゼンテーションやディスカッションを行い、＜聞く力＞と＜話す力＞の向上を図る。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話すという4つの観点に沿って、自身の思考や感性を場面に応じて適切に言語化するための方法を学び、実践できるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

1年生必修

【授業の形式】

講義と演習を中心とする。なお、後期にはキャリア支援センターとの連携授業を行う予定である。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	50%	50%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業時にフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1.前期の授業および「日本語表現」における総合的なイントロダクションを行う。

その際、簡単な自己紹介も行ってもらおう。

事前学習	自身のこれまでの読書遍歴を振り返り、印象に残っている作品をいくつかピックアップしておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、理解を深めること。	時間	45 分

2.〈書く力〉に焦点を当て、「自己紹介文」の作成についての概要説明と準備を行う。

事前学習	「自己紹介文」についての構想を練っておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、理解を深めること。	時間	45 分

3.「自己紹介文」を完成させ、それをもとにして簡単なディスカッションを行う。

事前学習	「自己紹介文」の作成の準備を行うこと。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を振り返り、自身の「自己紹介文」について再検討してみる。	時間	45 分

4.レポートの書き方について学ぶ(句読点や文体など)①。

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業での実践を踏まえ、理解を深めること。	時間	45 分

5.レポートの書き方について学ぶ(書き出しや段落構成など)②。

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業での実践を踏まえ、理解を深めること。	時間	45 分

6.レポートの書き方について学ぶ(参考文献表記や資料の収集)③。

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業での実践を踏まえ、理解を深めること。	時間	45 分

7.〈読む力〉・〈書く力〉に焦点を当て、日本の近現代文学の複数の短篇を、主として表現技法に着目しつつ精読する①。

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

8.〈読む力〉・〈書く力〉に焦点を当て、日本の近現代文学の複数の短篇を、主として表現技法に着目しつつ精読する②。

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

9.〈読む力〉・〈書く力〉に焦点を当て、日本の近現代文学の複数の短篇を、主として表現技法に着目しつつ精読する③。

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

10.〈読む力〉・〈書く力〉に焦点を当て、日本の現代詩について、主として表現技法に着目しつつ精読する。

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

11.〈読む力〉・〈書く力〉に焦点を当て、日本の現代短歌について、主として表現技法に着目しつつ精読する。

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

12.〈読む力〉・〈書く力〉に焦点を当て、近年に書かれた日本の評論を精読する①。

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

13.〈読む力〉・〈書く力〉に焦点を当て、近年に書かれた日本の評論を精読する②。

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

14.〈読む力〉・〈書く力〉に焦点を当て、近年に書かれた日本の評論を精読する③。

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

15.学期末レポートの提出と前期のまとめを行う。

事前学習	学期末レポートに取り組み、Classroom を通じて事前に提出すること。	時間	60 分
事後学習	前期の授業を振り返り、内容を整理すること。	時間	30 分

【授業展開と内容-後期】

1.後期の授業についての総合的なイントロダクションを行う。

事前学習	自身の音楽家としてのキャリア形成について言語化できるよう、具体的にイメージしておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、理解を深めること。	時間	45 分

2.〈聞く力〉・〈話す力〉に焦点を当て、プレゼンテーションの方法についての概要説明を行う。

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくること。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、理解を深めること。	時間	45 分

3.〈聞く力〉・〈話す力〉に焦点を当て、ディスカッションの方法についての概要説明を行う。

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくること。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、理解を深めること。	時間	45 分

4.キャリア支援センターとの連携授業(音楽家としてのキャリアについて考える内容)を予定。

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくること。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、理解を深めること。	時間	45 分

5.キャリア支援センターとの連携授業(音楽家としてのキャリアについて考える内容)を予定。

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくること。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、理解を深めること。	時間	45 分

6.第2回の授業内容を振り返り、プレゼンテーションの準備を行う。

事前学習	プレゼンテーションの方法について、以前の授業を振り返り、復習しておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、理解を深めること。	時間	45 分

7.〈聞く力〉・〈話す力〉に焦点を当て、プレゼンテーションの実践を行う①。

事前学習	プレゼンテーションの構想を練っておくこと。	時間	45 分
事後学習	自身の発表内容を振り返り、再検討してみる。	時間	45 分

8.〈聞く力〉・〈話す力〉に焦点を当て、プレゼンテーションの実践を行う②。

事前学習	プレゼンテーションの構想を練っておくこと。	時間	45 分
事後学習	自身の発表内容を振り返り、再検討してみる。	時間	45 分

9.第3回の授業内容を振り返り、トピックスを選定した上で、グループディスカッションの準備を行う。

事前学習	ディスカッションの方法について、以前の授業を振り返り、復習しておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、理解を深めること。	時間	45 分

10.〈聞く力〉・〈話す力〉に焦点を当て、選定したトピックスをもとに、グループディスカッションを行う①。

事前学習	グループディスカッションの構想を練っておくこと。	時間	45 分
事後学習	自身の発表内容を振り返り、再検討してみる。	時間	45 分

11.〈聞く力〉・〈話す力〉に焦点を当て、選定したトピックスをもとに、グループディスカッションを行う②。

事前学習	グループディスカッションの構想を練っておくこと。	時間	45 分
事後学習	自身の発表内容を振り返り、再検討してみる。	時間	45 分

12.〈聞く力〉・〈話す力〉に焦点を当て、選定したトピックスをもとに、グループディスカッションを行う③。

事前学習	グループディスカッションの構想を練っておくこと。	時間	45 分
事後学習	自身の発表内容を振り返り、再検討してみる。	時間	45 分

13.〈異文化コミュニケーション〉について、文学作品を含む複数の文章を通じて検討を行う(言語の越境性について①)。

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

14.〈異文化コミュニケーション〉について、文学作品を含む複数の文章を通じて検討を行う(言語の越境性について②)。

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

15.学期末レポートの提出と後期のまとめを行う。

事前学習	学期末レポートに取り組み、Classroom を通じて事前に提出すること。	時間	60 分
事後学習	後期の授業を振り返り、内容を整理すること。	時間	30 分

【オフィスアワー】

木曜日 仙川教員室に授業前後に時間を確保します。

【教材】

プリントを配布する。

日本語表現 3					
担当教員 増田 高士 講師			曜日時限		金 2 時限
実施キャンパス 仙川	単位	2 単位		対象年次	学部 1 年

【授業の概要】

本授業では、日本語の多様な表現技法を多角的に学習する。教材は古典から現代文学(小説・評論・詩歌等)にとどまらず、楽曲の歌詞、キャッチコピー、ネットミーム、オノマトペといった日常に溢れる表現を幅広く扱うことで、日本語の表現技術の向上を図る。また、学生同士のディスカッションを通じて他者の意見を深く理解する力を養うとともに、定期的なプレゼンテーション(発表)の実践によって、自身の考えを論理的かつ的確に伝える力の習得を目指す。音楽家として社会に出る際に必要となる、実用的かつクリエイティブな言語運用能力を総合的に磨く場とする。

【到達目標】

- ・自身のキャリア目標や楽曲の背景、あるいは複雑な情報の要点を論理的に整理し、状況に応じた適切な形式(文章・口頭)でアウトプットできるようになる。
- ・短歌やオノマトペなどの定型表現を通じて、感性を豊かな語彙で言語化できるようになる。
- ・敬語やメール等の基礎的な表現作法を「型」として習得し、音楽の現場や社会生活において、相手への敬意を保ちながら自分の意志を的確に伝えられるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

1 年生必修

【授業の形式】

主に講義と演習形式で行う。後期にキャリア支援との連携授業を日程調整の上で 2 回実施する予定である。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	60%	40%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、S, A, B, C, D で評価する。

なお、3 分の 2 以上の授業に出席していない場合は単位を認めないこととする。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業時にフィードバックする。

学年末試験／学年末レポートはない。

【授業展開と内容-前期】

1.授業のガイダンスと受講者の自己紹介

事前学習	簡単な自己紹介を考えてくること。	時間	50 分
事後学習	授業の要点を復習すること。	時間	40 分

2.説明文の読み書き

事前学習	自分の楽器の演奏方法やメンテナンス法を他者に伝えられるように考えてくること。	時間	50 分
事後学習	授業内で扱った課題を完成させること。	時間	40 分

3.説明文を発表する

事前学習	自分の楽器の演奏方法やメンテナンス法を他者に伝えられるように考えてくること。	時間	50 分
事後学習	授業の要点を復習すること。	時間	40 分

4.詩歌を学ぶ・短歌を作る

事前学習	自分が鑑賞したことのある詩歌や短歌の表現を振り返っておくこと。	時間	60 分
事後学習	授業の要点を復習すること。	時間	30 分

5.歌詞の表現を学ぶ

事前学習	自分が感銘を受けた楽曲の歌詞の表現を振り返り、整理しておくこと。	時間	60 分
事後学習	授業の要点を復習すること。	時間	30 分

6.キャッチコピー・広告文を学ぶ

事前学習	自分が知っているキャッチコピー・広告文の表現を振り返り、整理しておくこと。	時間	60 分
事後学習	授業内で扱った課題を完成させること。	時間	30 分

7.オノマトペを学ぶ

事前学習	自分が知っているキャッチコピー・広告文の表現を振り返り、整理しておくこと。	時間	60 分
事後学習	授業内で扱った課題を完成させること。	時間	30 分

8.受講者による発表①キャッチコピー・広告文・オノマトペ

事前学習	自分の発表内容について、内容や表現をブラッシュアップさせ、発表に備えること。	時間	50 分
事後学習	授業の要点を復習すること。	時間	40 分

9.受講者による発表②キャッチコピー・広告文・オノマトペ

事前学習	自分の発表内容について、内容や表現をブラッシュアップさせ、発表に備えること。	時間	50 分
事後学習	授業の要点を復習すること。	時間	40 分

10.インターネット(SNS・ショート動画・サブスクリプション・AI 等)と音楽について考える

事前学習	インターネットの発達と音楽の関係について、自分が普段感じていることを整理しておくこと。	時間	60 分
事後学習	授業内で扱った課題を完成させること。	時間	30 分

11.プレゼンテーションを学ぶ①

事前学習	自分の発表内容について、内容や表現をブラッシュアップさせ、発表に備えること。	時間	50 分
事後学習	授業の要点を復習すること。	時間	40 分

12.プレゼンテーションを学ぶ②

事前学習	自分の発表内容について、内容や表現をブラッシュアップさせ、発表に備えること。	時間	50 分
事後学習	授業の要点を復習すること。	時間	40 分

13.プレゼンテーションを学ぶ③

事前学習	自分の発表内容について、内容や表現をブラッシュアップさせ、発表に備えること。	時間	50 分
事後学習	授業の要点を復習すること。	時間	40 分

14.メールの書き方を学ぶ

事前学習	普段の自分のメールの書き方を振り返り、整理しておくこと。	時間	50 分
事後学習	授業の要点を復習すること。	時間	40 分

15.楽器と身体と言語について考え、ディスカッションする

事前学習	楽器と身体の境界線について、あるいは演奏中に何を考えているのか(音楽と言語の関係)について考えてくること。	時間	60 分
事後学習	授業の要点を復習すること。	時間	30 分

【授業展開と内容-後期】

1.敬語の使い方を学ぶ①

事前学習	普段の自分の敬語の使い方を振り返り、整理しておくこと。	時間	40 分
事後学習	授業の要点を復習し、普段の敬語使用に活かすこと。	時間	50 分

2.キャリア支援センターとの連携授業①

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	40 分
事後学習	授業の要点を復習すること。	時間	50 分

3.キャリア支援センターとの連携授業②

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	40 分
事後学習	授業の要点を復習すること。	時間	50 分

4.敬語の使い方を学ぶ②

事前学習	普段の自分の敬語の使い方を振り返り、整理しておくこと。	時間	40 分
事後学習	授業の要点を復習し、普段の敬語使用に活かすこと。	時間	50 分

5.評論を学ぶ

事前学習	自分が読んだことのある評論を選び、要約できるように文章をしっかりと読んでくること。	時間	60 分
事後学習	授業内で扱った課題を完成させること。	時間	30 分

6.プレゼンテーションの実践①

事前学習	自分の発表内容について、内容や表現をブラッシュアップさせ、発表に備えること。	時間	60 分
事後学習	授業の要点を復習すること。	時間	30 分

7.プレゼンテーションの実践②

事前学習	自分の発表内容について、内容や表現をブラッシュアップさせ、発表に備えること。	時間	60 分
事後学習	授業の要点を復習すること。	時間	30 分

8.プレゼンテーションの実践③

事前学習	自分の発表内容について、内容や表現をブラッシュアップさせ、発表に備えること。	時間	60 分
事後学習	授業の要点を復習すること。	時間	30 分

9.プレゼンテーションの実践④

事前学習	自分の発表内容について、内容や表現をブラッシュアップさせ、発表に備えること。	時間	60 分
事後学習	授業の要点を復習すること。	時間	30 分

10.キャリアプラン(仮)を構築する

事前学習	音楽家としてどのように活動し、生計を立てていくのかを具体的にイメージすること。仮のものであっても問題ない。	時間	60 分
事後学習	授業内で扱った課題を完成させること。	時間	30 分

11.受講者による発表①キャリアプラン

事前学習	自分の発表内容について、内容や表現をブラッシュアップさせ、発表に備えること。	時間	50 分
事後学習	授業の要点を復習すること。	時間	40 分

12.受講者による発表②キャリアプラン

事前学習	自分の発表内容について、内容や表現をブラッシュアップさせ、発表に備えること。	時間	50 分
事後学習	授業の要点を復習すること。	時間	40 分

13.受講者による発表③キャリアプラン

事前学習	自分の発表内容について、内容や表現をブラッシュアップさせ、発表に備えること。	時間	50 分
事後学習	授業の要点を復習すること。	時間	40 分

14.履歴書・エントリーシートの書き方を学ぶ

事前学習	自分の学歴や長所などのプロフィールを整理してくる。	時間	60 分
事後学習	授業の要点を復習すること。	時間	30 分

15.授業のまとめ

事前学習	これまでの授業を復習すること。未提出課題がある場合は必ず最後の授業までに完成させて、提出すること。	時間	60 分
事後学習	授業の要点を復習すること。	時間	30 分

【オフィスアワー】

金曜日 仙川教室にて授業前後に時間を確保します。

【テキスト】

【教材】

適宜、プリントを配布する

【その他】

日本語表現 4					
担当教員	内田 裕太 講師		曜日時限	木 4 時限	
実施キャンパス	仙川	単位	2 単位	対象年次	学部 1 年

【授業の概要】

本授業では、前期においては日本語の多様な表現方法を小説や詩歌、評論等を通じて学ぶとともに、自己紹介文の作成や文章の要約といった実作を通じて、主として＜読む力＞と＜書く力＞の習得を目指す。後期においては音楽家としてのキャリアを見据えた上で、テーマに沿った形でプレゼンテーションやディスカッションを行い、＜聞く力＞と＜話す力＞の向上を図る。

【到達目標】

読む、書く、聞く、話すという4つの観点に沿って、自身の思考や感性を場面に応じて適切に言語化するための方法を学び、実践できるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

1年生必修

【授業の形式】

講義と演習を中心とする。なお、後期にはキャリア支援センターとの連携授業を行う予定である。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	50%	50%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業時にフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1.前期の授業および「日本語表現」における総合的なイントロダクションを行う。

その際、簡単な自己紹介も行ってもらう。

事前学習	自身のこれまでの読書遍歴を振り返り、印象に残っている作品をいくつかピックアップしておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、理解を深めること。	時間	45 分

2.〈書く力〉に焦点を当て、「自己紹介文」の作成についての概要説明と準備を行う。

事前学習	「自己紹介文」についての構想を練っておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、理解を深めること。	時間	45 分

3.「自己紹介文」を完成させ、それをもとにして簡単なディスカッションを行う。

事前学習	「自己紹介文」の作成の準備を行うこと。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を振り返り、自身の「自己紹介文」について再検討してみる。	時間	45 分

4.レポートの書き方について学ぶ(句読点や文体など)①。

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業での実践を踏まえ、理解を深めること。	時間	45 分

5.レポートの書き方について学ぶ(書き出しや段落構成など)②。

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業での実践を踏まえ、理解を深めること。	時間	45 分

6.レポートの書き方について学ぶ(参考文献表記や資料の収集)③。

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業での実践を踏まえ、理解を深めること。	時間	45 分

7.〈読む力〉・〈書く力〉に焦点を当て、日本の近現代文学の複数の短篇を、主として表現技法に着目しつつ精読する①。

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深め	時間	45 分

	ること。		
--	------	--	--

8.〈読む力〉・〈書く力〉に焦点を当て、日本の近現代文学の複数の短篇を、主として表現技法に着目しつつ精読する②。

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

9.〈読む力〉・〈書く力〉に焦点を当て、日本の近現代文学の複数の短篇を、主として表現技法に着目しつつ精読する③。

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

10.〈読む力〉・〈書く力〉に焦点を当て、日本の現代詩について、主として表現技法に着目しつつ精読する。

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

11.〈読む力〉・〈書く力〉に焦点を当て、日本の現代短歌について、主として表現技法に着目しつつ精読する。

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

12.〈読む力〉・〈書く力〉に焦点を当て、近年に書かれた日本の評論を精読する①。

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

13.〈読む力〉・〈書く力〉に焦点を当て、近年に書かれた日本の評論を精読する②。

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

14.〈読む力〉・〈書く力〉に焦点を当て、近年に書かれた日本の評論を精読する③。

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

15.学期末レポートの提出と前期のまとめを行う。

事前学習	学期末レポートに取り組み、Classroom を通じて事前に提出すること。	時間	60 分
事後学習	前期の授業を振り返り、内容を整理すること。	時間	30 分

【授業展開と内容-後期】

1.後期の授業についての総合的なイントロダクションを行う。

事前学習	自身の音楽家としてのキャリア形成について言語化できるよう、具体的にイメージしておくこと。	時間	45 分
------	--	----	------

事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、理解を深めること。	時間	45 分
------	--------------------------	----	------

2.〈聞く力〉・〈話す力〉に焦点を当て、プレゼンテーションの方法についての概要説明を行う。

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、理解を深めること。	時間	45 分

3.〈聞く力〉・〈話す力〉に焦点を当て、ディスカッションの方法についての概要説明を行う。

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、理解を深めること。	時間	45 分

4.キャリア支援センターとの連携授業(音楽家としてのキャリアについて考える内容)を予定。

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、理解を深めること。	時間	45 分

5.キャリア支援センターとの連携授業(音楽家としてのキャリアについて考える内容)を予定。

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、理解を深めること。	時間	45 分

6.第2回の授業内容を振り返り、プレゼンテーションの準備を行う。

事前学習	プレゼンテーションの方法について、以前の授業を振り返り、復習しておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、理解を深めること。	時間	45 分

7.〈聞く力〉・〈話す力〉に焦点を当て、プレゼンテーションの実践を行う①。

事前学習	プレゼンテーションの構想を練っておくこと。	時間	45 分
事後学習	自身の発表内容を振り返り、再検討してみる。	時間	45 分

8.〈聞く力〉・〈話す力〉に焦点を当て、プレゼンテーションの実践を行う②。

事前学習	プレゼンテーションの構想を練っておくこと。	時間	45 分
事後学習	自身の発表内容を振り返り、再検討してみる。	時間	45 分

9.第3回の授業内容を振り返り、トピックスを選定した上で、グループディスカッションの準備を行う。

事前学習	ディスカッションの方法について、以前の授業を振り返り、復習しておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、理解を深めること。	時間	45 分

10.〈聞く力〉・〈話す力〉に焦点を当て、選定したトピックスをもとに、グループディスカッションを行う①。

事前学習	グループディスカッションの構想を練っておくこと。	時間	45 分
事後学習	自身の発表内容を振り返り、再検討してみる。	時間	45 分

11.〈聞く力〉・〈話す力〉に焦点を当て、選定したトピックスをもとに、グループディスカッションを行う②。

事前学習	グループディスカッションの構想を練っておくこと。	時間	45 分
事後学習	自身の発表内容を振り返り、再検討してみる。	時間	45 分

12.〈聞く力〉・〈話す力〉に焦点を当て、選定したトピックスをもとに、グループディスカッションを行う③。

事前学習	グループディスカッションの構想を練っておくこと。	時間	45 分
事後学習	自身の発表内容を振り返り、再検討してみる。	時間	45 分

13.〈異文化コミュニケーション〉について、文学作品を含む複数の文章を通じて検討を行う(言語の越境性について①)。

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

14.〈異文化コミュニケーション〉について、文学作品を含む複数の文章を通じて検討を行う(言語の越境性について②)。

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

15.学期末レポートの提出と後期のまとめを行う。

事前学習	学期末レポートに取り組み、Classroom を通じて事前に提出すること。	時間	60 分
事後学習	後期の授業を振り返り、内容を整理すること。	時間	30 分

【オフィスアワー】

木曜日 仙川教員室に授業前後に時間を確保します。

【テキスト】

【教材】

プリントを配布する。

【その他】

日本語表現 5					
担当教員	増田 高士 講師	曜日時限		金 3 時限	
実施キャンパス	仙川	単位	2 単位	対象年次	学部 1 年

【授業の概要】

本授業では、日本語の多様な表現技法を多角的に学習する。教材は古典から現代文学(小説・評論・詩歌等)にとどまらず、楽曲の歌詞、キャッチコピー、ネットミーム、オノマトペといった日常に溢れる表現を幅広く扱うことで、日本語の表現技術の向上を図る。また、学生同士のディスカッションを通じて他者の意見を深く理解する力を養うとともに、定期的なプレゼンテーション(発表)の実践によって、自身の考えを論理的かつ的確に伝える力の習得を目指す。音楽家として社会に出る際に必要となる、実用的かつクリエイティブな言語運用能力を総合的に磨く場とする。

【到達目標】

- ・自身のキャリア目標や楽曲の背景、あるいは複雑な情報の要点を論理的に整理し、状況に応じた適切な形式(文章・口頭)でアウトプットできるようになる。
- ・短歌やオノマトペなどの定型表現を通じて、感性を豊かな語彙で言語化できるようになる。
- ・敬語やメール等の基礎的な表現作法を「型」として習得し、音楽の現場や社会生活において、相手への敬意を保ちながら自分の意志を的確に伝えられるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

1 年生必修

【授業の形式】

主に講義と演習形式で行う。後期にキャリア支援との連携授業を日程調整の上で2回実施する予定である。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	60%	40%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、S, A, B, C, D で評価する。

なお、3分の2以上の授業に出席していない場合は単位を認めないこととする。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業時にフィードバックする。

学年末試験／学年末レポートはない。

【授業展開と内容-前期】

1.授業のガイダンスと受講者の自己紹介

事前学習	簡単な自己紹介を考えてくること。	時間	50 分
事後学習	授業の要点を復習すること。	時間	40 分

2.説明文の読み書き

事前学習	自分の楽器の演奏方法やメンテナンス法を他者に伝えられるように考えてくること。	時間	50 分
事後学習	授業内で扱った課題を完成させること。	時間	40 分

3.説明文を発表する

事前学習	自分の楽器の演奏方法やメンテナンス法を他者に伝えられるように考えてくること。	時間	50 分
事後学習	授業の要点を復習すること。	時間	40 分

4.詩歌を学ぶ・短歌を作る

事前学習	自分が鑑賞したことのある詩歌や短歌の表現を振り返っておくこと。	時間	60 分
事後学習	授業の要点を復習すること。	時間	30 分

5.歌詞の表現を学ぶ

事前学習	自分が感銘を受けた楽曲の歌詞の表現を振り返り、整理しておくこと。	時間	60 分
事後学習	授業の要点を復習すること。	時間	30 分

6.キャッチコピー・広告文を学ぶ

事前学習	自分が知っているキャッチコピー・広告文の表現を振り返り、整理しておくこと。	時間	60 分
事後学習	授業内で扱った課題を完成させること。	時間	30 分

7.オノマトペを学ぶ

事前学習	自分が知っているキャッチコピー・広告文の表現を振り返り、整理しておくこと。	時間	60 分
事後学習	授業内で扱った課題を完成させること。	時間	30 分

8.受講者による発表①キャッチコピー・広告文・オノマトペ

事前学習	自分の発表内容について、内容や表現をブラッシュアップさせ、発表に備えること。	時間	50 分
事後学習	授業の要点を復習すること。	時間	40 分

9.受講者による発表②キャッチコピー・広告文・オノマトペ

事前学習	自分の発表内容について、内容や表現をブラッシュアップさせ、発表に備えること。	時間	50 分
事後学習	授業の要点を復習すること。	時間	40 分

10.インターネット(SNS・ショート動画・サブスクリプション・AI 等)と音楽について考える

事前学習	インターネットの発達と音楽の関係について、自分が普段感じていることを整理しておくこと。	時間	60 分
事後学習	授業内で扱った課題を完成させること。	時間	30 分

11.プレゼンテーションを学ぶ①

事前学習	自分の発表内容について、内容や表現をブラッシュアップさせ、発表に備えること。	時間	50 分
事後学習	授業の要点を復習すること。	時間	40 分

12.プレゼンテーションを学ぶ②

事前学習	自分の発表内容について、内容や表現をブラッシュアップさせ、発表に備えること。	時間	50 分
事後学習	授業の要点を復習すること。	時間	40 分

13.プレゼンテーションを学ぶ③

事前学習	自分の発表内容について、内容や表現をブラッシュアップさせ、発表に備えること。	時間	50 分
事後学習	授業の要点を復習すること。	時間	40 分

14.メールの書き方を学ぶ

事前学習	普段の自分のメールの書き方を振り返り、整理しておくこと。	時間	50 分
事後学習	授業の要点を復習すること。	時間	40 分

15.楽器と身体と言語について考え、ディスカッションする

事前学習	楽器と身体の世界線について、あるいは演奏中に何を考えているのか(音楽と言語の関係)について考えてくること。	時間	60 分
事後学習	授業の要点を復習すること。	時間	30 分

【授業展開と内容-後期】

1.敬語の使い方を学ぶ①

事前学習	普段の自分の敬語の使い方を振り返り、整理しておくこと。	時間	40 分
事後学習	授業の要点を復習し、普段の敬語使用に活かすこと。	時間	50 分

2.キャリア支援センターとの連携授業①

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	40 分
事後学習	授業の要点を復習すること。	時間	50 分

3.キャリア支援センターとの連携授業②

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	40 分
事後学習	授業の要点を復習すること。	時間	50 分

4.敬語の使い方を学ぶ②

事前学習	普段の自分の敬語の使い方を振り返り、整理しておくこと。	時間	40 分
事後学習	授業の要点を復習し、普段の敬語使用に活かすこと。	時間	50 分

5.評論を学ぶ

事前学習	自分が読んだことのある評論を選び、要約できるように文章をしっかりと読んでくること。	時間	60 分
事後学習	授業内で扱った課題を完成させること。	時間	30 分

6.プレゼンテーションの実践①

事前学習	自分の発表内容について、内容や表現をブラッシュアップさせ、発表に備えること。	時間	60 分
事後学習	授業の要点を復習すること。	時間	30 分

7.プレゼンテーションの実践②

事前学習	自分の発表内容について、内容や表現をブラッシュアップさせ、発表に備えること。	時間	60 分
事後学習	授業の要点を復習すること。	時間	30 分

8.プレゼンテーションの実践③

事前学習	自分の発表内容について、内容や表現をブラッシュアップさせ、発表に備えること。	時間	60 分
事後学習	授業の要点を復習すること。	時間	30 分

9.プレゼンテーションの実践④

事前学習	自分の発表内容について、内容や表現をブラッシュアップさせ、発表に備えること。	時間	60 分
事後学習	授業の要点を復習すること。	時間	30 分

10. キャリブラン(仮)を構築する

事前学習	音楽家としてどのように活動し、生計を立てていくのかを具体的にイメージすること。仮のものであっても問題ない。	時間	60 分
事後学習	授業内で扱った課題を完成させること。	時間	30 分

11. 受講者による発表①キャリブラン

事前学習	自分の発表内容について、内容や表現をブラッシュアップさせ、発表に備えること。	時間	50 分
事後学習	授業の要点を復習すること。	時間	40 分

12. 受講者による発表②キャリブラン

事前学習	自分の発表内容について、内容や表現をブラッシュアップさせ、発表に備えること。	時間	50 分
事後学習	授業の要点を復習すること。	時間	40 分

13. 受講者による発表③キャリブラン

事前学習	自分の発表内容について、内容や表現をブラッシュアップさせ、発表に備えること。	時間	50 分
事後学習	授業の要点を復習すること。	時間	40 分

14. 履歴書・エントリーシートの書き方を学ぶ

事前学習	自分の学歴や長所などのプロフィールを整理してくること。	時間	60 分
事後学習	授業の要点を復習すること。	時間	30 分

15. 授業のまとめ

事前学習	これまでの授業を復習すること。未提出課題がある場合は必ず最後の授業までに完成させて、提出すること。	時間	60 分
事後学習	授業の要点を復習すること。	時間	30 分

【オフィスアワー】

金曜日 仙川教室にて授業前後に時間を確保します。

【テキスト】

【教材】

適宜、プリントを配布する

【その他】

サイエンス α (前期), β (後期)					
担当教員 里岡 純子 講師			曜日時限		木 3 時限
実施キャンパス 仙川	単位	各 2 単位		対象年次	学部 1 年～

【授業の概要】

サイエンスすなわち自然科学は、自然界に見られる現象に論理性と普遍的な法則を見いだす学問であり、情報のあふれる現代社会において、各自が適切な判断と選択をするために不可欠な教養である。前期は、生活の中の力、熱、電気などが関わる現象を扱い、後期は音と光など波動に関わる現象を中心に講義する。

【到達目標】

ニュースの中の出来事、身の回りの現象について科学的な考察を加えることが出来るようになること。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

義務教育の範囲の数学を修得していることが望ましい。

【授業の形式】

講義

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	60%	40%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業授業時にフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1.オリエンテーション:単位と次元

事前学習	日々のニュースの中にサイエンスの要素を探す。	時間	30 分
事後学習	講義で配布されたプリントを読み直し、講義内容について理解を深める。	時間	60 分

2.ベクトルとスカラー: $1+1=2$ は正しいか？

事前学習	日々のニュースの中にサイエンスの要素を探す。	時間	30 分
------	------------------------	----	------

事後学習	講義で配布されたプリントを読み直し、講義内容について理解を深める。	時間	60 分
------	-----------------------------------	----	------

3.質点の運動の表し方:動き方と力を結びつけるスタート

事前学習	日々のニュースの中にサイエンスの要素を探す。	時間	30 分
事後学習	講義で配布されたプリントを読み直し、講義内容について理解を深める。	時間	60 分

4.運動の法則:ニュートンが見つけたこと

事前学習	日々のニュースの中にサイエンスの要素を探す。	時間	30 分
事後学習	講義で配布されたプリントを読み直し、講義内容について理解を深める。	時間	60 分

5.仕事とエネルギー:食べないと動けない

事前学習	日々のニュースの中にサイエンスの要素を探す。	時間	30 分
事後学習	講義で配布されたプリントを読み直し、講義内容について理解を深める。	時間	60 分

6.剛体のつりあい:大きさをもったものが止まっているということ

事前学習	日々のニュースの中にサイエンスの要素を探す。	時間	30 分
事後学習	講義で配布されたプリントを読み直し、講義内容について理解を深める。	時間	60 分

7.角運動量と慣性モーメント:猫が犬よりも落下事故に強い理由

事前学習	日々のニュースの中にサイエンスの要素を探す。	時間	30 分
事後学習	講義で配布されたプリントを読み直し、講義内容について理解を深める。	時間	60 分

8.圧力:ハイヒールに踏まれたくないのは何故か

事前学習	日々のニュースの中にサイエンスの要素を探す。	時間	30 分
事後学習	講義で配布されたプリントを読み直し、講義内容について理解を深める。	時間	60 分

9.流体:重たい飛行機が浮かぶ不思議

事前学習	日々のニュースの中にサイエンスの要素を探す。	時間	30 分
事後学習	講義で配布されたプリントを読み直し、講義内容について理解を深める。	時間	60 分

10.熱と温度 I:物体が姿を変えるとき

事前学習	日々のニュースの中にサイエンスの要素を探す。	時間	30 分
事後学習	講義で配布されたプリントを読み直し、講義内容について理解を深める。	時間	60 分

11.熱と温度 II:エントロピーと不可逆性

事前学習	日々のニュースの中にサイエンスの要素を探す。	時間	30 分
事後学習	講義で配布されたプリントを読み直し、講義内容について理解を深める。	時間	60 分

12.電磁気 I:電気と安全につきあう為に

事前学習	日々のニュースの中にサイエンスの要素を探す。	時間	30 分
事後学習	講義で配布されたプリントを読み直し、講義内容について理解を深める。	時間	60 分

13.電磁気 II:電気と磁気の相互作用

事前学習	日々のニュースの中にサイエンスの要素を探す。	時間	30 分
事後学習	講義で配布されたプリントを読み直し、講義内容について理解を深める。	時間	60 分

14.ニュースの中のサイエンスについて課題提出(遠隔授業)

事前学習	日々のニュースの中にサイエンスの要素を探す。	時間	30 分
事後学習	第 1 回～第 13 回の講義で配布されたプリントを全て読み直し、理解が不十分な点について学習する。	時間	60 分

15.学習のまとめ

事前学習	日々のニュースの中にサイエンスの要素を探す。	時間	30 分
事後学習	講義で配布されたプリントを読み直し、講義内容について理解を深める。	時間	60 分

【授業展開と内容-後期】

1.オリエンテーション:科学する姿勢

事前学習	日々のニュースの中にサイエンスの要素を探す。	時間	30 分
事後学習	講義で配布されたプリントを読み直し、講義内容について理解を深める。	時間	60 分

2.波動とは？:波の本質は「伝わる」こと

事前学習	日々のニュースの中にサイエンスの要素を探す。	時間	30 分
事後学習	講義で配布されたプリントを読み直し、講義内容について理解を深める。	時間	60 分

3.波の一般的な性質:重ね合わせの原理

事前学習	日々のニュースの中にサイエンスの要素を探す。	時間	30 分
事後学習	講義で配布されたプリントを読み直し、講義内容について理解を深める。	時間	60 分

4.音波 I:弦と気柱の振動、音の3要素

事前学習	日々のニュースの中にサイエンスの要素を探す。	時間	30 分
事後学習	講義で配布されたプリントを読み直し、講義内容について理解を深める。	時間	60 分

5.音波 II:うなり、ドップラー効果

事前学習	日々のニュースの中にサイエンスの要素を探す。	時間	30 分
事後学習	講義で配布されたプリントを読み直し、講義内容について理解を深める。	時間	60 分

6.音波 III:超音波、テルミンのしくみ

事前学習	日々のニュースの中にサイエンスの要素を探す。	時間	30 分
事後学習	講義で配布されたプリントを読み直し、講義内容について理解を深める。	時間	60 分

7.音波 IV:音に秘められた驚きのパワー

事前学習	日々のニュースの中にサイエンスの要素を探す。	時間	30 分
事後学習	講義で配布されたプリントを読み直し、講義内容について理解を深める。	時間	60 分

8.光波 I:光を波ではなく直線だと思ってみると

事前学習	日々のニュースの中にサイエンスの要素を探す。	時間	30 分
事後学習	講義で配布されたプリントを読み直し、講義内容について理解を深める。	時間	60 分

9.光波 II:光が波だから説明できる自然現象

事前学習	日々のニュースの中にサイエンスの要素を探す。	時間	30 分
事後学習	講義で配布されたプリントを読み直し、講義内容について理解を深める。	時間	60 分

10.光波 III:完璧な虹を見る方法

事前学習	日々のニュースの中にサイエンスの要素を探す。	時間	30 分
事後学習	講義で配布されたプリントを読み直し、講義内容について理解を深める。	時間	60 分

11.光波Ⅳ:視覚の科学

事前学習	日々のニュースの中にサイエンスの要素を探す。	時間	30 分
事後学習	講義で配布されたプリントを読み直し、講義内容について理解を深める。	時間	60 分

12.電磁波Ⅰ:燈の歴史、紫外線と赤外線

事前学習	日々のニュースの中にサイエンスの要素を探す。	時間	30 分
事後学習	講義で配布されたプリントを読み直し、講義内容について理解を深める。	時間	60 分

13.ニュースの中のサイエンスについて課題提出(遠隔授業)

事前学習	日々のニュースの中にサイエンスの要素を探す。	時間	30 分
事後学習	第1回～第13回の講義で配布されたプリントを全て読み直し、理解が不十分な点について学習する。	時間	60 分

14.放射線とその応用:有るか無いかではなく、量が問題

事前学習	日々のニュースの中にサイエンスの要素を探す。	時間	30 分
事後学習	講義で配布されたプリントを読み直し、講義内容について理解を深める。	時間	60 分

15.学習のまとめ

事前学習	日々のニュースの中にサイエンスの要素を探す。	時間	30 分
事後学習	講義で配布されたプリントを読み直し、講義内容について理解を深める。	時間	60 分

【オフィスアワー】

木曜日仙川教室にて授業後に時間を確保します。

心理学 α (前期), β (後期)					
担当教員 水野 泰尚 講師			曜日時限		月 5 時限
実施キャンパス 仙川	単位	各 2 単位	対象年次	学部 1 年～	

【授業の概要】

心理学は人間の「心」に関する学問であるが、「心」は直接観測することは出来ないため、様々なアプローチが試みられてきた。

前期の α では、科学的な側面が強く、観察や実験を通して人間という生物の種の「心」に迫ろうとする実験系の心理学に関して、蓄積された知見を解説する。

後期の β では、個人の心の動きに注目した臨床系の心理学について、その対象や理論、さらに心理療法や心理検査等関

連した内容について説明する。

【到達目標】

心理学について、基礎的な知識や考え方を学び、身につけることができるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

心理学の分野は広大であり、取り扱う主要な各種心理学だけでも、それぞれ年間の講義が可能なほどだが、その中でも基礎的な内容について、かいつまんでそれぞれ数回ずつの授業に凝縮して講義を行い、主要な心理学の分野を一通りさらっていくため、授業のペースはそれなりのスピードになる。

そのため、対象年次は1年生からとなっているが、大学の講義に慣れた2～4年生になってからの受講の方が望ましい。

ただし、1年生でも初回の授業を受講して、大丈夫そうであれば履修して構わないが、受講に際して前期・後期の各初回授業時に相談に来ることを勧める。

なお、履修希望者が教室のサイズに対して過多になった場合は、学年が上の方から優先とする。また、本科目は「重複履修」を認めない。

【授業の形式】

講義形式。主に教員自作のプリントを用いる。

(前期・後期各1回ずつ、実技試験期間中の授業回は、大学からの要請により、オンデマンド型の遠隔授業として動画配信で実施。)

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	70%	30%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業授業時にフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1.心理学とは～メジャーな各種心理学の領域

事前学習	シラバスを読み授業内容を確認する。テキスト1として記載してある「図説心理学入門[第2版]」の入手を検討する。	時間	30分
事後学習	授業内容を復習し、前期の心理学αの講義の流れを確認する。 可能であれば、テキスト1として記載してある「図説心理学入門[第2版]」の入手する。少なくとも、テキスト1の内容に目を通す。	時間	60分

2.知覚と認知(認知心理学)①

事前学習	テキスト1として記載してある「図説心理学入門[第2版]」の該当箇所に目を通す。	時間	40分
事後学習	授業内容を復習し、認知心理学についての理解を深める。 テキスト1として記載してある「図説心理学入門[第2版]」の該当箇所を熟読し、復習する。	時間	50分

3.知覚と認知(認知心理学)②

事前学習	テキスト1として記載してある「図説心理学入門[第2版]」の該当箇所に目を通す。	時間	40分
事後学習	授業内容を復習し、認知心理学についての理解を深める。 テキスト1として記載してある「図説心理学入門[第2版]」の該当箇所を熟読し、復習する。	時間	50分

4.欲求と感情(行動心理学)①

事前学習	テキスト1として記載してある「図説心理学入門[第2版]」の該当箇所に目を通す。	時間	40分
事後学習	授業内容を復習し、行動心理学についての理解を深める。 テキスト1として記載してある「図説心理学入門[第2版]」の該当箇所を熟読し、復習する。	時間	50分

5.欲求と感情(行動心理学)②

事前学習	テキスト1として記載してある「図説心理学入門[第2版]」の該当箇所に目を通す。	時間	40分
事後学習	授業内容を復習し、行動心理学についての理解を深める。 テキスト1として記載してある「図説心理学入門[第2版]」の該当箇所を熟読し、復習する。	時間	50分

6.学習・思考・記憶(学習心理学)①

事前学習	テキスト1として記載してある「図説心理学入門[第2版]」の該当箇所に目を通す。	時間	40分
事後学習	授業内容を復習し、学習心理学についての理解を深める。 テキスト1として記載してある「図説心理学入門[第2版]」の該当箇所を熟読し、復習する。	時間	50分

7.学習・思考・記憶(学習心理学)②

事前学習	テキスト1として記載してある「図説心理学入門[第2版]」の該当箇所に目を通す。	時間	40分
事後学習	授業内容を復習し、学習心理学についての理解を深める。 テキスト1として記載してある「図説心理学入門[第2版]」の該当箇所を熟読し、復習する。	時間	50分

8.学習・思考・記憶(学習心理学)③

事前学習	テキスト1として記載してある「図説心理学入門[第2版]」の該当箇所に目を通す。	時間	40分
------	---	----	-----

事後学習	授業内容を復習し、学習心理学についての理解を深める。 テキスト1として記載してある「図説心理学入門[第2版]」の該当箇所を熟読し、復習する。	時間	50 分
------	---	----	------

9.発達・教育(発達心理学)①

事前学習	テキスト1として記載してある「図説心理学入門[第2版]」の該当箇所に目を通す。	時間	40 分
事後学習	授業内容を復習し、発達心理学についての理解を深める。 テキスト1として記載してある「図説心理学入門[第2版]」の該当箇所を熟読し、復習する。	時間	50 分

10.発達・教育(発達心理学)②

事前学習	テキスト1として記載してある「図説心理学入門[第2版]」の該当箇所に目を通す。	時間	40 分
事後学習	授業内容を復習し、発達心理学についての理解を深める。 テキスト1として記載してある「図説心理学入門[第2版]」の該当箇所を熟読し、復習する。	時間	50 分

11.対人心理と社会心理(社会心理学)①

事前学習	テキスト1として記載してある「図説心理学入門[第2版]」の該当箇所に目を通す。	時間	40 分
事後学習	授業内容を復習し、社会心理学についての理解を深める。 テキスト1として記載してある「図説心理学入門[第2版]」の該当箇所を熟読し、復習する。	時間	50 分

12.対人心理と社会心理(社会心理学)②

事前学習	テキスト1として記載してある「図説心理学入門[第2版]」の該当箇所に目を通す。	時間	40 分
事後学習	授業内容を復習し、社会心理学についての理解を深める。 テキスト1として記載してある「図説心理学入門[第2版]」の該当箇所を熟読し、復習する。	時間	50 分

13.脳と生理心理学(生理心理学)①

事前学習	テキスト1として記載してある「図説心理学入門[第2版]」の該当箇所に目を通す。	時間	40 分
事後学習	授業内容を復習し、生理心理学についての理解を深める。 テキスト1として記載してある「図説心理学入門[第2版]」の該当箇所を熟読し、復習する。	時間	50 分

14.脳と生理心理学(生理心理学)②

事前学習	テキスト1として記載してある「図説心理学入門[第2版]」の該当箇所に目を通す。 (実技試験期間中のため、大学からの要請により、動画配信によるオンデマンド型の遠隔授業の予定であるので、Classroom に参加しておく。)	時間	40 分
------	---	----	------

事後学習	授業内容を復習し、生理心理学についての理解を深める。 テキスト1として記載してある「図説心理学入門[第2版]」の該当箇所を熟読し、復習する。	時間	50分
------	---	----	-----

15. 学習内容のまとめ

事前学習	前期の心理学α全体の授業内容について復習しておく。	時間	30分
事後学習	前期の心理学α全体の授業内容を踏まえた上で、テキスト1として記載してある「図説心理学入門[第2版]」の該当箇所を熟読し、復習する。その上で、授業の中で取り上げた課題について、自分の考えをまとめる。	時間	60分

【授業展開と内容-後期】

1. 臨床心理学とは

事前学習	シラバスを読み授業内容を確認する。テキスト3～5に記載してある参考図書の入手を検討する。	時間	40分
事後学習	授業内容を復習し、後期の心理学βの講義の流れを確認するとともに、臨床心理学という学問の概要を把握する。	時間	50分

2. パーソナリティと健康①

事前学習	参考図書を読んだり、ネットで調べたりして精神的な健康について予習し、自分なりに考える。	時間	30分
事後学習	授業内容を復習し、精神的な健康についての理解を深め、自分なりの考えをまとめる。	時間	60分

3. パーソナリティと健康②

事前学習	参考図書を読んだり、ネットで調べたりしてパーソナリティについて予習し、自分なりに考える。	時間	30分
事後学習	授業内容を復習し、パーソナリティについての理解を深め、自分なりの考えをまとめる。	時間	60分

4. 心理臨床の対象と精神医学的領域①

事前学習	参考図書を読んだり、ネットで調べたりして心理臨床と精神科領域の問題について予習し、自分なりに考える。	時間	30分
事後学習	授業内容を復習し、心理臨床と精神科領域の問題についての理解を深め、自分なりの考えをまとめる。	時間	60分

5. 心理臨床の対象と精神医学的領域②

事前学習	参考図書を読んだり、ネットで調べたりして心理臨床と精神科領域の問題について予習し、自分なりに考える。	時間	30分
事後学習	授業内容を復習し、心理臨床と精神科領域の問題についての理解を深め、自分なりの考えをまとめる。	時間	60分

6. 心理臨床の対象と精神医学的領域③

事前学習	参考図書を読んだり、ネットで調べたりして心理臨床と精神科領域の問題について予習し、自分なりに考える。	時間	30分
------	--	----	-----

事後学習	授業内容を復習し、心理臨床と精神科領域の問題についての理解を深め、自分なりの考えをまとめる。	時間	60 分
------	--	----	------

7.心理臨床の対象と精神医学的領域④

事前学習	参考図書を読んだり、ネットで調べたりして心理臨床と精神科領域の問題について予習し、自分なりに考える。	時間	30 分
事後学習	授業内容を復習し、心理臨床と精神科領域の問題についての理解を深め、自分なりの考えをまとめる。	時間	60 分

8.心理臨床の対象と精神医学的領域⑤

事前学習	参考図書を読んだり、ネットで調べたりして心理臨床と精神科領域の問題について予習し、自分なりに考える。	時間	30 分
事後学習	授業内容を復習し、心理臨床と精神科領域の問題についての理解を深め、自分なりの考えをまとめる。	時間	60 分

9.心理臨床の対象と精神医学的領域⑥

事前学習	参考図書を読んだり、ネットで調べたりして心理臨床と精神科領域の問題について予習し、自分なりに考える。	時間	30 分
事後学習	授業内容を復習し、心理臨床と精神科領域の問題についての理解を深め、自分なりの考えをまとめる。	時間	60 分

10.心理アセスメントと心理検査

事前学習	参考図書を読んだり、ネットで調べたりして心理臨床におけるアセスメントについて予習し、自分なりに考える。	時間	30 分
事後学習	授業内容を復習し、心理検査とアセスメントについての理解を深め、自分なりの考えをまとめる。	時間	60 分

11.臨床心理学の理論と実践①

～心の理解の始まりと力動的な立場～

事前学習	参考図書を読んだり、ネットで調べたりして臨床心理学における心の理解がどのように始まり、心理療法の理論へと繋がったかについて予習し、自分なりに考える。	時間	30 分
事後学習	授業内容を復習し、臨床心理学における心の理解がどのように始まり、心理療法の理論へと繋がったかについての理解を深め、自分なりの考えをまとめる。	時間	60 分

12.心の理解と心理療法の流れ②

事前学習	参考図書を読んだり、ネットで調べたりして心理療法について予習し、自分なりに考える。	時間	30 分
事後学習	授業内容を復習し、心理療法についての理解を深め、自分なりの考えをまとめる。	時間	60 分

13.心の理解と心理療法の流れ③

事前学習	参考図書を読んだり、ネットで調べたりして心理療法について予習し、自分なりに考える。	時間	30 分
------	---	----	------

	(実技試験期間中のため、大学からの要請により、動画配信によるオンデマンド型の遠隔授業の予定であるので、Classroomに参加しておく。)		
事後学習	授業内容を復習し、心理療法についての理解を深め、自分なりの考えをまとめる。	時間	60 分

14.心の理解と心理療法の流れ④

事前学習	参考図書を読んだり、ネットで調べたりして心理療法について予習し、自分なりに考える。	時間	30 分
事後学習	授業内容を復習し、心理療法についての理解を深め、自分なりの考えをまとめる。	時間	60 分

15.学習内容のまとめ

事前学習	後期の心理学 β 全体の授業内容について復習しておく。	時間	30 分
事後学習	後期の心理学 β 全体の授業内容を踏まえた上で、授業の中で取り上げた課題について、自分の考えをまとめる。	時間	60 分

【オフィスアワー】

月曜日 授業時間の前後に、まずは授業の教室で対応します。もっと時間が必要な場合は、教室での対応後、教員室及び周辺にて授業の前後に別途時間を確保します。

【テキスト】

1.図説心理学入門[第2版] 齊藤 勇(編)

[誠信書房] 2005 年 ¥1,800 9784414301632

備考:前期(α)のテキスト。

授業に沿った内容が多く含まれ、入手して授業に臨むことが望ましい。

(図書館に配備:WR06-491)

2.心理学[新版] 大山 正、詫摩 武俊、中島 力/著

[有斐閣双書] 1993 年 ¥1,500 9784641111028

備考:前期(α)の参考図書。

少々古いがコンパクトな入門・概説書の定番として、追加で勉強する際の参考に。

(図書館に配備:WR06-292)

3.臨床心理学[第2版] 岡堂 哲雄(編)

[日本文化科学社] 1998 年 ¥3,000 9784821061792

備考:後期(β)の参考図書。

通常の書店での新品での入手は難しいことが多い。本学図書館には配備。(WR06-480)

参考資料として有用。

4. はじめて学ぶ人の臨床心理学 杉原 一昭(監修)、渡辺 映子(編)、勝倉 孝治(編)

[中央法規出版] 2003 年 ¥2,500 9784805823477

備考:後期(β)の参考図書。

一般的な臨床心理学の初学者向け。追加で勉強する際の参考に。

(図書館に配備:WR06-295)

5.よくわかる臨床心理学 山口 創

[川島書店] 2001 年 ¥2,200 9784761007416

備考:後期(β)の参考図書。

一般的な臨床心理学の初学者向け。追加で勉強する際の参考に。

【教材】

原則、教員自作のプリントが主体。

前期の心理学(α)は、テキストとして、上にテキストとして挙げた「図説心理学入門[第2版]」が手元にあると、理解の助けになり、非常に有用。

後期の心理学(β)は、最新の知見や臨床現場の話を含むため、授業時に配布するプリントのみでも問題無し。さらに学びたい場合は、上記のテキスト3～5に上げた書籍を参考図書とする。

【その他】

前期の α と後期の β は、それぞれ独立した単位であるため、前期のみ、後期のみの受講でも構わない。

内容に関しても、一部リンクするところはあるが、原則として独立したものと考えているため、片方のみの受講でも大丈夫なように配慮する。

なお、前期・後期各1回ずつ、実技試験期間中に該当する授業回では、動画配信によるオンデマンド型の遠隔授業となる予定であるため、Google Classroom を開設する予定。また、期末レポートは、Classroom を通じて課題を発表することが想定される。そのため、履修者は Classroom への登録をお願いする。

キャリア・デザイン α (前期), β (後期)					
担当教員			曜日時限		木 2 時限
大島 路子 講師					
実施キャンパス	仙川	単位	2 単位	対象年次	学部 1 年～

【授業の概要】

受講生それぞれが卒業後に目指す方向を考え、行動を起こすための準備をします。より広い社会に目を向け、事例を学び、その場で働く人たちと接してみましょう。そして今学んでいる音楽と社会の接点について実践的に深く考えることにより、これまで培ってきた専門性が生きる場所を見つけていきます。

【到達目標】

社会で生活していく上で基本となる知識を身につけ、音楽業界も含む様々なキャリアに応用できる様にする。

受け身でないキャリアパス(場づくりやネットワーク)を考察し、自身の近い将来について自分で考え行動に結びつける。

漠然とした不安を言語化、必要に応じて周囲と共有することによって自分の本当の気持ちや特性についての理解を深める。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

大学一年生対象の日本語表現のキャリア連携授業を受けていることを前提とします。

【授業の形式】

講義と演習(インタビューや話し合い、実演発表)の双方で進めます。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	50%	50%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に

判断し、S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

授業中、または Google クラ SRL を通じてフィードバックをする

【授業展開と内容-前期】

1. ガイダンス: キャリアパスとビジョン

これまでの私、これからの私

事前学習	本学卒業生の進路について HP やキャリア支援センター資料で調べておく	時間	30 分
事後学習	自身のキャリアについて具体的な目標(当座)を書き出す	時間	60 分

2. 生活の予算

～働く理由と、生きていくためにかかるお金

事前学習	自分の生活に必要なと思われる経費を書き出しておく	時間	30 分
事後学習	自分に必要な収入と支出について見直す	時間	60 分

3.年金と税金

～知らないうちに払っているかもしれない「税」について知る

事前学習	各種税について、ネットや書籍で調べる	時間	40 分
事後学習	授業で学んだことを、自分の生活に当てはめて復習する。	時間	50 分

4.プロフィール、履歴書 書類作り

～マナーを守った上で魅力を伝える

事前学習	プロフィールの材料を整理する	時間	30 分
事後学習	作った書類を見直し、実際に使える様にする	時間	60 分

5.企画デザイン

～社会で必要とされているということ

事前学習	チラシ等広報資料の収集	時間	45 分
事後学習	授業で学んだことを、自分の企画に当てはめて復習する。	時間	45 分

6.ゲストトーク①

～企画、広報について

事前学習	広報について普段気になっていることを書き出す	時間	45 分
事後学習	自身の周りの広報物に当てはめて復習する。	時間	45 分

7.演奏会制作

～プログラム、予算の組み立て

事前学習	最近行った音楽会のチラシやプログラムをよく読み、造りを考える	時間	45 分
事後学習	授業で学んだことを、自分の企画に当てはめて復習する。	時間	45 分

8.助成金

～何を求められてる？何を求めている？

事前学習	芸術に関する助成金についてウェブで調べる	時間	45 分
事後学習	授業で考えたプロジェクトを振り返る	時間	45 分

9.ニーズを伝えるポスターセッション

～まとめて、伝わる言葉に落とし込む

事前学習	前週考えたプロジェクトの関連事業を調べる	時間	45 分
事後学習	プロジェクトの応用について考える	時間	45 分

10.ゲストトーク②仕事の選択

事前学習	自分の理想の働き方について考える	時間	45 分
事後学習	仕事の選択肢について書き出す	時間	45 分

11.働き方と契約書

～ルールを味方につける

事前学習	過去に見た契約書を見直す	時間	45 分
事後学習	自分が関わっている規約や契約をあらためて熟読する	時間	45 分

12.ゲストトーク③社会でのアートの位置付けについて

事前学習	ゲストからの課題	時間	45 分
事後学習	アートと自分の位置について、資料をもとに確認する	時間	45 分

13.ネットワークとコミュニケーション

事前学習	SNS の効果について調べる	時間	45 分
事後学習	自分らしい発信について考える	時間	45 分

14.(オンデマンド)インタビュー内容をまとめる

事前学習	インタビューを完了、執筆	時間	45 分
事後学習	内容をまとめてフォームで提出(前期課題) ポスターセッションの準備(オンデマンド課題)	時間	45 分

15.まとめと発表

インタビュー内容をポスターセッション

事前学習	シェアできる内容をまとめておく	時間	45 分
事後学習	発表を通じて得た情報、感銘を受けた事例についてさらにリサーチする	時間	45 分

【授業展開と内容-後期】

1.社会に音楽をつなげる

ティーチング・アーティストの仕事

事前学習	音楽の社会貢献の例について調べる	時間	60 分
事後学習	社会と音楽の距離についてさらに考え、まとめる	時間	30 分

2.音楽を理解する

多重知能を駆使する

事前学習	ひとつの楽曲についての特徴を 20 挙げる	時間	60 分
事後学習	自分が関わる楽曲について応用してみる	時間	30 分

3.エントリーポイント

「聴く耳」を育てる 曲の入り口

事前学習	ひとつの楽曲についての特徴を 20 挙げる	時間	45 分
事後学習	今取り組んでいる曲についての洞察を深める	時間	45 分

4.アクティビティ

～コミュニケーションの手法としての聴衆参加

事前学習	各自一つの楽曲を選び、その魅力を言語化する	時間	45 分
事後学習	他の受講者のアイデアについて振り返る	時間	45 分

5.ゲスト①

音楽ワークショップ

事前学習	音楽ワークショップについて自分なりに調べる	時間	60 分
事後学習	ワークショップの例について復習する	時間	30 分

6.高齢者施設でのアウトリーチ実践について

事前学習	高齢者施設の種類や特質について調べる	時間	45 分
事後学習	自分なりのプログラムを考案する	時間	45 分

7.子供向けコンサートについて

事前学習	自分が小学生だった頃の音楽鑑賞会について考える	時間	45 分
事後学習	自分なりのプログラムを考案する	時間	45 分

8.ゲスト②

アウトリーチ実践現場の色々

事前学習	様々な種類のアウトリーチについて調べる	時間	45 分
事後学習	計画したことについて練習、発表方法を組み立てる	時間	45 分

9.音楽の社会貢献

事前学習	事前課題をもとに各国の社会貢献プログラムについて理解を深める	時間	60 分
事後学習	事前課題をもとに各国の社会貢献プログラムについて理解を深める	時間	30 分

10.演劇、美術、ダンスにみる社会との関わり

事前学習	他分野における社会貢献活動について調べる	時間	45 分
事後学習	音楽への応用について考える	時間	45 分

11.ゲスト③

他ジャンルのティーチングアーティストをお迎えして

事前学習	ゲストの活動について調べておく	時間	45 分
事後学習	音楽と他ジャンルの接点についてさらに調べる	時間	45 分

12.社会に広がる音楽活動

事例に学ぶ 活動の多様性

事前学習	福祉や教育、医療の場での音楽活動について調べる	時間	45 分
事後学習	講義内容を自分のやりたいことへ応用する方法について考察する	時間	45 分

13.インタラクティブ演奏会の計画

～45 分のプログラムを作ってみる(オンデマンド)

事前学習	自分の想定する聴衆向けのプログラムを練る	時間	45 分
事後学習	推敲、提出	時間	45 分

14.発表と報告会

事前学習	発表の準備	時間	60 分
事後学習	授業中に見聞きしたアイディアについて振り返る	時間	30 分

15.発表と報告会

事前学習	発表の準備	時間	60 分
事後学習	授業中に見聞きしたアイディアについて振り返る	時間	30 分

【オフィスアワー】

木曜日昼休み 仙川第二教員室

【その他】

授業内および Google クラウドで配布する資料を使います。

情報リテラシー初級 I A α (前期)					
担当教員	姫野 雅子 教授		曜日時限	水 2 時限	
実施キャンパス	仙川	単位	2 単位	対象年次	学部 1 年～

【授業の概要】

情報機器(特に PC)の扱いが苦手な人が対象です。対面で実施します。

この授業の目的は「PC の機能を使いこなそう」です。オンライン化の今日、日常の生活にも情報機器の利用が必須となり、芸術分野の魅力を社会に発信の強力なツールとなるでしょう。これを実現するために、基本的な事柄をマスターした上で、普段使わない機能まで使ってみて、主張したいことが確実に相手に伝わるように、表現力を身につけてもらいます。技術的には、課題作成に欠かせない文章作成ソフト(文字入力のみでなく、画像、表、イラストを扱えるようにする)、表計算(データの扱いに慣れる)、楽譜作成(基本的操作に慣れる)、スライド作成(画像、イラスト、サウンドなどのコンテンツを扱えるようにする)、サウンド編集(サウンドの品質、エフェクト)のスキル向上を目指します。特に情報機器の扱いに対しての苦手としている人には、その苦手意識の克服してもらいます。

【到達目標】

- ・自分自身の PC 環境を整え、今後の授業に積極的に利用できるようになる。
- ・文章作成、プレゼンテーション、楽譜作成の実践的な使い方ができるようになる。
- ・もとの PC スキルは個人差が大きいですが、それぞれの学生に応じて上達できる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

全くの初心者、大学になり始めて自分の PC を購入したが、使い方に不安があるという人対象です。

Microsoft Office の Word,Powerpoint,Excel を使います。自分の PC にデスクトップ版が搭載されている場合には、自分の PC を持参してください。

教室の関係上、18名まで。

「情報リテラシー」初級レベルの複数回の受講は不可です(初級レベルⅠを履修後に初級レベルⅡの受講は不可ということです)。中級レベルとの同時受講は可能。

レベルⅠとⅡの違い:レベル「Ⅰ」は説得力のある資料作成に比重をおきますが、扱う内容に差はほとんどありません。主に課題の難易度と進度に差があると考えてください。どちらも基本的には、受講者の様子を見て調整します

【授業の形式】

対面での PC 実習です。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	50%	50%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

提出された課題は Classroom を通じて個別に講評する。

全体に関わることは、次回の授業時に説明する。

【授業展開と内容-前期】

1.1) 文章作成用アプリを使って その1

・文字だけで相手に効果的に伝える方法(単語の強調の方法)

2) 外付けメモリ(USB メモリと SSD)について

3) Google の Classroom での課題提出方法

事前学習	Classroom の使い方資料を見て理解しておくこと	時間	30 分
事後学習	文章入力 of 課題をこなし、Classroom で提出する。	時間	60 分

2.1) 文章作成用ソフト その2

・レイアウトのいろいろ(均等揃え、組文字、段組、縦書き横書きなど)

・表の作成(デザイン、レイアウト、文字表示位置調整、行・列の分割と結合)

2) PC 内の構造(フォルダ管理、クラウドストレージ(OneDrive、GoogleDrive)について)

事前学習	前回の内容を再確認しておく	時間	45 分
事後学習	他の授業でも PC を積極的に使い扱いに慣れる	時間	45 分

3.1) 文章作成ソフト その3

・画像関連(書式設定、文字列の折り返し、トリミング、色修正など)

・資料作成の復習

2) カタログの見方(ストレージ、メモリ、CPU など PC の性能に関して)

事前学習	前回の内容を再確認しておく	時間	30 分
事後学習	表作成の課題をこなし、Classroom で提出する	時間	60 分

4. 文章作成ソフト その4

・レイアウト調整(箇条書き、段落、インデント、タブ)

事前学習	前回の内容を再確認しておく	時間	45 分
事後学習	他の授業でも PC を積極的に使い扱いに慣れ	時間	45 分

5.1) 文章作成ソフト その5

・図形を扱う(スタイル変更、複数の図形の配置調整、グループ化など)

・画像関係(画像の合成、Zip ファイルの扱い方)

・作品作成1回目

2) ファイル形式について解説 (Word 形式、PDF、JPEG、PNG)

事前学習	与えられたテーマの作品の下案を作成しておく	時間	45 分
事後学習	作品制作を進める	時間	45 分

6. 文章作成ソフト その6

・作品作成2回目

事前学習	作品制作を進めておく	時間	45 分
事後学習	作品を完成させて提出する	時間	45 分

7. 表計算ソフト その1

・基本的な使い方(計算式、関数、オート入力、表の書式)

事前学習	Classroom で配信されたファイルをダウンロードしておく	時間	20 分
事後学習	授業の内容を再確認しておく	時間	70 分

8. 表計算ソフト その2

・データの視覚化(適切なグラフの作成、傾向を掴む、将来の推定など)

事前学習	Classroom で配信されたファイルをダウンロードしておく	時間	20 分
事後学習	授業の内容を再確認しておく	時間	70 分

9. 表計算ソフト その3

・予算書、決算書などの書類の作成(レイアウト整えなど)

事前学習	Classroom で配信されたファイルをダウンロードしておく	時間	20 分
事後学習	授業で提示された課題をこなして提出する	時間	70 分

10.表計算ソフト その4

- ・データベース機能を使う(並び替え、検索、集計、ピボットテーブル)

事前学習	Classroom で配信されたファイルをダウンロードしておく	時間	20 分
事後学習	授業の内容を再確認しておく	時間	70 分

11.スライド作成ソフト その1

- ・基本的な使い方(図形、画像、URL、動画埋め込みなど)

事前学習	Classroom で配信された資料を見ておく	時間	45 分
事後学習	次の課題のスケッチをする	時間	45 分

12.スライド作成ソフト その2

- ・プレゼンに合った表現を工夫する(レポートとの違い、アニメーションの有効な使い方)

事前学習	Classroom で配信された資料を見ておく	時間	15 分
事後学習	作品を完成させて提出する	時間	75 分

13.スライド作成ソフト その3 オンデマンド

- ・最終課題用の「小学生への曲紹介プレゼン」作品を制作を開始する

事前学習	紹介する曲について調べる	時間	50 分
事後学習	最終課題の制作	時間	40 分

14.楽譜作成ソフト

- ・基本的な使い方(音符入力、各種飾り付け)

事前学習	資料を見て、授業で使うアプリをインストールしておく	時間	15 分
事後学習	最終課題の制作	時間	75 分

15.サウンド編集ソフト

- ・サウンドの波形、イコライザー

- ・サウンド品質、エフェクトをかける

事前学習	資料を見て、授業で使うアプリをインストールしておく	時間	15 分
事後学習	最終課題を完成させて提出する	時間	75 分

【オフィスアワー】

水曜日 12:00-12:30 H220

金曜日 12:00-12:30 H220

【教材】

Classroom で提示する

情報リテラシー初級 I B β (後期)					
担当教員 姫野 雅子 教授			曜日時限		水 2 時限
実施キャンパス	仙川	単位	2 単位	対象年次	学部 1 年～

【授業の概要】

情報機器(特に PC)の扱いが苦手な人が対象です。対面で実施します。

この授業の目的は「PC の機能を使いこなそう」です。オンライン化の今日、日常の生活にも情報機器の利用が必須となり、芸術分野の魅力を社会に発信の強力なツールとなるでしょう。これを実現するために、基本的な事柄をマスターした上で、普段使わない機能まで使ってみて、主張したいことが確実に相手に伝わるように、表現力を身につけてもらいます。技術的には、課題作成に欠かせない文章作成ソフト(文字入力のみでなく、画像、表、イラストを扱えるようにする)、表計算(データの扱いに慣れる)、楽譜作成(基本的操作に慣れる)、スライド作成(画像、イラスト、サウンドなどのコンテンツを扱えるようにする)、サウンド編集(サウンドの品質、エフェクト)のスキル向上を目指します。特に情報機器の扱いに対しての苦手としている人には、その苦手意識の克服してもらいます。

【到達目標】

- ・自分自身の PC 環境を整え、今後の授業に積極的に利用できるようになる。
- ・文章作成、プレゼンテーション、楽譜作成の実践的な使い方ができるようになる。
- ・もともとの PC スキルは個人差が大きいですが、それぞれの学生に応じて上達できる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

全くの初心者、大学になり始めて自分の PC を購入したが、使い方に不安があるという人対象です。

Microsoft Office の Word,Powerpoint を使います。自分の PC にデスクトップ版が搭載されている場合には、自分の PC を持参してください。

教室の関係上、18名まで。

「情報リテラシー」初級レベルの複数回の受講は不可です(初級レベル I を履修後に初級レベル II の受講は不可ということです)。中級レベルとの同時受講は可能。

レベル I と II の違い:レベル「I」は説得力のある資料作成に比重をおきますが、扱う内容に差はほとんどありません。主に課題の難易度と進度に差があると考えてください。どちらも基本的には、受講者の様子を見て調整します

【授業の形式】

対面での PC 実習です。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	50%	50%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

提出された課題は Classroom を通じて個別に講評する。

全体に関わることは、次回の授業時に説明する。

【授業展開と内容-後期】

1.1) 文章作成用アプリを使って その1

- ・文字だけで相手に効果的に伝える方法(単語の強調の方法)

2) 外付けメモリ(USB メモリと SSD)について

3) Google の Classroom での課題提出方法

事前学習	Classroom の使い方資料を見て理解しておくこと	時間	30 分
事後学習	文章入力 of 課題をこなし、Classroom で提出する	時間	60 分

2.1) 文章作成用ソフト その2

- ・レイアウトのいろいろ(均等揃え、組文字、段組、縦書き横書きなど)
- ・表の作成(デザイン、レイアウト、文字表示位置調整、行・列の分割と結合)

2) PC 内の構造(フォルダ管理、クラウドストレージ(OneDrive、GoogleDrive)について)

事前学習	前回の内容を再確認しておく	時間	45 分
事後学習	他の授業でも PC を積極的に使い扱いに慣れる	時間	45 分

3.1) 文章作成ソフト その3

- ・画像関連(書式設定、文字列の折り返し、トリミング、色修正など)
- ・資料作成の復習

2) カタログの見方(ストレージ、メモリ、CPU など PC の性能に関して)

事前学習	前回の内容を再確認しておく	時間	30 分
事後学習	表作成の課題をこなし、Classroom で提出する	時間	60 分

4. 文章作成ソフト その4

- ・レイアウト調整(箇条書き、段落、インデント、タブ)

事前学習	前回の内容を再確認しておく	時間	45 分
------	---------------	----	------

事後学習	他の授業でも PC を積極的に使い扱いに慣れる	時間	45 分
------	-------------------------	----	------

5.1) 文章作成ソフト その5

- ・図形を扱う(スタイル変更、複数の図形の配置調整、グループ化など)
- ・画像関係(画像の合成、Zip ファイルの扱い方)
- ・作品作成1回目

2) ファイル形式について解説 (Word 形式、PDF、JPEG、PNG)

事前学習	与えられたテーマの作品の下案を作成しておく	時間	45 分
事後学習	作品制作を進める	時間	45 分

6. 文章作成ソフト その6

- ・作品作成2回目

事前学習	作品制作を進めておく	時間	45 分
事後学習	作品を完成させ提出する	時間	45 分

7. 表計算ソフト その1

- ・基本的な使い方(計算式、関数、オート入力、表の書式)

事前学習	Classroom で配信されたファイルをダウンロードしておく	時間	20 分
事後学習	授業の内容を再確認しておく	時間	70 分

8. 表計算ソフト その2

- ・データの視覚化(適切なグラフの作成、傾向を掴む、将来の推定など)

事前学習	Classroom で配信されたファイルをダウンロードしておく	時間	20 分
事後学習	授業の内容を再確認しておく	時間	70 分

9. 表計算ソフト その3

- ・予算書、決算書などの書類の作成(レイアウト整えなど)

事前学習	Classroom で配信されたファイルをダウンロードしておく	時間	20 分
事後学習	授業で提示された課題をこなして提出する	時間	70 分

10. 表計算ソフト その4

- ・データベース機能を使う(並び替え、検索、集計、ピボットテーブル)

事前学習	Classroom で配信されたファイルをダウンロードしておく	時間	20 分
------	---------------------------------	----	------

事後学習	授業の内容を再確認しておく	時間	70 分
------	---------------	----	------

11.スライド作成ソフト その1

- ・基本的な使い方(図形、画像、URL、動画埋め込みなど)

事前学習	Classroom の使い方資料を見て理解しておくこと	時間	45 分
事後学習	次の課題のスケッチをする	時間	45 分

12.スライド作成ソフト その2

- ・プレゼンに合った表現を工夫する(レポートとの違い、アニメーションの有効な使い方)

事前学習	Classroom で配信された資料を見ておく	時間	15 分
事後学習	作品を完成させて提出する	時間	75 分

13.スライド作成ソフト その3 オンデマンド

- ・最終課題用の「小学生への曲紹介プレゼン」作品を制作を開始する

事前学習	紹介する曲について調べる	時間	50 分
事後学習	最終課題の制作	時間	40 分

14.楽譜作成ソフト

- ・基本的な使い方(音符入力、各種飾り付け)

事前学習	資料を見て、授業で使うアプリをインストールしておく	時間	15 分
事後学習	最終課題の制作	時間	75 分

15.サウンド編集ソフト

- ・サウンドの波形、イコライザー
- ・サウンド品質、エフェクトをかける

事前学習	資料を見て、授業で使うアプリをインストールしておく	時間	15 分
事後学習	最終課題を完成させて提出する	時間	75 分

【オフィスアワー】

水曜日 12:00-12:30 H220

金曜日 12:00-12:30 H220

【教材】

Classroom で提示する

情報リテラシー初級ⅡCα(前期)					
担当教員 姫野 雅子 教授			曜日時限		金 3 時限
実施キャンパス	仙川	単位	2 単位	対象年次	学部 1 年～

【授業の概要】

情報機器の扱いにそれほど苦手意識は持っていないが、基本から学びたいという人対象です。対面中心ですが、数回はオンデマンド形式をとります。

この授業の目的は「PC の機能を使いこなそう」です。近年、オンライン化に拍車がかかり、日常の生活にも情報機器の利用が必須となり、芸術分野の魅力を社会に発信の強力なツールとなるでしょう。これを実現するために、次の2点を目的とします。

- 1) 普段使わない機能も使い、その上で主張したいことが確実に相手に伝わるように、表現力を身につける
- 2) 説得力を高める意味で、客観的な判断ができるようデータの扱いを学ぶ

技術的には、課題作成に欠かせない文章作成ソフト(文字入力のみでなく、画像、表、イラストを扱えるようにする)、表計算ソフト(基本的操作、視覚的な表現、データベース操作に慣れる)、楽譜作成(基本的操作に慣れる)、サウンド編集(サウンドの品質やスペクトルについて、エフェクト)、スライド作成(画像、イラスト、サウンドなどのコンテンツを扱えるようにする)のスキル向上を目指します。

【到達目標】

- ・自分自身の PC 環境を整え、今後の授業に積極的に利用できるようになる。
- ・文章作成、表計算、プレゼンテーション、楽譜作成の実践的な使い方ができるようになる。
- ・もともとの PC スキルは個人差が大きいですが、それぞれの学生に応じて上達できるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

PC の操作をさほど苦手と感じていない、一度は習ったことはあるが日常的に使っていないという人対象です。

Microsoft Office の Word,Excel,Powerpoint を使います。自分の PC にデスクトップ版が搭載されている場合には、自分の PC を持参してください。

詳細は1回目の授業で説明します。

対面中心なので18名まで。

「情報リテラシー」初級レベルの複数回の受講は不可です(初級レベルⅠを履修後に初級レベルⅡの受講は不可ということです)。中級レベルとの同時受講は可能。

レベルⅠとⅡの違い:レベルⅠより多少データ処理に比重をおく程度で、扱う内容に差はほとんどありません。主に課題の難易

度と進度に差があると考えてください。どちらも基本的には、受講者の様子を見て調整します

【授業の形式】

PC による実習形式です。基本的に対面で実施しますが、数回はオンデマンド形式となります。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	60%	40%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

提出された課題は Classroom を通じて個々に講評する。

全体に関わることは、次回の授業時に説明する。

【授業展開と内容-前期】

1.1) 文章作成用アプリを使って その1

- ・文字だけで相手に効果的に伝える方法(単語の強調の方法 特殊文字)
- ・レイアウトのいろいろ(均等揃え、組文字、段組、縦書き横書きなど)

2) 外付けメモリ(USB メモリと SSD)について

3) Google の Classroom での課題提出方法やドライブの使い方

事前学習	Classroom の使い方資料を見て理解しておくこと	時間	45 分
事後学習	文章入力 of 課題をこなすこと	時間	45 分

2.1) 文章作成用ソフト その2

- ・表の作成(デザイン、レイアウト、文字表示位置調整、行・列の分割と結合)

2) PC 内の構造(フォルダ管理、クラウドストレージ(OneDrive、GoogleDrive)について)

事前学習	前回の内容を再確認しておく	時間	30 分
事後学習	授業で指示された課題をこなし提出する。他の授業でも PC を積極的に使い扱いに慣れる	時間	60 分

3.1) 文章作成ソフト その3

- ・レイアウト調整(箇条書き、段落、インデント、タブ)
- ・画像関連(書式設定、文字列の折り返し、トリミング、色修正など)

2) カタログの見方((ストレージ、メモリ、CPU など PC の性能に関して)

事前学習	前回の内容を再確認しておく	時間	45 分
------	---------------	----	------

事後学習	他の授業でも PC を積極的に使い扱いに慣れる	時間	45 分
------	-------------------------	----	------

4.1) 文章作成ソフト その4

- ・図形を扱う(スタイル変更、複数の図形の配置調整、グループ化など)
- ・画像関係(画像の合成、Zip ファイルの扱い方)

2) ファイル形式について解説 (Word 形式、PDF、JPEG、PNG)

事前学習	前回の内容を再確認しておく	時間	45 分
事後学習	作品制作を進める	時間	45 分

5. 表計算ソフト その1

- ・基本的な使い方(計算式、関数、オート入力、表の書式)

事前学習	Classroom で配信されたファイルをダウンロードしておく	時間	30 分
事後学習	4回目の授業で出された課題制作を続ける	時間	60 分

6. 表計算ソフト その2

- ・データの視覚化(適切なグラフの作成、傾向を掴む、将来の推定など)

事前学習	Classroom で配信されたファイルをダウンロードしておく 前回の内容を復習しておく	時間	20 分
事後学習	4回目の授業で出された課題制作を続ける	時間	70 分

7. 表計算ソフト その3

- ・予算書、決算書などの書類の作成(レイアウト整えなど)

事前学習	Classroom で配信されたファイルをダウンロードしておく 前回の内容を復習しておく	時間	20 分
事後学習	授業で提示された課題をこなして提出する	時間	70 分

8. 表計算ソフト その4

- ・相対参照と絶対参照
- ・データベースについて(VLOOKUP 関数を使って、データベースの基本的な考え方を理解する)

事前学習	Classroom で配信されたファイルをダウンロードしておく 前回の内容を復習しておく	時間	20 分
事後学習	授業の内容を再確認しておく。授業中にできなかった課題をこなして提出する	時間	70 分

9. 表計算ソフト その5

- ・データベース機能を使う(並び替え、検索、集計、ピボットテーブル)

事前学習	Classroom で配信されたファイルをダウンロードしておく	時間	20 分
事後学習	4回目の授業で出された課題制作を続ける	時間	70 分

10. オンデマンド

文章作成ソフトを使って、提出課題をこなす(5回目の授業で説明あり)

・図形、画像、表等を適切に使う

・PDF 変換方法

事前学習	Classroom で配信された課題を確認しておく	時間	30 分
事後学習	課題を完成させて Classroom で提出する	時間	60 分

11.スライド作成ソフト その1

・基本的な使い方(図形、画像、URL、動画埋め込みなど)

事前学習	Classroom で配信された資料を見ておく	時間	20 分
事後学習	次の課題のスケッチをする	時間	70 分

12.スライド作成ソフト その2

・プレゼンに合った表現を工夫する(レポートとの違い、アニメーションの有効な使い方)

・提出課題制作を続ける

事前学習	Classroom で配信された資料を見ておく	時間	20 分
事後学習	課題の制作に取り組む	時間	70 分

13.楽譜作成ソフト

・基本的な使い方(音符入力、各種飾り付け)

事前学習	資料を見て、授業で使うアプリをインストールしておく	時間	20 分
事後学習	最終課題の紹介作品の下書きをする	時間	70 分

14.スライド作成ソフト その3 オンデマンド

・最終課題用の「小学生への曲紹介プレゼン」作品を制作を開始する

事前学習	第12回目の課題を完成させて提出する 紹介作品の下書きをする	時間	50 分
事後学習	最終課題の制作	時間	40 分

15.サウンド編集ソフト

・サウンドの波形、イコライザー

・サウンド品質、エフェクトをかける

事前学習	資料を見て、授業で使うアプリをインストールしておく	時間	20 分
事後学習	最終課題を完成させて提出する	時間	70 分

【オフィスアワー】

水曜日 12:00-12:30 H220

金曜日 12:00-12:30 H220

【教材】

Classroom を通して、または授業中に配布する授業資料を使う

情報リテラシー初級ⅡDα(前期)					
担当教員 姫野 雅子 教授			曜日時限		金 4 時限
実施キャンパス 仙川	単位	2 単位		対象年次	学部 1 年～

【授業の概要】

情報機器の扱いにそれほど苦手意識は持っていないが、基本から学びたいという人対象です。対面中心ですが、数回はオンデマンド形式をとります。

この授業の目的は「PC の機能を使いこなそう」です。近年、オンライン化に拍車がかかり、日常生活にも情報機器の利用が必須となり、芸術分野の魅力を社会に発信の強力なツールとなるでしょう。これを実現するために、次の2点を目的とします。

- 1) 普段使わない機能も使い、その上で主張したいことが確実に相手に伝わるように、表現力を身につける
- 2) 説得力を高める意味で、客観的な判断ができるようデータの扱いを学ぶ

技術的には、課題作成に欠かせない文章作成ソフト(文字入力のみでなく、画像、表、イラストを扱えるようにする)、表計算ソフト(基本的操作、視覚的な表現、データベース操作に慣れる)、楽譜作成(基本的操作に慣れる)、サウンド編集(サウンドの品質やスペクトルについて、エフェクト)、スライド作成(画像、イラスト、サウンドなどのコンテンツを扱えるようにする)のスキル向上を目指します。

【到達目標】

- ・自分自身の PC 環境を整え、今後の授業に積極的に利用できるようになる。
- ・文章作成、表計算、プレゼンテーション、楽譜作成の実践的な使い方ができるようになる。
- ・もともとの PC スキルは個人差が大きいですが、それぞれの学生に応じて上達できるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

PC の操作をさほど苦手と感じていない、一度は習ったことはあるが日常的に使っていないという人対象です。

Microsoft Office の Word, Excel, Powerpoint を使います。自分の PC にデスクトップ版が搭載されている場合には、自分の PC を持参してください。

詳細は1回目の授業で説明します。

対面中心なので18名まで。

「情報リテラシー」初級レベルの複数回の受講は不可です(初級レベルⅠを履修後に初級レベルⅡの受講は不可ということで

す)。中級レベルとの同時受講は可能。

レベルⅠとⅡの違い:レベルⅠより多少データ処理に比重をおく程度で、扱う内容に差はほとんどありません。主に課題の難易度と進度に差があると考えてください。どちらも基本的には、受講者の様子を見て調整します

【授業の形式】

PC による実習形式です。基本的に対面で実施しますが、数回はオンデマンド形式となります。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	60%	40%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

提出された課題は Classroom を通じて個々に講評する。

全体に関わることは、次回の授業時に説明する。

【授業展開と内容-前期】

1.1) 文章作成用アプリを使って その1

- ・文字だけで相手に効果的に伝える方法(単語の強調の方法 特殊文字)
- ・レイアウトのいろいろ(均等揃え、組文字、段組、縦書き横書きなど)

2) 外付けメモリ(USB メモリと SSD)について

3) Google の Classroom での課題提出方法やドライブの使い方

事前学習	Classroom の使い方資料を見て理解しておくこと	時間	45 分
事後学習	文章入力 of 課題をこなすこと	時間	45 分

2.1) 文章作成用ソフト その2

- ・表の作成(デザイン、レイアウト、文字表示位置調整、行・列の分割と結合)

2) PC 内の構造(フォルダ管理、クラウドストレージ(OneDrive、GoogleDrive)について)

事前学習	前回の内容を再確認しておく	時間	30 分
事後学習	授業で指示された課題をこなし提出する。他の授業でも PC を積極的に使い扱いに慣れる	時間	60 分

3.1) 文章作成ソフト その3

- ・レイアウト調整(箇条書き、段落、インデント、タブ)
- ・画像関連(書式設定、文字列の折り返し、トリミング、色修正など)

2) カタログの見方 ((ストレージ、メモリ、CPU など PC の性能に関して)

事前学習	前回の内容を再確認しておく	時間	45 分
事後学習	他の授業でも PC を積極的に使い扱いに慣れる	時間	45 分

4.1) 文章作成ソフト その4

- ・図形を扱う (スタイル変更、複数の図形の配置調整、グループ化など)
- ・画像関係 (画像の合成、Zip ファイルの扱い方)

2) ファイル形式について解説 (Word 形式、PDF、JPEG、PNG)

事前学習	前回の内容を再確認しておく	時間	45 分
事後学習	作品制作を進める	時間	45 分

5. 表計算ソフト その1

- ・基本的な使い方 (計算式、関数、オート入力、表の書式)

事前学習	Classroom で配信されたファイルをダウンロードしておく	時間	30 分
事後学習	4回目の授業で出された課題制作を続ける	時間	60 分

6. 表計算ソフト その2

- ・データの視覚化 (適切なグラフの作成、傾向を掴む、将来の推定など)

事前学習	Classroom で配信されたファイルをダウンロードしておく 前回の内容を復習しておく	時間	20 分
事後学習	4回目の授業で出された課題制作を続ける	時間	70 分

7. 表計算ソフト その3

- ・予算書、決算書などの書類の作成 (レイアウト整えなど)

事前学習	Classroom で配信されたファイルをダウンロードしておく 前回の内容を復習しておく	時間	20 分
事後学習	授業で提示された課題をこなして提出する	時間	70 分

8. 表計算ソフト その4

- ・相対参照と絶対参照
- ・データベースについて (VLOOKUP 関数を使って、データベースの基本的な考え方を理解する)

事前学習	Classroom で配信されたファイルをダウンロードしておく 前回の内容を復習しておく	時間	20 分
事後学習	授業の内容を再確認しておく。授業中にできなかった課題をこなして提出する	時間	70 分

9. 表計算ソフト その5

- ・データベース機能を使う (並び替え、検索、集計、ピボットテーブル)

事前学習	Classroom で配信されたファイルをダウンロードしておく	時間	20 分
------	---------------------------------	----	------

事後学習	4回目の授業で出された課題制作を続ける	時間	70 分
------	---------------------	----	------

10.オンデマンド

文章作成ソフトを使って、提出課題をこなす(5回目の授業で説明あり)

・図形、画像、表等を適切に使う

・PDF 変換方法

事前学習	Classroom で配信された課題を確認しておく	時間	30 分
事後学習	課題を完成させて Classroom で提出する	時間	60 分

11.スライド作成ソフト その1

・基本的な使い方(図形、画像、URL、動画埋め込みなど)

事前学習	Classroom で配信された資料を見ておく	時間	20 分
事後学習	次の課題のスケッチをする	時間	70 分

12.スライド作成ソフト その2

・プレゼンに合った表現を工夫する(レポートとの違い、アニメーションの有効な使い方)

・提出課題制作を続ける

事前学習	Classroom で配信された資料を見ておく	時間	20 分
事後学習	課題の制作に取り組む	時間	70 分

13.楽譜作成ソフト

・基本的な使い方(音符入力、各種飾り付け)

事前学習	資料を見て、授業で使うアプリをインストールしておく	時間	20 分
事後学習	最終課題の紹介作品の下書きをする	時間	70 分

14.スライド作成ソフト その3 オンデマンド

・最終課題用の「小学生への曲紹介プレゼン」作品を制作を開始する

事前学習	第12回目の課題を完成させて提出する 紹介作品の下書きをする	時間	50 分
事後学習	最終課題の制作	時間	40 分

15.サウンド編集ソフト

・サウンドの波形、イコライザー

・サウンド品質、エフェクトをかける

事前学習	資料を見て、授業で使うアプリをインストールしておく	時間	20 分
事後学習	最終課題を完成させて提出する	時間	70 分

【オフィスアワー】

水曜日 12:00-12:30 H220

【教材】

Classroom を通して、または授業中に配布する授業資料を使う

情報リテラシー初級ⅡEβ(後期)					
担当教員 清水 郁子 講師			曜日時限		金 2 時限
実施キャンパス	仙川	単位	2 単位	対象年次	学部 1 年～

【授業の概要】

基本的な内容をもう一度学び直したい人を対象とし、PC の機能を使いこなせるようになることを目的としています。

社会情勢もあり、オンライン化に拍車がかかり日常の生活でも情報機器を利用せざるを得ない状況です。

PC の基本的な機能を使いこなすことができれば、芸術分野の魅力を社会に発信するための一助にもなります。

大学での課題作成に欠かせない文章作成ソフト(文字入力のみでなく、画像、表、イラストを含んだ文章を作成する)、表計算ソフト(計算式の使用方法をマスターし、報告書の形態で作成する)、スライド作成(画像、イラスト、サウンドなどのコンテンツを含むプレゼンテーションを作成する)のスキル向上を目指します。

【到達目標】

- ・自分自身の PC 環境を整え、今後の授業に積極的に利用できるようになる。
- ・ワープロ、表計算、プレゼンテーションのためのアプリケーションの実践的な使い方をマスターできるようになる。
- ・各自の PC スキルに応じ、自分のスキルのレベルをアップする。
- ・情報機器の扱いに関して独力で解決する力がつく。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

上限を 20 名とします。

ある程度操作はできるが、基本的なことを確認したい、または学び直したいという人向けです。

Classroom の資料を見て、独力で課題をこなす自信がある人、MicroSoft の Office のデスクトップ版を PC に搭載していること(他のアプリの利用は対応しません)。

履修が決定したら(クラス配属されたら)すぐに Classroom に登録すること(開講前にも連絡をします)。

「情報処理」既習者は不可、同レベル(初級レベル I,II,III)の複数回の受講も不可です。

中級レベルとの同時受講は可能です。

【授業の形式】

PC 実習

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	70%	30%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

提出された課題は Classroom を通じて個々に講評する。

【授業展開と内容-後期】

1.1) Microsoft Word の使い方 その1

文字だけで相手に効果的に伝える方法(単語の強調の方法)

2) PC 内のストレージ構造とフォルダ管理

3) Google の Classroom での課題提出方法やドライブの使い方

事前学習	Classroom の使い方を資料を見て理解する	時間	30 分
事後学習	授業中に提示された課題を実施する 他の授業でも PC を積極的に使う	時間	60 分

2.1) Microsoft Word の使い方 その2

- ・レイアウトのいろいろ(均等揃え、組文字、段組、縦書き横書きなど)
- ・表の作成(デザイン、レイアウト、文字表示位置調整、行・列の分割と結合)

2) クラウドのストレージの利用に関する注意 (OneDrive、icloud など)

事前学習	PC の扱いに慣れる	時間	30 分
事後学習	提示された課題を実施し提出する 他の授業でも PC を積極的に使う	時間	60 分

3.1) Microsoft Word の使い方 その3

- ・レイアウト調整(箇条書き、段落、インデント、タブ)

2)PC を買うときに見るべきポイント(ストレージ、メモリ、CPU など PC の性能について)

事前学習	PC の扱いに慣れる	時間	30 分
事後学習	提示された課題を実施し提出する 他の授業でも PC を積極的に使う	時間	60 分

4.Microsoft Word の使い方 その4

- ・画像を扱う(書式設定、文字列の折り返しなど)
- ・図形を扱う(文字の表示変更、複数の図形の配置調整、グループ化)

事前学習	コンサートやリサイタルの出演者やセットリストを考える	時間	30 分
事後学習	提示された課題を実施し提出する 他の授業でも PC を積極的に使う	時間	60 分

5.Microsoft Exel の使い方 その1

- ・基本的な使い方(計算式、関数、オート入力、表の書式)

事前学習	PC の扱いに慣れる	時間	30 分
事後学習	提示された課題を実施し提出する 他の授業でも PC を積極的に使う	時間	60 分

6.Microsoft Exel の使い方 その2

- ・グラフの作成(グラフの種類、デザイン、さまざまな要素の追加)

事前学習	PC の扱いに慣れる	時間	30 分
事後学習	提示された課題を実施し提出する 他の授業でも PC を積極的に使う	時間	60 分

7.Microsoft Exel の使い方 その3

- ・グラフを作成し、Microsoft Word に貼り付ける
- ・予算書、決算書などの書類の作成(レイアウト整えなど)

事前学習	PC の扱いに慣れる	時間	30 分
事後学習	提示された課題を実施し提出する 他の授業でも PC を積極的に使う	時間	60 分

8.Microsft Powerpoint の使い方 その1

- ・基本的な使い方(図形、画像、URL、動画埋め込みなど)

事前学習	PC の扱いに慣れる	時間	30 分
事後学習	提示された課題を実施し提出する 他の授業でも PC を積極的に使う	時間	60 分

9.Microsoft Powerpoint の使い方 その2

- ・画像や文字フォントの変更など自分の意図したレイアウトを実現する

事前学習	PC の扱いに慣れる	時間	30 分
事後学習	提示された課題を実施し提出する 他の授業でも PC を積極的に使う	時間	60 分

10.Microsoft Powerpoint の使い方 その3

- ・プレゼンに合った表現を工夫する(レポートとの違い、アニメーションの有効な使い方)

事前学習	PC の扱いに慣れる	時間	30 分
事後学習	提示された課題を実施し提出する 他の授業でも PC を積極的に使う	時間	60 分

11.Microsoft Powerpoint の使い方 その4

- ・小中学生にむけた曲を紹介するプレゼンテーションの作成

事前学習	紹介する内容(曲、作曲家について)を検討する	時間	30 分
事後学習	提示された課題を実施し提出する 他の授業でも PC を積極的に使う	時間	60 分

12.Microsoft Powerpoint の使い方 その5

- ・小中学生にむけた曲を紹介するプレゼンテーションの作成(続き)

事前学習	PC の扱いに慣れる	時間	30 分
事後学習	提示された課題を実施し提出する 他の授業でも PC を積極的に使う	時間	60 分

13.作品の制作 その1

- ・自分の考えをまとめて報告書を作成し、その内容に沿ったプレゼンテーションの作成を行う

事前学習	報告書の内容について検討する (例:特定の作曲家や楽曲に関する分析、実技の指導方法など)	時間	30 分
事後学習	提示された課題を実施し提出する 他の授業でも PC を積極的に使う	時間	60 分

14.作品の制作 その2

- ・自分の考えをまとめて報告書を作成し、その内容に沿ったプレゼンテーションの作成を行う

事前学習	報告書の内容について検討する	時間	30 分
事後学習	提示された課題を実施し提出する 他の授業でも PC を積極的に使う	時間	60 分

15.作品の制作 その3

- ・自分の考えをまとめて報告書を作成し、その内容に沿ったプレゼンテーションの作成を行う

事前学習	報告書の内容や説得力の得る説明の方法について検討する	時間	30 分
事後学習	作品を完成させて提出する	時間	60 分

【オフィスアワー】

金曜日 情報リテラシー中級の授業の前後

【教材】

クラスルームに資料を掲載します。

情報リテラシー初級ⅢR β (後期)					
担当教員	清水 郁子 講師		曜日時限	土 1 時限	
実施キャンパス	仙川	単位	2 単位	対象年次	学部 1 年～

【授業の概要】

基本的な内容をもう一度学び直したい人を対象とし、PC の機能を使いこなせるようになることを目的としています。

社会情勢もあり、オンライン化に拍車がかかり日常の生活でも情報機器を利用せざるを得ない状況です。

PC の基本的な機能を使いこなすことができれば、芸術分野の魅力を社会に発信するための一助にもなります。

大学での課題作成に欠かせない文章作成ソフト(文字入力のみでなく、画像、表、イラストを含んだ文章を作成する)、表計算ソフト(計算式の使用方法をマスターし、報告書の形態で作成する)、スライド作成(画像、イラスト、サウンドなどのコンテンツを含むプレゼンテーションを作成する)のスキル向上を目指します。

【到達目標】

- ・自分自身の PC 環境を整え、今後の授業に積極的に利用できるようになる。
- ・ワープロ、表計算、プレゼンテーションのためのアプリケーションの実践的な使い方をマスターできるようになる。
- ・各自の PC スキルに応じ、自分のスキルのレベルをアップする。
- ・情報機器の扱いに関して独力で解決する力がつく。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

上限を 20 名とします。

ある程度操作はできるが、基本的なことを確認したい、または学び直したいという人向けです。

Classroom の資料を見て、独力で課題をこなす自信がある人、MicroSoft の Office のデスクトップ版を PC に搭載していること(他のアプリの利用は対応しません)。

履修が決定したら(クラス配属されたら)すぐに Classroom に登録すること(開講前にも連絡をします)。

「情報処理」既習者は不可、同レベル(初級レベル I,II,III)の複数回の受講も不可です。

中級レベルとの同時受講は可能です。

【授業の形式】

土 1 時限と記載されていますが、遠隔授業(オンデマンド配信)です。

PC 実習

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	70%	30%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

提出された課題は Classroom を通じて個々に講評する。

【授業展開と内容-後期】

1.1)Microsoft Word の使い方 その1

文字だけで相手に効果的に伝える方法(単語の強調の方法)

2)PC 内のストレージ構造とフォルダ管理

3)Google の Classroom での課題提出方法やドライブの使い方

事前学習	Classroom の使い方を資料を見て理解する	時間	30 分
事後学習	授業中に提示された課題を実施する 他の授業でも PC を積極的に使う	時間	60 分

2.1)Microsoft Word の使い方 その2

- ・レイアウトのいろいろ(均等揃え、組文字、段組、縦書き横書きなど)
- ・表の作成(デザイン、レイアウト、文字表示位置調整、行・列の分割と結合)

2)クラウドのストレージの利用に関する注意(OneDrive、icloud など)

事前学習	PC の扱いに慣れる	時間	30 分
事後学習	提示された課題を実施し提出する 他の授業でも PC を積極的に使う	時間	60 分

3.1)Microsoft Word の使い方 その3

- ・レイアウト調整(箇条書き、段落、インデント、タブ)

2)PC を買うときに見るべきポイント(ストレージ、メモリ、CPU など PC の性能について)

事前学習	PC の扱いに慣れる	時間	30 分
事後学習	提示された課題を実施し提出する 他の授業でも PC を積極的に使う	時間	60 分

4.Microsoft Word の使い方 その4

- ・画像を扱う(書式設定、文字列の折り返しなど)
- ・図形を扱う(文字の表示変更、複数の図形の配置調整、グループ化)

事前学習	コンサートやリサイタルの出演者やセットリストを考える	時間	30 分
事後学習	提示された課題を実施し提出する 他の授業でも PC を積極的に使う	時間	60 分

5.Microsoft Exel の使い方 その1

- ・基本的な使い方(計算式、関数、オート入力、表の書式)

事前学習	PC の扱いに慣れる	時間	30 分
------	------------	----	------

事後学習	提示された課題を実施し提出する 他の授業でも PC を積極的に使う	時間	60 分
------	--------------------------------------	----	------

6.Microsoft Excel の使い方 その2

- ・グラフの作成(グラフの種類、デザイン、さまざまな要素の追加)

事前学習	PC の扱いに慣れる	時間	30 分
事後学習	提示された課題を実施し提出する 他の授業でも PC を積極的に使う	時間	60 分

7.Microsoft Excel の使い方 その3

- ・グラフを作成し、Microsoft Word に貼り付ける
- ・予算書、決算書などの書類の作成(レイアウト整えなど)

事前学習	PC の扱いに慣れる	時間	30 分
事後学習	提示された課題を実施し提出する 他の授業でも PC を積極的に使う	時間	60 分

8.Microsoft Powerpoint の使い方 その1

- ・基本的な使い方(図形、画像、URL、動画埋め込みなど)

事前学習	PC の扱いに慣れる	時間	30 分
事後学習	提示された課題を実施し提出する 他の授業でも PC を積極的に使う	時間	60 分

9.Microsoft Powerpoint の使い方 その2

- ・画像や文字フォントの変更など自分の意図したレイアウトを実現する

事前学習	PC の扱いに慣れる	時間	30 分
事後学習	提示された課題を実施し提出する 他の授業でも PC を積極的に使う	時間	60 分

10.Microsoft Powerpoint の使い方 その3

- ・プレゼンに合った表現を工夫する(レポートとの違い、アニメーションの有効な使い方)

事前学習	PC の扱いに慣れる	時間	30 分
------	------------	----	------

事後学習	提示された課題を実施し提出する 他の授業でも PC を積極的に使う	時間	60 分
------	--------------------------------------	----	------

11.Microsoft Powerpoint の使い方 その4

- ・小中学生にむけた曲を紹介するプレゼンテーションの作成

事前学習	紹介する内容(曲、作曲家について)を検討する	時間	30 分
事後学習	提示された課題を実施し提出する 他の授業でも PC を積極的に使う	時間	60 分

12.Microsoft Powerpoint の使い方 その5

- ・小中学生にむけた曲を紹介するプレゼンテーションの作成(続き)

事前学習	PC の扱いに慣れる	時間	30 分
事後学習	提示された課題を実施し提出する 他の授業でも PC を積極的に使う	時間	60 分

13.作品の制作 その1

- ・自分の考えをまとめて報告書を作成し、その内容に沿ったプレゼンテーションの作成を行う

事前学習	報告書の内容について検討する (例:特定の作曲家や楽曲に関する分析、実技の指導方法など)	時間	30 分
事後学習	提示された課題を実施し提出する 他の授業でも PC を積極的に使う	時間	60 分

14.作品の制作 その2

- ・自分の考えをまとめて報告書を作成し、その内容に沿ったプレゼンテーションの作成を行う

事前学習	報告書の内容について検討する	時間	30 分
事後学習	提示された課題を実施し提出する 他の授業でも PC を積極的に使う	時間	60 分

15.作品の制作 その3

- ・自分の考えをまとめて報告書を作成し、その内容に沿ったプレゼンテーションの作成を行う

事前学習	報告書の内容や説得力のする説明の方法について検討する	時間	30 分
事後学習	作品を完成させて提出する	時間	60 分

【オフィスアワー】

金曜日 情報リテラシー中級の授業の前後

【教材】

クラスルームに資料を掲載します。

情報リテラシー中級 I H α (前期)					
担当教員	清水 郁子 講師	曜日時限		金 2 時限	
実施キャンパス	仙川	単位	2 単位	対象年次	学部 1 年～

【授業の概要】

文章作成やスライド作成などで日常的に PC を使うという人が対象です。対面で実施します。

画像や動画の編集処理、CG 作成などに関わる簡単なプログラミングを行います。

また、最新の人工知能による画像生成技術等の紹介し、人工知能が生成した絵画と人間が描いた絵画を比べて考察します。

現在、技術的に可能なレベルを実際に体験し、工学的に可能なことと人間にしかできないことの違い、自分自身の創作について考えるきっかけにしていきたいと考えています。

【到達目標】

- ・自分自身の PC 環境を整え、今後の授業に積極的に活用できるようになる。
- ・画像や動画のグラフィックを扱うときに必要な知識が身につけられ。
- ・画像処理や3次元 CG を通してプログラミング力を身につけられる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

初級を履修済み、または基本的な作業はこなせる人対象。

対面中心なので18名まで。

自分の PC 環境を整えることも目的なので、PC を持参してください(ノート型の場合)。

初級との同時受講は可能です。

【授業の形式】

PC を使った実習

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	50%	50%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業時にフィードバックする。

学年末試験／学年末レポートについては Classroom に講評を掲載する。

【授業展開と内容-前期】

1.<デジタル画像の基礎>

デジタル画像とは何か、カメラで撮影して画像を得るとはどういうことかについて講義を行う。

事前学習	Microsoft Office の Word、Excel、Powerpoint が起動できることを確認する。	時間	30 分
事後学習	授業中に説明した課題を実施する。	時間	60 分

2.<発表>

前回の課題に関する発表資料 (Powerpoint 等) 1～2枚にまとめ、それぞれ発表する。

事前学習	発表資料 (Powerpoint 等) 1～2枚を作成して発表の準備をする。	時間	30 分
事後学習	授業中に説明した課題を実施する。	時間	60 分

3.<基本的な画像処理1>

色調補正やカラー変換などの基本的な画像処理について講義を行ったあと、Gimp を使った実習を行う。

事前学習	Classroom の資料にしたがって Gimp をインストールする。	時間	30 分
事後学習	授業中に説明した課題を実施する。	時間	60 分

4.<基本的な画像処理2>

画像の変形やインペインティングなどの基本的な画像処理について講義を行った後、GoogleColaboratory の環境を用いた実習を行う。

事前学習	Classroom の資料にしたがって、GoogleColaboratory のサンプルファイルを実行できることを確認する。	時間	30 分
事後学習	授業中に説明した課題を実施する。	時間	60 分

5.<人工知能の基礎1>

最近話題になっているニューラルネットワークや深層学習の基礎を紹介する。

事前学習	Classroom の資料にしたがって授業の準備をする。	時間	30 分
事後学習	授業中に説明した課題を実施する。	時間	60 分

6.<人工知能の基礎2>

深層学習の手法に基づく人の顔の検出について、GoogleColaboratory の環境を用いた実習を行う。

事前学習	Classroom の資料にしたがって授業の準備をする。	時間	30 分
事後学習	授業中に説明した課題を実施する。	時間	60 分

7.<人工知能の基礎3>

深層学習の手法に基づく特定の人の顔の認識について、GoogleColaboratory の環境を用いた実習を行う。

事前学習	Classroom の資料にしたがって授業の準備をする。	時間	30 分
事後学習	授業中に説明した課題を実施する。	時間	60 分

8.<人工知能による画像の生成>

近年話題になっているテキストを入力するとその内容に沿った画像を生成する人工知能について説明し、

GoogleColaboratory の環境を用いた実習を行う。

事前学習	Classroom の資料にしたがって授業の準備をする。	時間	30 分
事後学習	授業中に説明した課題を実施する。	時間	60 分

9.<発表>

前回の課題に関する発表資料(Powerpoint 等) 1～2枚にまとめ、それぞれ発表する。

事前学習	発表資料(Powerpoint 等) 1～2枚を作成して発表の準備をする。	時間	30 分
事後学習	授業中に説明した課題を実施する。	時間	60 分

10.<動画の作成>

静止画像と動画の違いを理解し、静止画像を少しずつ変化させて動画を生成する。

事前学習	元となる静止画像を用意する。	時間	30 分
事後学習	授業中に説明した課題を実施する。	時間	60 分

11.<DavinciResolve による動画処理>

動画に音楽をつける方法を説明し、実習を行う。

事前学習	1 分程度の音声ファイルを用意する。	時間	30 分
事後学習	授業中に説明した課題を実施する。	時間	60 分

12.<POV-ray による CG の作成>

CG 作成の基礎を学び、簡単な CG を作成する。

事前学習	Classroom の資料にしたがって授業の準備をする。	時間	30 分
事後学習	授業中に説明した課題を実施する。	時間	60 分

13.<作品の制作1>

音楽のついた動画作品を制作する。

事前学習	音声ファイルを用意する。	時間	30 分
事後学習	作品の完成に向け作業を進める。	時間	60 分

14.<作品の制作2>

音楽のついた動画作品を制作する。

事前学習	作品の完成に向け作業を進める。	時間	30 分
事後学習	作品の完成に向け作業を進める。	時間	60 分

15.<作品の制作3>

音楽のついた動画作品を制作する。

事前学習	作品の完成に向け作業を進める。	時間	30 分
事後学習	作品の完成させ提出する。	時間	60 分

【オフィスアワー】

金曜日授業前後

【教材】

GoogleClassroom で資料を配布します

ロシアの言語と文化 α (前期), β (後期)					
担当教員	長井 淳 講師	曜日時限		金 2 時限	
実施キャンパス	仙川	単位	各 2 単位	対象年次	学部 1 年～

【授業の概要】

ロシア語の基礎とロシア文化を学ぶ。ロシア語の習得はロシア音楽の理解にも役立ち、キリル文字が発音できるようになればロシア歌曲をレパートリーとすることもできる。文化講義においては、今なお激動の歴史をたどるロシアとスラヴ世界の文化を学ぶ。特に、ロシア音楽を理解するために必要な背景として、ロシア文化の基本的な知識、音楽化された小説、詩を取り上げる。

【到達目標】

以下の 4 点を到達目標とする。

- 1) ロシア語で使われているキリル文字を読み、発音できるようになる。
- 2) ロシア語で書かれた簡単な文を読み、簡単な表現ができるようになる。
- 3) ロシア音楽の文化的背景を説明できるようになる。
- 4) ロシア詩の形式を理解し、朗読(歌唱)できるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

ロシア語とロシア文化、文学に関する知識がゼロの履修生を想定しているので基本的に誰でも受講できるが、よりよいクラスを作るため、以下の3点を履修条件とする。

- 1) 授業の中心は語学授業になるため、ロシア語を習得する強い意志がある。
- 2) 大学アカウントを用いた Google クラウド、Google フォーム、メールを活用する。これらの使いこなし、およびそのアカウントでの連絡のやりとりがきちんとできる。
- 3) 前期の α 、後期の β をセットで履修することを前提とする。ロシア語をまったく勉強したことのない人が後期の β のみ受講することはできない。

なお特に事情なく、授業回数の 1/3 以上欠席した場合は、その時点で単位取得不可となる。

また、本科目は「重複履修」を認めない。

【授業の形式】

「語学演習」+「文化講義」

基本的に各回とも授業の前半 60～70 分は語学演習、後半 20～30 分は文化講義となる(進度により語学演習のみの回もある)。語学演習では、ロシア語力を着実に積みあげてもらうために、原則的に各回課題に取り組んでもらう。文化講義では映像資料を積極的に活用し、具体的なイメージをつかんでもらう。語学演習の進度はクラスの全体的な理解度に応じ、下記の「授業の展開と内容」欄に記したものと異なる形になる場合もある。文化講義のトピックスに関しても、語学演習の進度や受講生の関心により予定を変更する場合がある。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
60%	20%	20%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

ロシア語の小テストは次回授業時にフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1. 語学演習:「こんにちは!」～ガイダンス、ロシア語の響きを感じ取る、挨拶、文字と発音(1)

事前学習	予習動画を視聴し、文字の書き方と発音を習得する。	時間	45 分
事後学習	学んだ表現を発音、スペルを含め覚える。	時間	45 分

2.語学演習:文字と発音(2)

文化講義:ロシアの起源への旅～スラヴとは何か？

事前学習	予習動画を視聴し、文字の書き方と発音を習得する。	時間	45 分
事後学習	学んだ表現を発音、スペルを含め覚える。	時間	45 分

3.語学演習:文字と発音(3)

文化講義:ロシア民話「ヤガーばあさん」(1):民話の構造分析

事前学習	予習動画を視聴し、文字の書き方と発音を習得する。	時間	45 分
事後学習	学んだ表現を発音、スペルを含め覚える。	時間	45 分

4.語学演習:「この人は誰ですか？」～疑問詞 к т о

文化講義:ロシア民話「ヤガーばあさん」(2):ロシア文化における白樺

事前学習	予習動画を視聴し、文字の書き方と発音を習得する。	時間	45 分
事後学習	学んだ表現を発音、スペルを含め覚える。	時間	45 分

5.語学演習:「これは何ですか？」～疑問詞 ч т о

文化講義:ロシア民話「ヤガーばあさん」(3):民謡「野に白樺立てり」～ロシア民謡の特徴

事前学習	予習動画を視聴し、文字の書き方と発音を習得する。	時間	45 分
事後学習	学んだ表現を発音、スペルを含め覚える。	時間	45 分

6.語学演習:「ロシアの音楽」～形容詞(1)

文化講義:ロシア語のルーツ

事前学習	与えられた課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	学んだ表現を発音、スペルを含め覚える。	時間	45 分

7.語学演習:「わたしの家族」～所有代名詞(1)

文化講義:建国伝説と多神教信仰

事前学習	与えられた課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	学んだ表現を発音、スペルを含め覚える。	時間	45 分

8.語学演習:「うちの犬です」～所有代名詞(2)

文化講義:キリスト教(正教)の受容

事前学習	与えられた課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	学んだ表現を発音、スペルを含め覚える。	時間	45 分

9.語学演習:「うちの新車です」～形容詞(2)

文化講義:キリル文字と古教会スラヴ語

事前学習	与えられた課題に取り組む。	時間	45 分
------	---------------	----	------

事後学習	学んだ表現を発音、スペルを含め覚える。	時間	45 分
------	---------------------	----	------

10.語学演習:「イワンは働いています」～動詞(1)

文化講義:教会とアイコン

事前学習	与えられた課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	学んだ表現を発音、スペルを含め覚える。	時間	45 分

11.語学演習:「ロシア語を勉強しています」～動詞(2)

文化講義:プーシキンの詩(1)～ロシア詩の形式

事前学習	与えられた課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	学んだ表現を発音、スペルを含め覚える。	時間	45 分

12.語学演習:「英語が話せますか?」～動詞(3)

文化講義:プーシキンの詩(2)～詩の解釈

事前学習	与えられた課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	学んだ表現を発音、スペルを含め覚える。	時間	45 分

13.語学演習:「電話中です」～動詞(4)

文化講義:プーシキンの詩(3)～ロマン主義の詩の特徴

事前学習	与えられた課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	学んだ表現を発音、スペルを含め覚える。	時間	45 分

14.語学演習:「ボルシチが好きです」～名詞の対格(1)

事前学習	与えられた課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	学んだ表現を発音、スペルを含め覚える。	時間	45 分

15.まとめと復習(進度によって授業内容が変更される場合があります)

事前学習	与えられた課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	学んだ表現を発音、スペルを含め覚える。	時間	45 分

【授業展開と内容-後期】

1.語学演習:「ミーシャは音楽を聴いています」～名詞の対格(2)

文化講義:中世文学『イーゴリ遠征物語』

事前学習	与えられた課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	学んだ表現を発音、スペルを含め覚える。	時間	45 分

2.語学演習:「私は音楽を聴くのがとても好きです」～「～が好きだ」の表現

文化講義:イワン雷帝とボリス・ゴドゥノフ(1)

事前学習	与えられた課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	学んだ表現を発音、スペルを含め覚える。	時間	45 分

3.語学演習:「地下鉄はどこにありますか?」～場所の表現

文化講義:イワン雷帝とボリス・ゴドゥノフ(2)

事前学習	与えられた課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	学んだ表現を発音、スペルを含め覚える。	時間	45 分

4.語学演習:「ピロシキが食べたい」～「～したい」の表現

文化講義:ピョートル大帝、エカテリーナ 2 世、ニコライ 1 世

事前学習	与えられた課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	学んだ表現を発音、スペルを含め覚える。	時間	45 分

5.語学演習:「メニューを見せてください」～命令形

文化講義:プーシキン『エヴゲーニー・オネーギン』(1)

事前学習	与えられた課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	学んだ表現を発音、スペルを含め覚える。	時間	45 分

6.語学演習:「今何時ですか?」～時刻の表現(1)

文化講義:プーシキン『エヴゲーニー・オネーギン』(2)

事前学習	与えられた課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	学んだ表現を発音、スペルを含め覚える。	時間	45 分

7.語学演習:「8時に夕食をとります」～時刻の表現(2)

文化講義:ゴーゴリ『鼻』・『外套』

事前学習	与えられた課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	学んだ表現を発音、スペルを含め覚える。	時間	45 分

8.語学演習:「彼は 21 歳です」～年齢の表現

文化講義:ドストエフスキーとその時代

事前学習	与えられた課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	学んだ表現を発音、スペルを含め覚える。	時間	45 分

9.語学演習:「どこへ行くのですか?」～移動動詞 **идти**

文化講義:ドストエフスキー『罪と罰』

事前学習	与えられた課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	学んだ表現を発音、スペルを含め覚える。	時間	45 分

10.語学演習:「弟は小学校に通っている」～移動動詞 **ходить**

文化講義:ドストエフスキー『カラマーゾフの兄弟』

事前学習	与えられた課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	学んだ表現を発音、スペルを含め覚える。	時間	45 分

11.語学演習:「ボリショイ劇場に向かっています」～移動動詞 **ехать・ездить**

文化講義:チェーホフの戯曲

事前学習	与えられた課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	学んだ表現を発音、スペルを含め覚える。	時間	45 分

12.語学演習:「これはニーナの楽譜です」～所有表現(1)

文化講義:世紀末芸術

事前学習	与えられた課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	学んだ表現を発音、スペルを含め覚える。	時間	45 分

13.語学演習:「チケットを持っていますか?」～所有表現(2)

文化講義:20 世紀の社会と芸術

事前学習	与えられた課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	学んだ表現を発音、スペルを含め覚える。	時間	45 分

14.語学演習:「モスクワの地図を持っていますか?」～所有表現(3)

事前学習	与えられた課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	学んだ表現を発音、スペルを含め覚える。	時間	45 分

15.まとめと復習(進度によって授業内容が変更される場合があります)

事前学習	与えられた課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	学んだ表現を発音、スペルを含め覚える。	時間	45 分

【オフィスアワー】

メール、もしくは必要に応じ Zoom ミーティングで対応する。対面を希望する場合は、授業前に時間を取るの、事前にメールで連絡すること(金曜日 2 限前 仙川教員室)。

【テキスト】

1.『ロシア語へのパスポート 改訂版』中島由美、黒田龍之助、柳町裕子 2005 年 ¥2,300 9784560016299

備考:書店、インターネットショップ等で各自、購入すること(初回授業で説明)

【その他】

配布プリントをまとめるファイルを用意すること。辞書に関しては教場で説明するので、購入する場合はそのあとにすること。

日本の言語と文化 α (前期), β (後期)					
担当教員 西野入 篤男 講師			曜日時限		水 2 時限
実施キャンパス 仙川	単位	各 2 単位		対象年次	学部 1 年～

【授業の概要】

日本古代の〈うた〉と〈ものがたり〉を多角的な視点から捉えることを通して、日本古典文化・文学の複雑さ(混在性や交差性)を学んでいきます。前期は詩歌を中心に扱い、『万葉集』『古今和歌集』『伊勢物語』『大和物語』『土佐日記』『蜻蛉日記』の表現世界に触れていく。それぞれの作品の特徴を学びながら、記号とジェンダー、中国との文化接触、ジャンルの創造などについて考えていきます。後期は物語文学に焦点を当て、歴史的・文化社会的な要因がいかにテキストに作用するのか、中国の文化・文学との関係性はどうか、また現代社会のアクチュアルな課題とのどう関わるのかを考えていきたいと思う。

【到達目標】

日本の古典テキストにアプローチする際の多角的な視点を学び、文化や芸術作品への理解の仕方を多様化できるようにする。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

特になし

【授業の形式】

- ・講義形式
- ・パワーポイントを用いた講義形式で授業を展開する

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
40%	20%	40%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に

判断し、S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業授業時にフィードバックする。

学年末レポートについては Classroom に講評を返信する予定。

【授業展開と内容-前期】

1.第1回 オリエンテーション

「日本の言語と文学 α」の授業で何をやっていくか、問題はこういったところにあり、どのようにアプローチしていくのか解説していきます。

事前学習	classroom にて論文などのデータをアップするので読んでくること。	時間	45 分
事後学習	講義内容の要約と意見コメントの提出	時間	45 分

2.第2回 万葉集への招待

日本最古の和歌集である『万葉集』という書物について解説していきます。「令和」という元号についても触れてみたいと思います。

事前学習	classroom にて論文などのデータをアップするので読んでくること。	時間	45 分
事後学習	講義内容の要約と意見コメントの提出	時間	45 分

3.第3回 額田王と大海人皇子(1)

『万葉集』の額田王に関する解説と、その歌の特徴について解説していきます。

事前学習	classroom にて論文などのデータをアップするので読んでくること。	時間	45 分
事後学習	講義内容の要約と意見コメントの提出	時間	45 分

4.第4回 額田王と大海人皇子(2)

額田王の歌に対する大海人皇子の返歌を解説しながら、この贈答歌が宴の場で新しい恋の趣向を演じるものであったことを解説していきます。

事前学習	classroom にて論文などのデータをアップするので読んでくること。	時間	45 分
事後学習	講義内容の要約と意見コメントの提出	時間	45 分

5.第5回 古今和歌集の成立と構成

『古今和歌集』の成立と部立ての構造について説明します。

事前学習	classroom にて論文などのデータをアップするので読んでくること。	時間	45 分
事後学習	講義内容の要約と意見コメントの提出	時間	45 分

6.第6回 和歌の上昇と摂関政治

『古今和歌集』成立の背景に摂関政治との関わりにおいて社会的地位の向上した女性文化を見出していきます。

事前学習	classroom にて論文などのデータをアップするので読んでくること。	時間	45 分
事後学習	講義内容の要約と意見コメントの提出	時間	45 分

7.第7回 歌物語の世界(1)

歌物語というジャンルの解説と、『伊勢物語』の世界に触れていきます。

事前学習	classroom にて論文などのデータをアップするので読んでくること。	時間	45 分
事後学習	講義内容の要約と意見コメントの提出	時間	45 分

8.第8回 歌物語の世界(2)

『大和物語』の世界を、『伊勢物語』と比較しながら解説していきます。

事前学習	classroom にて論文などのデータをアップするので読んでくること。	時間	45 分
事後学習	講義内容の要約と意見コメントの提出	時間	45 分

9.第9回 正岡子規と日本社会

歌の伝統が近代になってどのように変化したのか考えていきます。正岡子規によってたどりますが、この回では当時の社会背景の解説をします。

事前学習	classroom にて論文などのデータをアップするので読んでくること。	時間	45 分
事後学習	講義内容の要約と意見コメントの提出	時間	45 分

10.第10回 正岡子規の写生文運動

正岡子規の写生文運動と、日本の新しい文章スタイルの創出との関係について解説していきます。

事前学習	classroom にて論文などのデータをアップするので読んでくること。	時間	45 分
事後学習	講義内容の要約と意見コメントの提出	時間	45 分

11.第 11 回 日記文学というジャンル

古代の〈日記〉というジャンルについて、紀貫之『土佐日記』を資料として解説していきます。

事前学習	classroom にて論文などのデータをアップするので読んでくること。	時間	45 分
事後学習	講義内容の要約と意見コメントの提出	時間	45 分

12.第 12 回 『蜻蛉日記』の世界

菅原道綱母『蜻蛉日記』について解説しながら、古代の婚姻制度や女性の生き方について考えていきます。

事前学習	classroom にて論文などのデータをアップするので読んでくること。	時間	45 分
事後学習	講義内容の要約と意見コメントの提出	時間	45 分

13.第 13 回 『和泉式部日記』の世界

和泉式部『和泉式部日記』の特徴を、彼女の歌から読み解いていきます。

事前学習	classroom にて論文などのデータをアップするので読んでくること。	時間	45 分
事後学習	講義内容の要約と意見コメントの提出	時間	45 分

14.第 14 回 現代社会と古典をどう結ぶか

現在の社会分析と今後 20 年の動向を見通し、古典の〈生き延び〉について考えてみる。

事前学習	classroom にて論文などのデータをアップするので読んでくること。	時間	45 分
事後学習	講義内容の要約と意見コメントの提出	時間	45 分

15.第 15 回「前期授業の総復習」

前期の授業を振り返ります。

事前学習	classroom にて論文などのデータをアップするので読んでくること。	時間	45 分
事後学習	講義内容の要約と意見コメントの提出	時間	45 分

【授業展開と内容-後期】

1.第 1 回 オリエンテーション

後期の授業についての説明と、古典文学の恋の典型である「噂」や「垣間見」について解説していきます。

事前学習	classroom にて論文などのデータをアップするので読んでくること。	時間	45 分
事後学習	講義内容の要約と意見コメントの提出	時間	45 分

2.第 2 回 平安時代の恋愛と結婚

平安時代の恋愛と結婚について『蜻蛉日記』や『和泉式部日記』、『落窪物語』や『源氏物語』を通して解説していきます。

事前学習	classroom にて論文などのデータをアップするので読んでくること。	時間	45 分
事後学習	講義内容の要約と意見コメントの提出	時間	45 分

3.第 3 回 四季の歌と恋の歌

季節と恋の和歌について解説します。絵的に想像力を換気し、また掛詞で意味を重層化させていく和歌の特徴を学んでください。

事前学習	classroom にて論文などのデータをアップするので読んでくること。	時間	45 分
事後学習	講義内容の要約と意見コメントの提出	時間	45 分

4.第 4 回 平安朝の女房たち

平安時代の働く女性(女房)に注目していきます。

事前学習	classroom にて論文などのデータをアップするので読んでくること。	時間	45 分
事後学習	講義内容の要約と意見コメントの提出	時間	45 分

5.第 5 回 平安時代の情報網

平安時代の噂(情報)について、現代社会の課題と関わらせて考えていきます。

事前学習	classroom にて論文などのデータをアップするので読んでくること。	時間	45 分
事後学習	講義内容の要約と意見コメントの提出	時間	45 分

6.第 6 回 平安貴族の多忙な日常

平安時代の男性たちの家族経営の方法や働き方について見ていきます。

事前学習	classroom にて論文などのデータをアップするので読んでくること。	時間	45 分
事後学習	講義内容の要約と意見コメントの提出	時間	45 分

7.第 7 回 悲劇の型

平安時代に繰り返される悲恋物語のパターンについて、そのからくりを考えてみたいと思います。

事前学習	classroom にて論文などのデータをアップするので読んでくること。	時間	45 分
事後学習	講義内容の要約と意見コメントの提出	時間	45 分

8.第 8 回 別れと再会

古典文学に描かれた男女の別れと再会の物語を読み解いていきます。

事前学習	classroom にて論文などのデータをアップするので読んでくること。	時間	45 分
事後学習	講義内容の要約と意見コメントの提出	時間	45 分

9.第 9 回 歌徳説話

歌徳説話を足掛かりに、古代の夫婦関係について考えてみたいと思います。

事前学習	classroom にて論文などのデータをアップするので読んでくること。	時間	45 分
事後学習	講義内容の要約と意見コメントの提出	時間	45 分

10.第 10 回 災害と古代人はどう向き合ったのか

古代の人々が天災や厄災とどのように向き合ってきたのか、またフィクションの世界にどのように影響してきたかを概説していきます。

事前学習	classroom にて論文などのデータをアップするので読んでくること。	時間	45 分
事後学習	講義内容の要約と意見コメントの提出	時間	45 分

11.第 11 回 親と子の物語から考える

親と子の確執の物語から、現代社会に通じる問題意識や子どもの内面の成長について考えていきます。

事前学習	classroom にて論文などのデータをアップするので読んでくること。	時間	45 分
事後学習	講義内容の要約と意見コメントの提出	時間	45 分

12.第 12 回 物語の〈老い〉

老女の恋について『伊勢物語』を足掛かりに考えていきます。

事前学習	classroom にて論文などのデータをアップするので読んでくること。	時間	45 分
事後学習	講義内容の要約と意見コメントの提出	時間	45 分

13.第 13 回 声の文化 琵琶法師について

平家の亡霊を語った「琵琶法師」という存在について解説していきます。

事前学習	classroom にて論文などのデータをアップするので読んでくること。	時間	45 分
事後学習	講義内容の要約と意見コメントの提出	時間	45 分

14.第 14 回 現代社会と古典をどう結ぶか

現在の社会分析と今後 20 年の動向を見通し、古典の〈生き延び〉について考えてみる。

事前学習	classroom にて論文などのデータをアップするので読んでくること。	時間	45 分
事後学習	講義内容の要約と意見コメントの提出	時間	45 分

15.第 15 回 後期授業のまとめ

事前学習	classroom にて論文などのデータをアップするので読んでくること。	時間	45 分
事後学習	講義内容の要約と意見コメントの提出	時間	45 分

【オフィスアワー】

水曜日の授業時間前後に時間を確保します。

【テキスト】

1.和歌とは何か 渡部泰明 2009 年 ¥840

備考:和歌のレトリックがいかに大事かよく分かる一冊。今までテスト用に用語だけ覚えていた人は、この本を読んでようやく納得できるでしょう。

2.源氏物語の世界 日向一雅 2004 年 ¥924

備考:『源氏物語』は単なる恋愛小説ではない。恋愛・政治・宗教、そして諷諭の物語である。

3.漢詩——美の在りか—— 松浦友久 2002 年 ¥780

備考:漢詩という芸術形式についてよく分かる。

4.唐物の文化史——舶来品からみた日本 河添房江 2014 年 ¥880

備考:日本の文化が東アジアとの交流で生成されていることがよく分かる一冊。

5.琵琶法師——”異界”を語る人びと 兵藤裕己 2009 年 ¥1,114

備考:『平家物語』に興味がある人は読んでみよう。日本の声の文化を支えた人々が見えてくる。

6.和漢のさかいをまぎらかす 茶の湯の理念と日本文化 島尾新 2013 年 ¥1,300

備考: 日本文化と中国文化の二項対立的な考え方を捉え直す。

【その他】

課題に対するフィードバックは次週授業の最初に行います。

英米の言語と文化 α (前期), β (後期)					
担当教員 長瀬 浩平 教授			曜日時限		土 1 時限
実施キャンパス	仙川	単位	各 2 単位	対象年次	学部 1 年～

【授業の概要】

この授業では受講者が「鑑賞し、味わえる」英詩(原則として、メロディが付いていて、歌として歌われるもの)を厳選して取り上げる予定である。いわゆる Ballad と呼ばれるものを中心にして、時代的にはシェイクスピアの時代のものが多く選ばれる。シェイクスピアの劇中に引用されているものや、言及されているもの、その頃から今も歌い継がれているものなど、英米人たちが慣れ親しんでいる詩を読むことになるが、その他にも、現代の作品も取り扱う。(※授業予定に関しては、受講者の様子や反応を見ながら、柔軟に変えてゆく方針なので、予定通りではない可能性がある。)

実際の授業は、その場で初めて接する英詩を初見で読んで、知らない単語があれば辞書を引いて調べ、和訳をしながら読む、という流れである。この授業では詩を初見で読んで、その第一印象として、その詩を読んでどう感じたかを大事にしており、予習は必要ない。

【到達目標】

初見で英詩を原語で読んで、(辞書を使って)それを訳すことができ、鑑賞できること。また、自分の考え、感じたことを意見として記述(リアクションペーパー)することができること。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

英語上級「Level III」以上の者

※過去にこの授業を一度も受けたことのない者に限る。

(※※各詩の第一印象を重視している。前の年度に使った教材と多くが重なるので、過去の途中放棄者も再受講不可とする。)

【授業の形式】

土 1 時限と記載されていますが、遠隔授業(オンデマンド配信)です。

講義(および演習)+リアクションペーパーのフィードバック

＊【遠隔】(動画配信)で実施する。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	50%	50%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

毎回課されるリアクションペーパーのフィードバックは、次の回の授業時に行う。

【授業展開と内容-前期】

1.INTRODUCTION

事前学習	英詩一般に関して予習	時間	30 分
事後学習	リアクションペーパーの提出 読んだ詩の鑑賞 関連事項調べ	時間	60 分

2.英国のバラッド 1

事前学習	リアクションペーパーの見直し	時間	30 分
事後学習	リアクションペーパーの提出 読んだ詩の鑑賞 関連事項調べ	時間	60 分

3.英国のバラッド 2

事前学習	リアクションペーパーの見直し	時間	30 分
事後学習	リアクションペーパーの提出 読んだ詩の鑑賞 関連事項調べ	時間	60 分

4.英国のバラッド 3

事前学習	リアクションペーパーの見直し	時間	30 分
事後学習	リアクションペーパーの提出 読んだ詩の鑑賞 関連事項調べ	時間	60 分

5.現代詩 1

事前学習	リアクションペーパーの見直し	時間	30 分
------	----------------	----	------

事後学習	リアクションペーパーの提出 読んだ詩の鑑賞 関連事項調べ	時間	60 分
------	------------------------------------	----	------

6.シェイクスピアの時代から 1

事前学習	リアクションペーパーの見直し	時間	30 分
事後学習	リアクションペーパーの提出 読んだ詩の鑑賞 関連事項調べ	時間	60 分

7.シェイクスピアの時代から 2

事前学習	リアクションペーパーの見直し	時間	30 分
事後学習	リアクションペーパーの提出 読んだ詩の鑑賞 関連事項調べ	時間	60 分

8.シェイクスピアの作品から 1

事前学習	リアクションペーパーの見直し	時間	30 分
事後学習	リアクションペーパーの提出 読んだ詩の鑑賞 関連事項調べ	時間	60 分

9.シェイクスピアの作品から 2

事前学習	リアクションペーパーの見直し	時間	30 分
事後学習	リアクションペーパーの提出 読んだ詩の鑑賞 関連事項調べ	時間	60 分

10.スコットランドのバラッド 1

事前学習	リアクションペーパーの見直し	時間	30 分
事後学習	リアクションペーパーの提出 読んだ詩の鑑賞 関連事項調べ	時間	60 分

11.スコットランドのバラッド 2

事前学習	リアクションペーパーの見直し	時間	30 分
事後学習	リアクションペーパーの提出 読んだ詩の鑑賞 関連事項調べ	時間	60 分

12.シェイクスピアの作品から 3

事前学習	リアクションペーパーの見直し	時間	30 分
事後学習	リアクションペーパーの提出 読んだ詩の鑑賞 関連事項調べ	時間	60 分

13.シェイクスピアの作品から 4

事前学習	リアクションペーパーの見直し	時間	30 分
事後学習	リアクションペーパーの提出 読んだ詩の鑑賞 関連事項調べ	時間	60 分

14.英国のバラッド 4

事前学習	リアクションペーパーの見直し	時間	30 分
事後学習	リアクションペーパーの提出 読んだ詩の鑑賞 関連事項調べ	時間	60 分

15.中世の詩

事前学習	リアクションペーパーの見直し	時間	30 分
事後学習	リアクションペーパーの提出 読んだ詩の鑑賞 関連事項調べ	時間	60 分

【授業展開と内容-後期】

1.INTRODUCTION

事前学習	英詩一般に関して予習	時間	30 分
事後学習	リアクションペーパーの提出 読んだ詩の鑑賞 関連事項調べ	時間	60 分

2.シェイクスピアの時代から 1

事前学習	リアクションペーパーの見直し	時間	30 分
事後学習	リアクションペーパーの提出 読んだ詩の鑑賞 関連事項調べ	時間	60 分

3.シェイクスピアの時代から 2

事前学習	リアクションペーパーの見直し	時間	30 分
事後学習	リアクションペーパーの提出 読んだ詩の鑑賞 関連事項調べ	時間	60 分

4.現代詩 1

事前学習	リアクションペーパーの見直し	時間	30 分
事後学習	リアクションペーパーの提出 読んだ詩の鑑賞 関連事項調べ	時間	60 分

5.ウェールズの詩

事前学習	リアクションペーパーの見直し	時間	30 分
事後学習	リアクションペーパーの提出 読んだ詩の鑑賞 関連事項調べ	時間	60 分

6.イギリス・ルネッサンス期の作品 1

事前学習	リアクションペーパーの見直し	時間	30 分
事後学習	リアクションペーパーの提出 読んだ詩の鑑賞 関連事項調べ	時間	60 分

7.現代詩 2

事前学習	リアクションペーパーの見直し	時間	30 分
事後学習	リアクションペーパーの提出 読んだ詩の鑑賞 関連事項調べ	時間	60 分

8.イングランドのバラッド 1

事前学習	リアクションペーパーの見直し	時間	30 分
事後学習	リアクションペーパーの提出 読んだ詩の鑑賞 関連事項調べ	時間	60 分

9.イギリス・ルネッサンス期の作品 2

事前学習	リアクションペーパーの見直し	時間	30 分
事後学習	リアクションペーパーの提出 読んだ詩の鑑賞 関連事項調べ	時間	60 分

10.現代詩 3

事前学習	リアクションペーパーの見直し	時間	30 分
事後学習	リアクションペーパーの提出 読んだ詩の鑑賞 関連事項調べ	時間	60 分

11.現代詩 4

事前学習	リアクションペーパーの見直し	時間	30 分
事後学習	リアクションペーパーの提出 読んだ詩の鑑賞 関連事項調べ	時間	60 分

12.イギリス・ルネッサンス期の作品 3

事前学習	リアクションペーパーの見直し	時間	30 分
事後学習	リアクションペーパーの提出 読んだ詩の鑑賞	時間	60 分

	関連事項調べ		
--	--------	--	--

13.イギリス・ルネッサンス期の作品 3

事前学習	リアクションペーパーの見直し	時間	30 分
事後学習	リアクションペーパーの提出 読んだ詩の鑑賞 関連事項調べ	時間	60 分

14.イングランドのクリスマスキャロル

事前学習	リアクションペーパーの見直し	時間	30 分
事後学習	リアクションペーパーの提出 読んだ詩の鑑賞 関連事項調べ	時間	60 分

15.現代詩 5

事前学習	リアクションペーパーの見直し	時間	30 分
事後学習	リアクションペーパーの提出 読んだ詩の鑑賞 関連事項調べ	時間	60 分

【オフィスアワー】

月曜～木曜 部長室(仙川) (ただし、出張などで不在の場合もあり得る。)

後期は 仙川校舎 2 階 第 2 教員室

【テキスト】

【教材】

毎回、プリントを配布する。

【その他】

ドイツの言語と文化 α (前期), β (後期)					
担当教員 玉川 裕子 教授			曜日時限		月 4 時限
実施キャンパス 仙川	単位	各 2 単位	対象年次	学部 1 年～	

【授業の概要】

前期 <音楽の生まれる場——ファニー・メンデルスゾーン／ヘンゼルと音楽>

後期 <クララ・ヴィーク／シューマンの19世紀>

19世紀のドイツでは、近代化の進展にともない、都市を中心に人びとの生活習慣が大きく変化し、現在の私たちの生活様式の原型ともいえる市民的生活文化が成立した。いわゆる「クラシック音楽」にまつわる価値観やコンサート等の諸制度は、この市民的文化に深く根差している。本講座では近代ドイツの市民的生活文化という文脈のなかで、あらためて音楽の営みについて考えてみたい。

ところで、市民的生活文化の大きな特徴のひとつに、性別役割分業という考え方がすみずみまで浸透していたことがあげられる。音楽文化も例に違わない。それを具体的に見ていくために、19世紀ドイツを代表する二人の女性音楽家の営みを軸に据える。彼女たちの活動を出発点に、関連するさまざまな事象をたどっていくと、同時代の音楽文化が私たちが知る以上に、広がりとおもしろさをもった多様性に満ちたものであったことがみえてくるだろう。

前期は1805年にハンブルクで生まれ、1847年にベルリンで死去したファニー・メンデルスゾーン・バルトルディ／ヘンゼルを取りあげる。彼女は後期にとりあげるクララ・シューマンのように職業音楽家として名を成したわけではなかった。しかし、メンデルスゾーンという裕福なユダヤの一族に生を享けた彼女の音楽活動は、ベルリンの音楽文化の重要な一翼を担った。彼女の音楽の営みは、ドイツの市民的音乐文化の特徴を鮮明に浮かび上がらせるだろう。

後期は1819年にライプツィヒに生まれ、1896年にフランクフルトで死去するまで、生涯現役の職業音楽家として活躍したクララ・ヴィーク／シューマンを中心軸に据える。19世紀の初めから終わりまでを女性の職業音楽家として生き抜いたクララ・ヴィーク＝シューマンの生には、その私生活も含めて、19世紀ドイツ社会の激しい変化が凝縮して刻印されている。

【到達目標】

- ・音楽文化を、音楽作品ばかりでなく、それが営まれる社会的歴史的な文脈のなかに差し戻して、広い視点から考察できるようになる。
- ・音楽のみならず、文化というものがそもそもわれわれにとってどういう意味を持ちうるものであるかについて、考えをめぐらすことができるようになる。
- ・上記の視点を得ることによって、現代日本の社会で今後どのように音楽活動を営んでいくかを考えることができるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

講義のテーマに興味を持つ学生

2024年度の本講座の単位取得者の重複履修は認めない

【授業の形式】

講義

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	60%	40%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、S, A, B, C, D で評価する。

前期の提出課題は、課題をあらかじめ示したうえで、最後の授業時にその場で書いて提出してもらう。

後期は演奏発表もしくはレポートを課す(各自で選択)。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業授業時にフィードバックする。

学期末レポートについては Classroom に講評を掲載する。

【授業展開と内容-前期】

1. 「アマチュア音楽家」ファニー・メンデルスゾーン／ヘンゼルの誕生

事前学習	ファニー・メンデルスゾーン／ヘンゼルについて、自分なりに調べておくこと	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めてファニー・メンデルスゾーン／ヘンゼルについて考えること	時間	45 分

2. 女性と音楽

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえ、「女性と音楽」について、改めて自分の考えをまとめること	時間	45 分

3. 女性と音楽——ファニー・メンデルスゾーン／ヘンゼルの場合

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、ファニーと弟フェーリクス・メンデルスゾーン・バルトルディの音楽実践の違いとその理由について考えること	時間	45 分

4. メンデルスゾーン一族のベルリン(その1)

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえてメンデルスゾーン一族について考えること	時間	45 分

5. メンデルスゾーン一族のベルリン(その2)

事前学習	レッシングの戯曲『賢者ナータン』に目を通しておくこと	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて『賢者ナータン』を読み直してみる	時間	45 分

6. フリードリヒ大王の音楽サロン

事前学習	フリードリヒ大王について、自分なりに調べておくこと	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、フリードリヒ大王と関連する音楽家たちの作品を聴いてみる	時間	45 分

7.ユダヤ人女性の音楽サロン:Sara Levy の場合

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、Sara Levy の業績についてまとめておくこと	時間	45 分

8.メンデルスゾーン家の日曜音楽会

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	日曜音楽会について、学んだことをまとめておくこと	時間	45 分

9.ファニー・ヘンゼルの日曜音楽会

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	メンデルスゾーン家の日曜音楽会とファニー・ヘンゼルの日曜音楽会の共通点と相違点について、授業で検討した内容を踏まえてまとめておくこと	時間	45 分

10.メンデルスゾーン家とバッハ

事前学習	J. S. バッハの『マタイ受難曲』を、一部でもいいので、聴いておくこと指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、フェーリクス・メンデルスゾーンが『マタイ受難曲』を復活上演した意味を改めて考えること	時間	45 分

11.ファニー・ヘンゼルとバッハ

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえてファニーの《Das Jahr》を聴いてみる	時間	45 分

12.カール・フリードリヒ・ツェルターとジグア카데미

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	ジグア카데미がベルリンの音楽生活に果たした役割をまとめておくこと	時間	45 分

13.楽器と身体

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、音楽家としての自分の人生にジェンダー問題がどのように関係しているかを考えること	時間	45 分

14.フェーリクス・メンデルスゾーンは《無言歌》を誰のために書いたのか？ 楽器と身体

事前学習	フェーリクス・メンデルスゾーンのチェロのための《無言歌》op.109 を聴いて、この作品について調べておくこと	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、《無言歌》とは何かを考えること	時間	45 分

15.授業の振り返り

事前学習	これまで学んだことを振り返って整理し、自分の考えをまとめておくこと	時間	45 分
事後学習	前期の授業全体を振り返り、19 世紀前半のドイツの音楽文化について、改めて考えること	時間	45 分

【授業展開と内容-後期】

1. Clara Schumann, geb. Wieck とは誰か？

事前学習	クララ・ヴィーク／シューマンについて、自分なりに調べておくこと	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めてクララ・ヴィーク／シューマンについて考えること	時間	45 分

2. 幼少期のクララ・ヴィーク — 教育、学校教育制度

事前学習	前回の授業で学んだことを踏まえて、質問を考えておくこと	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、指定された文献を読み、理解を深めること	時間	45 分

3. 女性と音楽 — クララ・ヴィーク／シューマンの場合

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること	時間	45 分

4. 神童ピアニスト、クララ・ヴィーク — 神童現象

事前学習	「神童」について、自分なりのイメージを考えておくこと	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて「神童現象」について、考えてみる	時間	45 分

5. 演奏旅行

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること	時間	45 分

6. 皇帝賛歌からドイツ国歌まで

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること	時間	45 分

7. ピアニスト、クララ・ヴィーク／シューマンのレパートリー

事前学習	自分のレパートリーについて、まとめておくこと	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえ、改めて自分のレパートリーの成り立ちについて考え、今後の方向性について考えること	時間	45 分

8. ローベルト・シューマンとロマン派文学 — 『音楽と音楽家』を読む

事前学習	ローベルト・シューマンの『音楽と音楽家』に目を通しておくこと	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて『音楽と音楽家』を読み、理解を深めること	時間	45 分

9. 理想の音楽家共同体？

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めてローベルトとクララ夫妻の関係について考えること	時間	45 分

10. 映画『Frühlingssinfonie』について

事前学習	これまでに学んだことをもう一度復習しておくこと	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、音楽についての考え方の変化や、当時の音楽文化を支えていた音楽以外の諸制度についてまとめること	時間	45 分

11.クララ・ヴィーク／シューマンと交流のあった音楽家

――ポリヌ・ガルシア／ヴィアルド

事前学習	ポリヌ・ガルシア／ヴィアルドについて、自分なりに調べておくこと	時間	45 分
事後学習	授業を踏まえて、ポリヌとクララの音楽家としての在り方の違いを改めて考えてみる	時間	45 分

12.ヨーゼフ・ヨアヒムとベルリン音楽大学

事前学習	ヨーゼフ・ヨアヒムについて、自分なりに調べておくこと	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、音楽と社会の関係について考えをまとめること	時間	45 分

13.ホッホ音楽院とクララ・シューマン

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと	時間	45 分
事後学習	19 世紀を生き抜いたクララ・ヴィーク／シューマンについて改めて思いをめぐらすこと	時間	45 分

14.初期ロマン派の文学者たちは音楽についてどう語ったか？

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること	時間	45 分

15.まとめと演奏発表

事前学習	演奏予定の作品について、調べておくこと	時間	45 分
事後学習	クララ・ヴィーク／シューマンの生き方、音楽実践から何を学ぶことができるかを考えること	時間	45 分

【オフィスアワー】

月曜日 13 時～14 時

火曜日 10 時 30 分～14 時

【テキスト】

- 1.もう一人のメンデルスゾーン――フアニ・メンデルスゾーン＝ヘンゼルの生涯 山下剛 2006 年 ¥2,400 978-4896421590
- 2.クララ・シューマン モニカ・シュテークマン 2014 年 ¥2,800 978-4393935859
- 3.クラシック音楽と女性たち 玉川裕子編著 2015 年 ¥2,000 978-4787273826
- 4.楽器と身体 フライア・ホフマン 2004 年 ¥5,000 978-4393931653

フランスの言語と文化 α (前期), β (後期)					
担当教員	加藤 三和 講師		曜日時限		木 3 時限
実施キャンパス	仙川	単位	各 2 単位	対象年次	学部 1 年～

【授業の概要】

フランス本土における文学史を概観する。

フランス語の成立から中世を経て、20 世紀にいたるまでの通史を目指す。

各時代の代表的な作品の抜粋を読み解きつつ、同時代に一般化されていた政治・社会・人々の世界観が、文芸にもたらした影響を紐解く。

【到達目標】

フランス文学の時代と流れと思想の潮流を大まかに把握し、自分の言葉で簡潔に説明することができる。

フランスを代表する作家や作品の名前を聞いて、同時代の時代背景と照らし合わせることができる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

再履修不可。

登録期間を過ぎて受講を希望するものは、受け入れに余裕がある場合のみ可能。

フランス語履修は必須ではないが、フランス語の知識があると好ましい。

【授業の形式】

対面かつ講義形式で行う。

使用言語は日本語。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
70%		30%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業時にフィードバックする。

学年末試験／学年末レポートについては Classroom に講評を掲載する。

【授業展開と内容-前期】

1.ガイダンス

事前学習	シラバスを読み授業内容を把握	時間	20 分
事後学習	配布資料を読む	時間	70 分

2.はじめに:フランス文学の定義

事前学習	配布資料を読む	時間	20 分
事後学習	授業内容を復習する	時間	70 分

3.フランス語の成り立ち

事前学習	配布資料を読む	時間	30 分
事後学習	授業内容を復習する	時間	60 分

4.中世 1:抒情詩・叙事詩

事前学習	配布資料を読む	時間	30 分
事後学習	授業内容を復習する	時間	60 分

5.中世 2:宮廷恋愛と詩

事前学習	配布資料を読む	時間	30 分
事後学習	授業内容を復習する	時間	60 分

6.中世3:詩の形式について

事前学習	配布資料を読む	時間	30 分
事後学習	授業内容を復習する	時間	60 分

7.ルネサンス1:フランスにおけるルネサンス

事前学習	配布資料を読む	時間	30 分
事後学習	授業内容を復習する	時間	60 分

8.ルネサンス2:ルネサンス期における人文学

事前学習	配布資料を読む	時間	30 分
事後学習	授業内容を確認する	時間	60 分

9.16 世紀の哲学と思想

事前学習	配布資料を読む	時間	30 分
事後学習	授業内容を確認する	時間	60 分

10.17 世紀前半:時代背景と思想

事前学習	配布資料を読む	時間	30 分
事後学習	授業内容を復習する	時間	60 分

11.17 世紀後半:絶対王政と古典主義

事前学習	配布資料を読む	時間	30 分
------	---------	----	------

事後学習	授業内容を確認する	時間	60 分
------	-----------	----	------

12.17 世紀:文学、詩、演劇

事前学習	配布資料を読む	時間	30 分
事後学習	授業内容を復習する	時間	60 分

13.17-18 世紀:時代の変化と思想の流れ

事前学習	配布資料を読む	時間	30 分
事後学習	授業内容を確認する	時間	60 分

14.18 世紀2:啓蒙思想と作品

事前学習	配布資料を読む	時間	30 分
事後学習	授業内容を確認する	時間	60 分

15.まとめのテスト

事前学習	これまでの内容をさらっておく	時間	60 分
事後学習	近代までの流れを確認する	時間	30 分

【授業展開と内容-後期】

1.ガイダンス:これまでの流れのおさらい

事前学習	シラバスを読んで授業の概要を把握	時間	20 分
事後学習	配布資料を読む	時間	70 分

2.18 世紀後半:時代背景

事前学習	配布資料を読む	時間	20 分
事後学習	授業内容を復習しておく	時間	70 分

3.18 世紀 2:啓蒙思想と芸術

事前学習	配布資料を読む	時間	30 分
事後学習	授業内容を復習しておく	時間	60 分

4.18 世紀 3:革命期の文芸

事前学習	配布資料を読む	時間	30 分
事後学習	授業内容を復習しておく	時間	60 分

5.19 世紀前半 1:革命後のフランス 時代背景

事前学習	配布資料を読む	時間	30 分
事後学習	授業内容を確認しておく	時間	60 分

6.19 世紀前半 2:フランスにおけるロマン主義

事前学習	配布資料を読む	時間	30 分
事後学習	授業内容を復習する	時間	60 分

7.19 世紀前半 3 :ロマン主義の小説・詩・演劇

事前学習	配布資料を読む	時間	30 分
事後学習	授業内容を復習しておく	時間	60 分

8.19 世紀後半 1:時代背景(政治・社会の変化)

事前学習	配布資料を読む	時間	30 分
事後学習	授業内容を復習しておく	時間	60 分

9.19 世紀後半 2:大衆小説、ジャーナリズム

事前学習	配布資料を読む	時間	30 分
事後学習	授業内容を復習しておく	時間	60 分

10.19 世紀後半 3:リアリズム文学

事前学習	配布資料を読む	時間	30 分
事後学習	授業内容を確認しておく	時間	60 分

11.19 世紀後半 4:象徴主義へ

事前学習	配布資料を読む	時間	30 分
事後学習	授業内容を確認しておく	時間	60 分

12.20 世紀 1:時代背景

事前学習	配布資料を読む	時間	30 分
事後学習	授業内容を復習しておく	時間	60 分

13.20 世紀 2:シュールレアリスム

事前学習	配布資料を読む	時間	30 分
事後学習	授業内容を復習しておく	時間	60 分

14.20 世紀 3:ベルエポック・狂気の時代・世界大戦と文学

事前学習	配布資料を読む	時間	30 分
事後学習	授業内容を復習しておく	時間	60 分

15.まとめテスト

事前学習	これまでの流れを把握し復習する	時間	70 分
事後学習	回答できなかった問題について考える	時間	20 分

【オフィスアワー】

木曜日 3 限前 仙川教員室

【教材】

各授業時にプリントと資料を配布する。

日本文化史 α (前期), β (後期)		
担当教員	千田 実 講師	曜日時限
		月 3 時限

実施キャンパス	仙川	単位	各 2 単位	対象年次	学部 1 年～
---------	----	----	--------	------	---------

【授業の概要】

〈文化と国家〉

アジア主義から見る日本の文化というテーマのもと、岡倉天心『東洋の理想』『茶の本』において、天心が日本の文化をどのように論じているのかを検討する。『東洋の理想』と『茶の本』は、どちらも日本の文化を西洋の人々に紹介するために書かれたものだといえる。前期では『東洋の理想』を、後期では『茶の本』を読み、明治時代に西洋に向けて発信された「日本らしさ」がどのようなものだったのかを見ていきたい。

【到達目標】

一般に語られる日本文化史とは異なったところのある岡倉天心の日本文化論、日本文化史に接することで、私たちが知る日本の文化論や文化史がどのようにして成立していったのかを理解し、日本文化論、日本文化史が語る日本の「文化」とは何なのかについて考える視座を獲得できるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

特になし

【授業の形式】

講義

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	50%	50%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業授業時にフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1.『東洋の理想』について

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

2.『東洋の理想』一

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深め	時間	45 分

	ること。		
--	------	--	--

3.『東洋の理想』十四

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

4.『東洋の理想』概要

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

5.『東洋の理想』三、四、五

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

6.『東洋の理想』二

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

7.『東洋の理想』六

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

8.『東洋の理想』七

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

9.『東洋の理想』八

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

10.『東洋の理想』九

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

11.レポートについて

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

	ること。		
--	------	--	--

12.『東洋の理想』十

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

13.『東洋の理想』十一

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

14.『東洋の理想』十二

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

15.『東洋の理想』まとめ

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

【授業展開と内容-後期】

1.『茶の本』について

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

2.『茶の本』第一章(1)

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

3.『茶の本』第一章(2)

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

4.『茶の本』第一章(3)

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

5.『茶の本』第一章(4)

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
------	-------------------------------	----	------

事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分
------	--	----	------

6.『茶の本』第二章(1)

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

7.『茶の本』第二章(2)

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

8.『茶の本』第三章(1)

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

9.『茶の本』第三章(2)

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

10.『茶の本』第四章

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

11.レポートについて

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

12.『茶の本』第五章

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

13.『茶の本』第六章

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

14.『茶の本』第七章

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
------	-------------------------------	----	------

事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分
------	--	----	------

15.『茶の本』まとめ

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること。	時間	45 分

【オフィスアワー】

月曜日 仙川教員室にて授業前後に時間を確保します。

【テキスト】

1.東洋の理想 岡倉天心 1986 年 ¥800 4-06-158720-x

備考:W18-935。講談社学術文庫版でなくても構わない

2.茶の本 岡倉天心 1994 年 ¥840 4-06-159138-x

備考:W18-936。講談社学術文庫版でなくても構わない

西洋史 α (前期), β (後期)					
担当教員	江川 純一		曜日時限	水 4 時限	
実施キャンパス	仙川	単位	各 2 単位	対象年次	学部 1 年～

【授業の概要】

ルネサンスから 21 世紀に至る大きな流れをおさえつつ、西洋の歴史における重要事項について考察する。出来事の単なる説明に留まることなく、思想や文化の変遷にも目配りするつもりである。「広く深く」という一見不可能な歴史叙述に挑戦してみたい。

【到達目標】

西洋の歴史について合理的に思考できるようになる。

藝術作品の歴史的背景について考察できるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

初回の授業で抽選を実施するため、前日までに classroom にメンバー登録の上、必ず参加すること。

世界史の知識があることが望ましいが、必須ではない。

可能であれば、前期・後期と連続して受講すること。

【授業の形式】

パワーポイントを使用し、講義形式で行う。しっかりノートを取ることを。

(履修者と相談のうえ) 順番の入れ換え、内容の追加があり得る。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	100%	

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目に基づき S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回以降の授業時にフィードバックする。

学年末試験／学年末レポートについては Classroom に講評を掲載する。

【授業展開と内容-前期】

1. イントロ: ヘレニズムとヘブライズム。時代区分について

事前学習	シラバスに目を通しておくこと	時間	30 分
事後学習	その日のうちに授業内容を復習すること	時間	60 分

2. ルネサンスはヨーロッパになにをもたらしたか

事前学習	前回の内容をもう一度復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との関連を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

3. 大航海時代——アメリカ大陸の「発見」

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との関連を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

4. 宗教改革のインパクト

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との関連を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

5. 科学革命とは何か

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との関連を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

6. 絶対王政——フランス近世史

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との関連を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

7. 神聖ローマ帝国

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との連関を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

8.ハプスブルク帝国

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との連関を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

9.清教徒革命と名誉革命——英国史

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との連関を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

10.17-18 世紀のイタリア半島

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との連関を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

11.17-18 世紀のヨーロッパ

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との連関を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

12.産業革命

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との連関を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

13.アメリカ史

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との連関を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

14.フランス革命再考

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との連関を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

15.啓蒙思想は音楽になにを与えたか？

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との連関を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

【授業展開と内容-後期】

1.イントロ:18-19 世紀のフランスをどう捉えるか

事前学習	シラバスに目を通しておくこと	時間	30 分
事後学習	その日のうちに授業内容を復習すること	時間	60 分

2.ナポレオンの功罪

事前学習	前回の内容をもう一度復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との連関を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

3.ヴィーン体制

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
------	----------------	----	------

事後学習	過去の回との関連を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分
------	------------------------------------	----	------

4.19 世紀のフランス

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との関連を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

5.19 世紀のドイツとオーストリア

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との関連を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

6.19 世紀の英国(1)

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との関連を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

7.19 世紀の英国(2)、ポーランドの歴史

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との関連を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

8.18-19 世紀のアメリカ

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との関連を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

9.19 世紀後半のフランス

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との関連を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

10.第一次世界大戦

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との関連を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

11.ロシアの歴史

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との関連を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

12.19-20 世紀のイタリアーリソルジメントからファシズムまで

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との関連を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

13.20 世紀のドイツーナチズムの誕生と崩壊

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との関連を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

14.20 世紀後半のヨーロッパ

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との関連を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

15.20-21 世紀のヨーロッパーEU と NATO

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との連関を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

【オフィスアワー】

水曜日、仙川教員室にて授業後に時間を確保します。

【教材】

全体に関わる参考文献

小山哲・上垣豊・山田史郎・杉本淑彦編著、『大学で学ぶ西洋史[近現代]』、ミネルヴァ書房、2011 年

中井義明・佐藤専次・渋谷聡・加藤克夫・小澤卓也、『教養のための西洋史入門』、ミネルヴァ書房、2007 年

大月康弘、『ヨーロッパ史 拡大と統合の力学』、岩波新書、2024 年

【その他】

「西洋史 α 」、「西洋史 β 」とも、過去に私から単位を得ている場合、再度の履修はできません。

国際政治学 α (前期), β (後期)					
担当教員	小松 志朗 講師		曜日時限	金 5 時限	
実施キャンパス	仙川	単位	各 2 単位	対象年次	学部 1 年～

【授業の概要】

この授業では、国際政治の歴史と現状を学ぶ。前期は、まず米中関係を中心に国際政治の現状を大まかにつかんでから、時代をさかのぼり主権国家体制の誕生以降の歴史を振り返る。後期は、国家以外の組織・集団や個人にも視野を広げて、現代の様々な諸問題について理解を深める。また前・後期を通じて、音楽と国際政治の関係についても考えてみたい。

【到達目標】

国際政治の知識にもとづいて現代の諸問題について自分なりの視点と意見を確立し、それを論理的な文章で表現できるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

アメリカとヨーロッパを中心とした近現代史、および現代の国際政治に関心がある人。

【授業の形式】

講義を中心に進める。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	90%	10%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回以降の授業時にフィードバックする。

期末レポートについては Classroom に講評を掲載する。

【授業展開と内容-前期】

1.イントロダクション

事前学習	指定された文献・資料を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を踏まえて、指定された文献・資料を読み、理解を深めること。	時間	45 分

2.21 世紀の国際政治:覇権国と新興国

事前学習	指定された文献・資料を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を踏まえて、指定された文献・資料を読み、理解を深めること。	時間	45 分

3.主権国家体制の誕生と展開

事前学習	指定された文献・資料を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を踏まえて、指定された文献・資料を読み、理解を深めること。	時間	45 分

4.第一次・第二次世界大戦

事前学習	指定された文献・資料を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を踏まえて、指定された文献・資料を読み、理解を深めること。	時間	45 分

5.冷戦の始まりと展開

事前学習	指定された文献・資料を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を踏まえて、指定された文献・資料を読み、理解を深めること。	時間	45 分

6.冷戦の終結

事前学習	指定された文献・資料を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を踏まえて、指定された文献・資料を読み、理解を深めること。	時間	45 分

7.冷戦後の国際政治

事前学習	指定された文献・資料を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を踏まえて、指定された文献・資料を読み、理解を深めること。	時間	45 分

8.その時、音楽家は何をしていたのか:バッハ

事前学習	指定された文献・資料を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を踏まえて、指定された文献・資料を読み、理解を深めること。	時間	45 分

9.その時、音楽家は何をしていたのか：モーツァルト

事前学習	指定された文献・資料を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を踏まえて、指定された文献・資料を読み、理解を深めること。	時間	45 分

10.その時、音楽家は何をしていたのか：ベートーヴェン

事前学習	指定された文献・資料を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を踏まえて、指定された文献・資料を読み、理解を深めること。	時間	45 分

11.その時、音楽家は何をしていたのか：フルトヴェングラー、シヨスタコーヴィチ

事前学習	指定された文献・資料を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を踏まえて、指定された文献・資料を読み、理解を深めること。	時間	45 分

12.その時、音楽家は何をしていたのか：ジミ・ヘンドリックス、デヴィッド・ボウイ

事前学習	指定された文献・資料を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を踏まえて、指定された文献・資料を読み、理解を深めること。	時間	45 分

13.音楽と国際政治(1)

事前学習	指定された文献・資料を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を踏まえて、指定された文献・資料を読み、理解を深めること。	時間	45 分

14.音楽と国際政治(2)

事前学習	指定された文献・資料を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を踏まえて、指定された文献・資料を読み、理解を深めること。	時間	45 分

15.学習内容のまとめ

事前学習	指定された文献・資料を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を踏まえて、指定された文献・資料を読み、理解を深めること。	時間	45 分

【授業展開と内容-後期】

1.イントロダクション

事前学習	指定された文献・資料を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を踏まえて、指定された文献・資料を読み、理解を深めること。	時間	45 分

2.グローバル・ヒストリー

事前学習	指定された文献・資料を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を踏まえて、指定された文献・資料を読み、理解を深めること。	時間	45 分

3.非国家主体

事前学習	指定された文献・資料を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を踏まえて、指定された文献・資料を読み、理解を深めること。	時間	45 分

4.ノンナショナル・アイデンティティ

事前学習	指定された文献・資料を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を踏まえて、指定された文献・資料を読み、理解を深めること。	時間	45 分

5.人権

事前学習	指定された文献・資料を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を踏まえて、指定された文献・資料を読み、理解を深めること。	時間	45 分

6.人の国際移動

事前学習	指定された文献・資料を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を踏まえて、指定された文献・資料を読み、理解を深めること。	時間	45 分

7.パンデミックとグローバル化

事前学習	指定された文献・資料を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を踏まえて、指定された文献・資料を読み、理解を深めること。	時間	45 分

8.日本人とジャズ

事前学習	指定された文献・資料を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を踏まえて、指定された文献・資料を読み、理解を深めること。	時間	45 分

9.冷戦とジャズ

事前学習	指定された文献・資料を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を踏まえて、指定された文献・資料を読み、理解を深めること。	時間	45 分

10.中東問題の歴史と現在(1)

事前学習	指定された文献・資料を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を踏まえて、指定された文献・資料を読み、理解を深めること。	時間	45 分

11.中東問題の歴史と現在(2)

事前学習	指定された文献・資料を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を踏まえて、指定された文献・資料を読み、理解を深めること。	時間	45 分

12.ダニエル・バレンボイムの挑戦(1)

事前学習	指定された文献・資料を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を踏まえて、指定された文献・資料を読み、理解を深めること。	時間	45 分

13.ダニエル・バレンボイムの挑戦(2)

事前学習	指定された文献・資料を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を踏まえて、指定された文献・資料を読み、理解を深めること。	時間	45 分

14.世界を分断する「壁」

事前学習	指定された文献・資料を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を踏まえて、指定された文献・資料を読み、理解を深めること。	時間	45 分

15.学習内容のまとめ

事前学習	指定された文献・資料を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を踏まえて、指定された文献・資料を読み、理解を深めること。	時間	45 分

【オフィスアワー】

金曜日 5 限後 仙川教員室

【テキスト】

1.国際政治学をつかむ 第3版 村田晃嗣他 2015年 ¥2,200 978-4641177314

備考:WR06-944 参考書

2.歴史家が見る現代世界 入江昭 2014年 ¥800 978-4062882576

備考:WR06-955 参考書

3.ポスト西洋世界はどこに向かうのか:「多様な近代」への大転換 C・カプチャン 2016年 ¥2,500 978-4326351671

備考:参考書

社会学 α (前期), β (後期)					
担当教員 室田 大樹 講師			曜日時限		月 5 時限
実施キャンパス 仙川	単位	各 2 単位		対象年次	学部 1 年～

【授業の概要】

あなたがこの社会に何らかの〈生きづらさ〉を感じているのだとしたら——将来の不安、友人や家族との関係性、女性／男性として生きること——、社会学はいくぶんか役に立てそうである。

この社会を覆っている〈当たり前〉を疑い、普段意識しない規範(ルールや価値観)、そして社会の〈構造〉の存在を明らかにしていきたい。

【到達目標】

○この社会における〈当たり前〉を疑い、〈生きづらさ〉を観察できるようになる。

○この社会をかたちづくっている規範や社会の〈構造〉の存在を認識し、その変革の道を模索できるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

○「人と議論すること」が好きであること:グループワークを頻繁に行い、問いかけへの応答を求める。初対面の受講者ともペアやグループになって対話することになる。そのため、受講希望者多数の場合は、人数を制限することがある。

○「まとまった文章を読むこと」が苦ではないこと:文章を読んで考えてもらうことが多い。苦手であってもフォローは行う。

【授業の形式】

「聴くこと」よりも「話すこと」「考えること」「読むこと」が多い授業である。

すなわち、教員が語ることよりも、受講者同士・受講者と教員がお互いに意見を交わしながら議論を深めること、本や論文などの文章を読み考えること、を大切にしたい。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	30%	70%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

毎授業のおわりに簡単なふりかえりを行ってもらい、授業で応答したり、個別に回答したりすることがある。

課題としてのまとまったふりかえり(ミニレポート)については、個別にコメントを行う。

【授業展開と内容-前期】

1. 繊細(センシティブ)なテーマを扱うことについて、グループワークのルールの共有

事前学習	教科書の関連箇所を読んでおくこと。	時間	45 分
事後学習	プリントを復習すること。	時間	45 分

2.1 あたり前を疑う／ナナメに社会をみる①

事前学習	教科書の関連箇所を読んでおくこと。	時間	45 分
事後学習	プリントを復習すること。	時間	45 分

3.1 あたり前を疑う／ナナメに社会をみる②

事前学習	教科書の関連箇所を読んでおくこと。	時間	45 分
事後学習	プリントを復習すること。	時間	45 分

4.2 なぜ私はピアノを弾くのか――文化と階層①

事前学習	教科書の関連箇所を読んでおくこと。	時間	45 分
事後学習	プリントを復習すること。	時間	45 分

5.2 なぜ私はピアノを弾くのか――文化と階層②

事前学習	教科書の関連箇所を読んでおくこと。	時間	45 分
事後学習	プリントを復習すること。	時間	45 分

6.2 なぜ私はピアノを弾くのか――文化と階層③

事前学習	教科書の関連箇所を読んでおくこと。	時間	45 分
事後学習	プリントを復習すること。	時間	45 分

7. 授業内ミニレポート作成

事前学習	これまでのプリントを復習すること。	時間	45 分
事後学習	これまでのプリントを復習すること。	時間	45 分

8.3 〈遅れ〉る私たち――時間と近代、そして自己①

事前学習	教科書の関連箇所を読んでおくこと。	時間	45 分
事後学習	プリントを復習すること。	時間	45 分

9.3 〈遅れ〉る私たち——時間と近代、そして自己②

事前学習	教科書の関連箇所を読んでおくこと。	時間	45 分
事後学習	プリントを復習すること。	時間	45 分

10.3 〈遅れ〉る私たち——時間と近代、そして自己③

事前学習	教科書の関連箇所を読んでおくこと。	時間	45 分
事後学習	プリントを復習すること。	時間	45 分

11.4 〈ない〉・〈できない〉を肯定するには①

事前学習	教科書の関連箇所を読んでおくこと。	時間	45 分
事後学習	プリントを復習すること。	時間	45 分

12.4 〈ない〉・〈できない〉を肯定するには②

事前学習	教科書の関連箇所を読んでおくこと。	時間	45 分
事後学習	プリントを復習すること。	時間	45 分

13.授業内ミニレポート作成(遠隔)

事前学習	教科書の関連箇所を読んでおくこと。	時間	45 分
事後学習	プリントを復習すること。	時間	45 分

14.4 〈ない〉・〈できない〉を肯定するには③

事前学習	これまでのプリントを復習すること。	時間	45 分
事後学習	これまでのプリントを復習すること。	時間	45 分

15.授業での学びのなかから出てきた問いを考える

事前学習	これまでの授業を振り返ること。	時間	45 分
事後学習	プリントを復習すること。	時間	45 分

【授業展開と内容-後期】

1.繊細(センシティブ)なテーマを扱うことについて、グループワークのルールの共有

事前学習	教科書の関連箇所を読んでおくこと。	時間	45 分
事後学習	プリントを復習すること。	時間	45 分

2.自由に性別を選べるとしたら

事前学習	教科書の関連箇所を読んでおくこと。	時間	45 分
事後学習	プリントを復習すること。	時間	45 分

3.1 男女を「分ける／分けない」をめぐる①

事前学習	教科書の関連箇所を読んでおくこと。	時間	45 分
事後学習	プリントを復習すること。	時間	45 分

4.1 男女を「分ける／分けない」をめぐる②

事前学習	教科書の関連箇所を読んでおくこと。	時間	45 分
事後学習	プリントを復習すること。	時間	45 分

5.2 本能、生物学的に、を疑う①

事前学習	教科書の関連箇所を読んでおくこと。	時間	45 分
事後学習	プリントを復習すること。	時間	45 分

6.2 本能、生物学的に、を疑う②

事前学習	教科書の関連箇所を読んでおくこと。	時間	45 分
事後学習	これまでのプリントを復習すること。	時間	45 分

7.授業内ミニレポート作成

事前学習	これまでのプリントを復習すること。	時間	45 分
事後学習	プリントを復習すること。	時間	45 分

8.3 ジェンダーを学ぶ、ジェンダーする①

事前学習	教科書の関連箇所を読んでおくこと。	時間	45 分
事後学習	プリントを復習すること。	時間	45 分

9.3 ジェンダーを学ぶ、ジェンダーする②

事前学習	教科書の関連箇所を読んでおくこと。	時間	45 分
事後学習	プリントを復習すること。	時間	45 分

10.4 「男／女」がもたらす困難・「男／女」をなくすことの困難 ①

事前学習	教科書の関連箇所を読んでおくこと。	時間	45 分
事後学習	プリントを復習すること。	時間	45 分

11.4 「男／女」がもたらす困難・「男／女」をなくすことの困難 ②

事前学習	教科書の関連箇所を読んでおくこと。	時間	45 分
事後学習	プリントを復習すること。	時間	45 分

12.4 「男／女」がもたらす困難・「男／女」をなくすことの困難 ③

事前学習	教科書の関連箇所を読んでおくこと。	時間	45 分
事後学習	プリントを復習すること。	時間	45 分

13.5 人に触れること①

事前学習	これまでのプリントを復習すること。	時間	45 分
事後学習	これまでのプリントを復習すること。	時間	45 分

14.授業内ミニレポート作成(遠隔)

事前学習	教科書の関連箇所を読んでおくこと。	時間	45 分
事後学習	プリントを復習すること。	時間	45 分

15.5 人に触れること②

事前学習	教科書の関連箇所を読んでおくこと。	時間	45 分
事後学習	プリントを復習すること。	時間	45 分

【オフィスアワー】

月曜日 4限 仙川教員室

【テキスト】

1.社会学 新版 長谷川公一、浜日出夫、藤村正之、町村敬志 2019 年 ¥3,850 978-4-641-05389-2

2.基礎ゼミ ジェンダースタディーズ 守如子、前川直哉編 2025 年 ¥2,090 9784790717997

アート・マネジメントα(前期),β(後期)					
担当教員 中山 夏織 講師			曜日時限		金 2 時限
実施キャンパス	仙川	単位	各 2 単位	対象年次	学部 1 年～

【授業の概要】

優れた芸術家であっても、活動を展開する国の政治・経済のシステムや社会風土から、遊離して存在することはできません。本講座では、芸術や芸術家の活動を支える文化政策とアートマネジメント理論、そして芸術活動に制限を与えてしまいがちな社会システムについて学び、芸術と社会との関係性を考えていきます。

【到達目標】

1. 文化政策の歴史的展開、性質、意思決定の構造を理解する。 2. 組織を形成する要素と動かす力を理解する。 3. 芸術と組織のリーダーとしての役割を担えるようになる。 4. 芸術労働の特殊性を理解する。 5. 著作権と契約との関係性を理解し、活用しうる。 6. 芸術家の社会における役割を理解する。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

2 年生以上が望ましい。

【授業の形式】

【対面】演習。セミナー、ディスカッションの重視。パワーポイント、ビデオ等を活用します。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	50%	50%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、S, A, B, C, D で評価する。前期は課題図書によるレポート。後期は課題について論述する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業時にフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1.芸術の公共性？－社会システムと芸術創造の相克

事前学習	現在の芸術活動に支障になっていることを考え、箇条書きにしておく。	時間	45 分
事後学習	授業で話された内容とチャート化する。	時間	45 分

2.アート・マネージメントの特殊性と文化政策

事前学習	芸術が他の分野とは異なる理由を、箇条書きにしておく。	時間	45 分
事後学習	芸術をめぐるマネージメントの特殊性をチャート化する。	時間	45 分

3.芸術支援の理論的根拠－芸術と経済のジレンマ

事前学習	芸術にどのような支援が必要かを整理しておく。	時間	45 分
事後学習	芸術を支援しない、すべきではない理由について、考えをまとめる。	時間	45 分

4.文化政策の策定と意思決定の構造

事前学習	文化庁のホームページを調べる。特定の国の文化政策について調べる。	時間	45 分
事後学習	誰が芸術活動をめぐる意思決定に参加すべきかについての考えをまとめる。	時間	45 分

5.「アーツカウンシル」というモデルとその変化

事前学習	行政・役人による意思決定の弊害を考えておく。	時間	45 分
事後学習	専門家による意思決定の弊害について考える。	時間	45 分

6.日本の文化政策と公的助成制度

事前学習	日本の文化政策の範疇を調べておく。	時間	45 分
事後学習	日本の文化政策に対する意見を整理しておく。	時間	45 分

7.営利／非営利と公共性を体現する組織

事前学習	どのような法人格があるのかを調べ、自分の周辺にある芸術団体の法人格を調べておく。	時間	45 分
事後学習	営利と非営利のそれぞれのメリットを整理しておく。	時間	45 分

8.マネージメント理論と実践1－マネージメントという概念

事前学習	自分の周辺に存在する「マネージメント」を洗い出しておく。	時間	45 分
事後学習	マネージメントとは何かを整理しておく。	時間	45 分

9.マネージメント理論と実践2－組織の構造と変化

事前学習	自分の周辺にある芸術団体の組織の形を調べる。	時間	45 分
事後学習	組織の形の変化によって変わるものを整理しておく。	時間	45 分

10.マネージメント理論と実践3－ミッション&意思決定

事前学習	自分の周辺にある芸術団体のミッションを調べておく。	時間	45 分
事後学習	自分にとってのミッションを書いてみる。	時間	45 分

11.マネージメント理論と実践4－モチベーションとグループ

事前学習	自分がどんなときにモチベーションがあがるのかを考えておく。	時間	45 分
事後学習	自分にとっての組織の意味を考え、整理しておく。	時間	45 分

12.マネジメント理論と実践5ーグレイト・グループ

事前学習	これまで出会った最高のグループがどのようなメンバーで成り立っていたかを思い起こしておく。	時間	45 分
事後学習	グレイト・グループを作るために個人として何ができるのかを考えてみる。	時間	45 分

13.マネジメント理論と実践6ーリーダーシップ

事前学習	自分がリーダーとして成功した事例を思い起こし、どのような状況にあったかを整理しておく。	時間	45 分
事後学習	リーダーに求めるものを整理しておく。	時間	45 分

14.カルチュラル・リーダーシップとアドヴォカシー（遠隔・オンデマンド）

事前学習	芸術文化に特殊なリーダーの役割について考えておく。	時間	45 分
事後学習	芸術文化界における優れたリーダーシップの事例を探る。	時間	45 分

15.芸術と社会ー音楽家の社会的な役割

事前学習	社会にとっての芸術の位置づけを整理しておく。	時間	45 分
事後学習	芸術と社会の関係性を変えるために何ができるのか、何をすべきなのかを考える。	時間	45 分

【授業展開と内容-後期】

1.芸術と市場ーアートのマーケティング

事前学習	マーケティングとは何かを考え、箇条書きにする。	時間	45 分
事後学習	芸術のマーケティングの特殊性を、箇条書きにしておく。	時間	45 分

2.観客を創る／観客を育てる

事前学習	コンサート等のチラシや芸術団体の HP に掲載されている情報を箇条書きにしておく。	時間	45 分
事後学習	芸術団体の観客を増やす努力の事例を整理しておく。	時間	45 分

3.マーケティングとエデュケーション

事前学習	現在の児童青少年の抱える問題を、箇条書きにし、芸術がそれを解決できるかを考える。	時間	45 分
事後学習	青少年と接する場合に、配慮しなければならない事項を整理しておく。	時間	45 分

4.芸術鑑賞教育を考える

事前学習	芸術を鑑賞する価値を考え、箇条書きにしておく。	時間	45 分
事後学習	芸術鑑賞の「体験」はどのようなものなのかを考えておく。	時間	45 分

5.障害者芸術の展開ーインクルーシブとインテグレート

事前学習	HP で障害者の芸術活動について調べておく。	時間	45 分
事後学習	劇場やコンサートホールをよりインクルーシブなものにするための方策を考える。	時間	45 分

6.アーティスト・サバイバルー芸術という労働

事前学習	キャリア形成についての不安を箇条書きにしておく。	時間	45 分
事後学習	労働としての芸術の特殊性を考え、箇条書きにする。	時間	45 分

7.アーティストの労働者性をめぐってー労災

事前学習	音楽の領域において、どのような労災があるかを調べてみる。	時間	45 分
事後学習	労働者性クイズを出題。	時間	45 分

8.著作権と契約1ー著作権と著作隣接権

事前学習	著作権について HP 等で調べておく。	時間	45 分
事後学習	著作権クイズを出題。	時間	45 分

9.著作権と契約2ーエンターテインメント産業の構造

事前学習	CD や DVD のジャケットにどのような情報が掲載されているか調べる。	時間	45 分
事後学習	契約クイズを出題。	時間	45 分

10.著作権と契約3ーデジタル時代の著作権

事前学習	自分の身近にあるデジタル機材をリストアップしておく。	時間	45 分
事後学習	デジタル化が音楽家の仕事をどう変えたかを整理しておく。	時間	45 分

11.著作権と契約4ー実演家にとっての契約

事前学習	自分の周辺にある契約書を読んでみる。	時間	45 分
事後学習	契約クイズ2を出題。	時間	45 分

12.指定管理者制度と公立文化施設

事前学習	自分の周辺にある公立文化施設の運営母体を調べておく。	時間	45 分
事後学習	優れた活動をしている公立文化施設の事例を探してみる。	時間	45 分

13.基本法と劇場法(遠隔・オンライン)

事前学習	文化芸術基本法の条文に目を通しておく。	時間	45 分
事後学習	公立文化施設の運営のあるべき姿を考察する。	時間	45 分

14.公的助成制度と評価

事前学習	音楽の領域でどのような公的・民間助成制度があるかを調べておく。	時間	45 分
事後学習	助成金申請書の「活動の主旨・目的」を書いてみる。	時間	45 分

15.アートのある豊かな暮らしのために

事前学習	アートのある豊かな暮らしを疎外している理由を考え、箇条書きにしておく。	時間	45 分
事後学習	アートのある豊かな暮らしをイメージし、絵を描いてみる。	時間	45 分

【オフィスアワー】

金曜日授業終了後。あるいは、メールにてお問い合わせ下さい。

【教材】

プリント配布。但し、前期レポート参考図書より、選択。P・ドラッカー『非営利組織の経営』(ダイヤモンド社)WR04-791

C・ハンディ『もっといい会社、もっといい人生』(河出書房新社)WR04-798

H・セイフター & P・エコノミー『オルフェウス・プロセス』(角川書店) WR04-790

村上隆『芸術起業論』(幻冬舎) WR06-613

J・バーンスタイン『芸術の売り方』(英治出版) WR05-091

H・アビング『金と芸術』(Grambooks) WR04-988

宮島喬『文化と不平等』(有斐閣) WR05-614

TPNドラマ教育ライブラリー『青少年の未来とアートマネジメント』(シアタープランニングネットワーク) WR05-601

マシュー・リーズン『子どもという観客』(晩成書房)

大林剛郎『都市は文化でよみがえる』(集英社新書)

西島千尋『クラシック音楽はなぜ鑑賞されるのか』(新曜社)

比較文化論 α (前期), β (後期)					
担当教員 玉川 裕子 教授			曜日時限		木 4 時限
実施キャンパス	仙川	単位	各 2 単位	対象年次	学部 1 年～

【授業の概要】

＜近代日本の洋楽文化史＞

現代日本に生きる私たちは、なぜ西洋音楽と取り組んでいるのだろうか？ 邦楽の響きに馴染んでいる人はどれほどいるだろうか？ いわゆる「クラシック音楽」に限らず、私たちが日常耳にする音の大半は西洋音楽をベースとしている。

西洋音楽が私たちを惹きつけるのは、もちろん西洋音楽そのものの魅力であることは疑いない。しかし、現代日本の社会で生活する大多数の人が、同じく魅力的で文化的価値を持つはずの邦楽ではなく、西洋音楽に親しんでいる理由をあらためて考えるとき、歴史的背景を抜きにしては理解できない。本講義では、近代日本がいつ、いかなる理由から西洋音楽を受容し、それを自分たちの歴史的社会的文脈のなかでどのように受けとめ、咀嚼していったかをさまざまな具体例をあげながら考えてみたい。

前期・後期ともに、中心となる時代は明治・大正期である。前期は、西洋音楽の受容とその発展に重要な役割を果たした諸機関の動向を概観したのち、和洋の音楽に対する人びとのイメージの変遷についても、さまざまな資料を用いてみたい。後期は、個々の音楽家の活動を通じて、近代日本における西洋音楽の多様な展開を追ってみよう。

【到達目標】

・近代日本の洋楽文化史を知ることによって、将来音楽家として、あるいは音楽と共に生きていく人生を考えるための、さまざま

な視点をもつことができるようになる。

・音楽文化を、それが営まれる社会的歴史的文脈のなかに差し戻して、広い視点から考察できるようになる。

・音楽のみならず、文化というものがそもそもわれわれにとってどういう意味を持ちうるものであるかについて、考えをめぐらすことができるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

講義のテーマに関心を持つ学生

【授業の形式】

講義

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	60%	40%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、S, A, B, C, D で評価する。

前期の提出課題は、課題をあらかじめ示したうえで、最後の授業時にその場で書いて提出してもらう。

後期は演奏発表もしくはレポートを課す(各自で選択)。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業時にフィードバックする。

提出課題については Classroom に講評を掲載する。

【授業展開と内容-前期】

1.東と西が出会ったとき

事前学習	これまでの邦楽体験について考え、まとめておくこと	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて 19 世紀後半の日本が西洋音楽に出会ったときのことを考えること	時間	45 分

2.洋楽事始——明治維新前後

事前学習	前回の授業で学んだことを踏まえて、質問を考えておくこと	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、指定された文献を読み、理解を深めること	時間	45 分

3.洋楽事始——音楽取調掛の創設

事前学習	指定された文献を事前に読み、要点や質問をまとめておくこと	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を復習し、改めて指定された文献を読み、理解を深めること	時間	45 分

--	--	--	--

4.洋楽事始——《小学唱歌集》について

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて《小学唱歌集》を概観するとともに、現代の音楽の教科書とも比較してみる	時間	45 分

5.国立音楽学校の歩み——音楽取調掛から東京音楽学校へ

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること	時間	45 分

6.国立音楽学校の歩み——東京音楽学校の発展

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて授業で提示された資料を読み、理解を深めること	時間	45 分

7.日本における楽器産業——日本のピアノ製造史

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること	時間	45 分

8.日本における楽器産業——日本のヴァイオリン製造史

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること	時間	45 分

9.都市中間層の誕生と西洋音楽——百貨店と音楽

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること	時間	45 分

10.都市中間層の誕生と西洋音楽——浅草オペラと宝塚

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること	時間	45 分

11.都市中間層の誕生と西洋音楽——永井荷風『新帰朝者日記』を読む

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえ、『新婦朝者日記』を読むこと	時間	45 分

12.都市中間層の誕生と西洋音楽——夏目漱石の小説にみる音楽のある風景

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえ、夏目漱石の小説を読むこと	時間	45 分

13.都市中間層の誕生と西洋音楽——少女雑誌のなかの音楽

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて授業で提示された資料を読み、理解を深めること	時間	45 分

14.前期授業のまとめ

事前学習	指定した課題に取り組み、要点や疑問点をまとめておくこと	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて前期で学んだことについて理解を深めること	時間	45 分

15.授業の振り返り

事前学習	これまで学んだことを振り返って整理し、自分の考えをまとめておくこと	時間	45 分
事後学習	前期の授業全体を振り返り、明治・大正期を参照点としながら、現代の状況について考えを深めること	時間	45 分

【授業展開と内容-後期】

1.日本における洋楽受容史——概観

事前学習	自分がこれまで音楽を勉強してきた経緯を振り返っておくこと	時間	45 分
事後学習	事前学習で考えたことについて、授業を通じて改めて気づいたことや疑問に思ったことをまとめること	時間	45 分

2.西洋音楽導入期に活躍した人たち——伊澤修二

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえて、改めて指定された文献を読み、理解を深めること	時間	45 分

3.西洋音楽導入期に活躍した人たち——明治大正の洋楽受容を支えた外国人

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと	時間	45 分
------	------------------------------	----	------

事後学習	授業で検討した内容を踏まえ、改めて指定された文献を読み、理解を深めること	時間	45 分
------	--------------------------------------	----	------

4.女性音楽家の系譜——幸田延

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえ、改めて指定された文献を読み、理解を深めること	時間	45 分

5.女性音楽家の系譜——幸田幸

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえ、改めて指定された文献を読み、理解を深めること	時間	45 分

6.女性音楽家の系譜——永井繁

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえ、改めて指定された文献を読み、理解を深めること	時間	45 分

7.女性音楽家の系譜——三浦環

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえたうえで、三浦環の演奏を聴いてみる	時間	45 分

8.女性音楽家の系譜——柳兼子

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえたうえで、柳兼子の演奏を聴いてみる	時間	45 分

9.女性音楽家の系譜——吉田隆子

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえたうえで、吉田隆子の作品を聴いたり、弾いたりして	時間	45 分

10.女性音楽家の系譜——諏訪根自子と巖本真理

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえたうえで、彼女たちの演奏を聴いてみる	時間	45 分

11.日本におけるオーケストラ運動の立役者――山田耕筰

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえたうえで、山田耕筰の作品や演奏を聴いたり、弾いたりすること	時間	45 分

12.日本におけるオーケストラ運動の立役者――近衛秀麿

事前学習	指定した文献を事前に読み、要点や疑問点をまとめておくこと	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえたうえで、近衛秀麿の演奏を聴いてみる	時間	45 分

13.桐朋学園音楽部門の創設者たち――井口基成、愛子

事前学習	井口基成、愛子を「体験」した方を知っている人は、話を聞いておくこと	時間	45 分
事後学習	授業で検討した内容を踏まえ、本学の歴史を自分なりにまとめること	時間	45 分

14.桐朋学園音楽部門の創設者たち――齋藤秀雄

事前学習	齋藤秀雄を「体験」した方を知っている人は、話を聞いておくこと	時間	45 分
事後学習	授業では詳しく取り上げることのできなかった伊藤武雄、吉田秀和ら、桐朋草創期に活躍したその他の人びとについて、自分なりに調べてみる	時間	45 分

15.授業の振り返り

事前学習	これまで配布した資料を中心に、復習しておくこと	時間	45 分
------	-------------------------	----	------

事後学習	授業で取り上げた人物たちの音楽活動を振り返り、自分の未来について考えること	時間	45 分
------	---------------------------------------	----	------

【オフィスアワー】

木曜日 授業の前後に時間を確保する(授業実施の教室、仙川キャンパス)

金曜日 14:30-16:00 仙川教員室

【テキスト】

1.『東京芸術大学百年史』東京芸術大学百年史刊行委員会 1987 年

備考:東京音楽学校篇 第 1-2 巻

演奏会篇 第 1-3 巻

発行年は 1987-2003

2.『洋楽導入者の軌跡——日本近代洋楽史序説』中村理平 1993 年

3.『近代日本の音楽百年史』(全4巻) 細川周平 2020 年

4.ロームミュージックファンデーション SP レコード復刻CD集 I ～IV

ロームミュージックファンデーション

備考:CD

日本国憲法 I 人権 α (前期), β (後期)					
担当教員 入井 凡乃 講師			曜日時限		土 2 時限 土 3 時限
実施キャンパス 仙川	単位	各 2 単位	対象年次	学部 1 年～	

【授業の概要】

本授業では、我が国の最高法規である日本国憲法の人権保障について平易に解説する。日本国憲法は大きく2つの分野、すなわち、人権と統治とに分けることができるが、本授業では人権を主な内容とする。

【到達目標】

日本国憲法の学習を通じて、一人の市民として、また、一人の芸術家として、国家をどのようにコントロールしていくことが必要か、自分の力で考えられるようになる。自由、人権、平等、民主といった諸価値について事例検討や諸外国との比較を通じて理解を深める。それによって、主権者としての基礎的素養を身に付け、また、現代的課題に対して自ら判断できるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

日本国憲法Ⅰ人権は、 α (春)と β (秋)ともに同じ内容を扱うため、「日本国憲法Ⅰ α 」もしくは「日本国憲法Ⅰ β 」のどちらか一方のみ履修登録することができる。日本国憲法の履修にあたっては、日本国憲法Ⅰと日本国憲法Ⅱの両方を履修することが有用であり「日本国憲法Ⅱ α / Ⅱ β 」も履修することが望ましいが、どちらか一方の履修も歓迎する。

[前年度以前の日本国憲法履修者へ]本授業は、前年度以前の「日本国憲法Ⅰ α / Ⅰ β 」、過年度の「日本国憲法A β / B β 」と同内容であるため、当該科目を履修済みの者は今年度の「日本国憲法Ⅰ α / Ⅰ β 」を履修することはできない。

【授業の形式】

遠隔授業(オンデマンド配信)、及び、一部対面授業の併用

[遠隔講義(オンデマンド配信)]

教員があらかじめ収録した動画を配信し、学生はそれを視聴する。毎回の提出物によって「通常出席点」が付与される

[対面授業]

初回を含め数回の対面授業を予定している。対面授業の日程について、 α は4月11日・5月23日・6月20日、 β は9月19日・11月21日・12月12日を予定しているが、諸事情により変更することがあるのでご承知おきたい。

対面授業に出席すると「対面出席点」が加算される。ただし、レッスンやコンクール等の諸事情を考慮し、対面授業の回もオンデマンド配信を行って遠隔での受講及び「通常出席点」の取得を可能とする。

[その他]

授業はオンラインで配布する資料に沿って行われる。教科書・参考書の購入は必須ではない。質問・感想等は随時受け付ける。連絡先は、irii.namino@g.tohomusic.ac.jp である。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
70%		30%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、S, A, B, C, D で評価する。

なお、欠席が3分の1以上の場合、成績評定を行わないので注意すること。欠席に正当な理由がある場合は配慮するので、必ずメールで教員に問い合わせること。

出欠については、毎回行われる授業内のアンケートの提出を以て判断する。

【課題に対するフィードバックの方法】

出欠判断用のアンケートに関しては、主に各回の授業の感想や質問を書いてもらうことを予定している。アンケートにおけるコメント内容や、メールで頂いた質問・感想については匿名にて授業で取り上げることがある

【授業展開と内容-前期】

1. ガイダンス・憲法とは何か

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

2.日本国憲法の構造

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

3.基本権総論

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

4.幸福追求権

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

5.法の下の平等

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

6.人身の自由・私生活の自由

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

7.思想良心の自由

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

8.信教の自由と政教分離

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

9.表現の自由

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

10.学問の自由・芸術の自由

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

11.集会の自由・結社の自由

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

12.職業の自由・財産権

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

13.生存権

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

14.労働基本権・教育を受ける権利

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

15.授業のまとめ

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

【授業展開と内容-後期】

1.ガイダンス・憲法とは何か

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

2.日本国憲法の構造

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

3.基本権総論

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

4.幸福追求権

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

5.法の下の平等

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

6.人身の自由・私生活の自由

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

7.思想良心の自由

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

8.信教の自由と政教分離

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

9.表現の自由

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

10.学問の自由・芸術の自由

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

11.集会の自由・結社の自由

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

12.職業の自由・財産権

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

13.生存権

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

14.労働基本権・教育を受ける権利

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

15.授業のまとめ

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

【オフィスアワー】

遠隔授業のため面談が必要な場合は Zoom を利用し教員と学生双方の都合に合う時間に随時受け付けます。

対面授業日は別途時間を取ることができます。あらかじめメールでご連絡ください

【テキスト】

1.なし

備考:授業は配布資料に基づいて行われる

【教材】

授業の理解に役立つ教材として以下の書籍を推薦する。詳しくは初回授業で案内する

○教科書

片桐直人、井上武史、大林啓吾『一步先への憲法入門』(第2版、2021)

西原博史、斎藤一久『教職課程のための憲法入門』(2016)

初宿正典、高橋正俊、米沢広一、棟居快行『いちばんやさしい憲法入門』(第6版、2020)

安念潤司、小山剛、青井未帆、宍戸常寿、山本龍彦『憲法を学ぶための基礎知識 論点 日本国憲法』(第2版、2014)

○判例集

上田健介、尾形健、片桐直人『憲法判例 50!』(第3版、2023)

○その他

山本龍彦、川野太郎ほか『世界基準の教養 for ティーンズはじめての法律』(2024)

新井誠、上田健介、大河内美紀、山田哲史『世界の憲法・日本の憲法——比較憲法入門』(2022)

宍戸常寿、石川博康編『法学入門』(2021)

堀口悟郎、斎藤一久編『図録 法学入門』(2024)

日本国憲法Ⅱ 統治 α (前期), β (後期)					
担当教員 入井 凡乃 講師			曜日時限		土 2 時限 土 3 時限
実施キャンパス 仙川	単位	各 2 単位		対象年次	学部 1 年～

【授業の概要】

本授業では、我が国の最高法規である日本国憲法の統治機構について平易に解説する。日本国憲法は大きく2つの分野、すなわち、人権と統治とに分けることができるが、本授業では統治を主な内容とする。

【到達目標】

日本国憲法の学習を通じて、一人の市民として、また、一人の芸術家として、国家をどのようにコントロールしていくことが必要か、自分の力で考えられるようになる。日本国憲法の諸制度について事例検討や諸外国との比較を通じて理解を深める。それによって、主権者としての基礎的素養を身に付け、また、現代的課題に対して自ら判断できるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

日本国憲法Ⅱは、 α (春)と β (秋)ともに同じ内容を扱うため、「日本国憲法Ⅱ α 」もしくは「日本国憲法Ⅱ β 」のどちらか一方のみ履修登録することができる。日本国憲法の履修にあたっては、日本国憲法Ⅰ (人権)と日本国憲法Ⅱ (統治)の両方を履修することが有用であり、「日本国憲法Ⅰ α / Ⅰ β 」も履修することが望ましいが、日本国憲法Ⅰもしくは日本国憲法Ⅱどちらか一方の履修も歓迎する。

[前年度以前の日本国憲法履修者へ]前年度以前の「日本国憲法Ⅱ α / Ⅱ β 」の履修者は、同内容のため、本年度の「日本国憲法Ⅱ α / Ⅱ β 」を履修することはできない。

【授業の形式】

遠隔授業(オンデマンド配信)、及び、一部対面授業の併用

[遠隔講義(オンデマンド配信)]

教員があらかじめ収録した動画を配信し、学生はそれを視聴する。毎回の提出物によって「通常出席点」が付与される

[対面授業]

初回を含め数回の対面授業を予定している。対面授業の日程について、 α は 4 月 11 日・5 月 23 日・6 月 20 日、 β は 9 月 19 日・11 月 21 日・12 月 12 日を予定しているが、諸事情により変更することがあるのでご承知おきたい。

対面授業に出席すると「対面出席点」が加算される。ただし、レッスンやコンクール等の諸事情を考慮し、対面授業の回もオンデマンド配信を行って遠隔での受講及び「通常出席点」の取得を可能とする。

[その他]

授業はオンラインで配布する資料に沿って行われる。教科書・参考書の購入は必須ではない。質問・感想等は随時受け付ける。連絡先は、irii.namino@g.tohomusic.ac.jp である。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
70%		30%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、S, A, B, C, D で評価する。

なお、欠席が3分の1以上の場合、成績評定を行わないので注意すること。欠席に正当な理由がある場合は配慮するので、メールで個別に教員に問い合わせること。

出欠については、毎行われる授業内のアンケートの提出を以て判断する。

【課題に対するフィードバックの方法】

出欠判断用のアンケートに関しては、主に各回の授業の感想や質問を書いてもらうことを予定している。アンケートにおけるコメント内容や、メールで頂いた質問・感想については匿名にて授業で取り上げることがある。門外不出の場合はその旨記述すること。

【授業展開と内容-前期】

1. ガイダンス・憲法とは何か

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

2. 日本国憲法の成立

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

3.天皇制

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

4.平和主義

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

5.権力分立の基本

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

6.国会①代表制と選挙

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

7.国会②立法権

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

8.内閣①議院内閣制と内閣

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

9.内閣②行政権

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

10.裁判所①司法権

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

11.裁判所②違憲審査制

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

12.財政

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

13.地方自治

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

14.憲法改正

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
------	--------------------	----	------

事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分
------	-----------------------	----	------

15.授業のまとめ

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

【授業展開と内容-後期】

1.ガイダンス・憲法とは何か

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

2.日本国憲法の成立

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

3.天皇制

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

4.平和主義

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

5.権力分立の基本

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

6.国会①代表制と選挙

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

7.国会②立法権

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

8.内閣①議院内閣制と内閣

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

9.内閣②行政権

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

10.裁判所①司法権と裁判所

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

11.裁判所②違憲審査制

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

12.財政

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

13.地方自治

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

14.憲法改正

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

15.授業のまとめ

事前学習	配布資料を確認し授業の要点を確認する	時間	45 分
事後学習	不明点を中心に教科書を読み内容を定着させる	時間	45 分

【オフィスアワー】

遠隔授業のため面談が必要な場合は Zoom を利用し教員と学生双方の都合に合う時間に随時受け付けます。

【テキスト】

1.なし

備考:授業は配布資料に基づいて行われる

【教材】

授業の理解に役立つ教材として以下の書籍を推薦する。詳しくは初回授業で案内する

○教科書

片桐直人、井上武史、大林啓吾『一步先への憲法入門』(第2版、2021)

西原博史、斎藤一久『教職課程のための憲法入門』(2016)

初宿正典、高橋正俊、米沢広一、棟居快行『いちばんやさしい憲法入門』(第6版、2020)

安念潤司、小山剛、青井未帆、宍戸常寿、山本龍彦『憲法を学ぶための基礎知識 論点 日本国憲法』(第2版、2014)

○判例集

上田健介、尾形健、片桐直人『憲法判例 50 ! 』(第3版、2023)

○その他

山本龍彦、川野太郎ほか『世界基準の教養 for ティーンズはじめての法律』(2024)

新井誠、上田健介、大河内美紀、山田哲史『世界の憲法・日本の憲法——比較憲法入門』(2022)

穴戸常寿、石川博康編『法学入門』(2021)

堀口悟郎、斎藤一久編『図録法学入門』(2024)

宗教学 α (前期), β (後期)					
担当教員 江川 純一			曜日時限		水 5 時限
実施キャンパス 仙川	単位	各 2 単位		対象年次	学部 1 年～

【授業の概要】

「宗教」は教団のみを指す語でなく、より広範な人間の営みを指す語である。本授業では、特定の教団の立場に立たずに、多様な宗教現象について考察する。宗教学は西洋近代において始まった学問であるため、その背景となるキリスト教文化圏の解説に重点を置く。

【到達目標】

キリスト教をはじめとする古今東西の宗教事象について合理的に思考できるようになる。

宗教概念が抱える問題を説明できるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

初回の授業で抽選を実施するため、前日までに classroom にメンバー登録の上、必ず参加すること。

世界史の知識があることが望ましいが、必須ではない。

可能であれば、前期・後期と連続して受講すること。

【授業の形式】

パワーポイントを使用し講義形式で行う。しっかりノートを取ること。

(履修者と相談のうえ) 順番の入れ換え、内容の追加があり得る。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	100%	

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目に基づき S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回以降の授業時にフィードバックする。

学年末試験／学年末レポートについては Classroom に講評を掲載する。

【授業展開と内容-前期】

1. イントロ: 宗教学とは何か

事前学習	シラバスに目を通しておくこと	時間	30 分
事後学習	その日のうちに授業内容を復習すること	時間	60 分

2. 現代日本は本当に「無宗教」の地か？

事前学習	前回の内容をもう一度復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との関連を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

3. 宗教概念をめぐる諸問題

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との関連を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

4. 一神教のメカニズム(古代イスラエルの宗教とユダヤ教の差異)

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との関連を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

5. キリスト教の思想と歴史(1)

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との関連を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

6. キリスト教の思想と歴史(2)

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との関連を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

7. 宗教概念批判(1)

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との関連を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

8. 宗教概念批判(2)

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との関連を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

9. 宗教をめぐる思考の歴史(1)

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との関連を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

10. 宗教をめぐる思考の歴史(2)

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との関連を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

11.最高存在の図像学

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との関連を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

12.近現代イタリアにおける宗教(1)

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との関連を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

13.近現代イタリアにおける宗教(2)

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との関連を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

14.イスラームの思想と歴史

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との関連を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

15.他者への眼差し

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との関連を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

【授業展開と内容-後期】

1.イントロ 宗教学的思考について

事前学習	シラバスに目を通しておくこと	時間	30 分
事後学習	その日のうちに授業内容を復習すること	時間	60 分

2.マギア(呪術、魔術、魔法)論(1)古代

事前学習	前回の内容をもう一度復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との関連を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

3.マギア(呪術、魔術、魔法)論(2)中世

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との関連を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

4.マギア(呪術、魔術、魔法)論(3)近現代

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との関連を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

5.仏教の思想と歴史

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との関連を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

6.日本の「宗教」

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
------	----------------	----	------

事後学習	過去の回との関連を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分
------	------------------------------------	----	------

7.宗教と身体

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との関連を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

8.時間と空間をめぐって

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との関連を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

9.神話の解釈(1)

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との関連を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

10.神話の解釈(2)

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との関連を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

11.儀礼とは何か

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との関連を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

12.宗教藝術と藝術宗教

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との関連を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

13.贈与論

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との関連を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

14.供犠論

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との関連を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

15.死・象徴・民衆宗教

事前学習	前回までの内容を復習すること	時間	45 分
事後学習	過去の回との関連を探りながら指定された文献を読んで、理解を深めること	時間	45 分

【オフィスアワー】

水曜日、仙川教員室にて授業前後に時間を確保します。

【教材】

担当教員作成の文献リスト

<https://ameblo.jp/pettazzoniano/entry-12476646103.html>

【その他】

「宗教学 α 」、「宗教学 β 」とも、過去に私から単位を得ている場合、再度の履修はできません。

美術史 α (前期), β (後期)					
担当教員 瀬川 哲朗 講師			曜日時限		木 4 時限
実施キャンパス 仙川	単位	各 2 単位		対象年次	学部 1 年～

【授業の概要】

[前期]

古代から 19 世紀までのさまざまな西洋美術を鑑賞しながら、表現内容や作家、美術をとりまく社会・文化の動きを中心に解説を行う。

[後期]

19 世紀以降の西洋美術および映像芸術の表現・背景を解説する講義に加え、映像編集を中心とした演習を行い、受講生各自が簡易な映像制作を体験する。

【到達目標】

[前期]

教養としての美術知識を身につけるとともに、各芸術分野の表現の特徴・考え方を理解し、自分の専門分野に応用できるようになる。

[後期]

美術、特に映像表現の歴史や特性・技法を理解し、自己表現や情報発信に映像を活用できるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

[前期]

予備知識や技能は必要ないが、視覚的な表現や各国の文化・歴史に対して探求心を持って授業に臨むこと。

授業では知識のインプットだけではなく、さまざまな事柄について、各自が持つイメージを絵にアウトプットする機会を設けるので、日頃から自由に絵を描く経験をしておくこと。

[後期]

PC 教室を使用するため、受講人数は 20 人までとする。

映像制作に関する予備知識や技能・経験は問わないが、最低限の PC 操作(電源の入れ方、マウス操作、タイピング)のスキルがあることが望ましい。

また、課題制作において人権等の各種権利の侵害が起こらないよう、モラルを持って映像制作に臨む姿勢が必須である。

演習での映像制作にあたっては、各自が所有する以下の機器を使用することになる。

[必須]

- ・ステレオミニジャックタイプの有線ヘッドフォンまたは有線イヤフォン

(※衛生管理のため、個人のものを使用。安価なもので構わない)

また、必須ではないが、以下の機器があるとなお望ましい。

- ・ポータブルのデータ記憶デバイス(USB フラッシュメモリ、外付け HDD、外付け SSD、SD カードなど。容量 2GB 以上、Windows の PC で使用できるもの)

演習での映像編集は教室の PC を使用するが、自身の PC 機器を使用することも可能。ただし授業の運営上、ノート PC に限る。iPad 等のタブレットは不可とする。

また、編集ソフトのシステム要件との兼ね合いがあるので、自身のノート PC を使用する場合は、編集作業開始時期までに講師に相談すること。

【授業の形式】

[前期]

講義を中心に授業を行う。必要に応じて、レジュメや資料を紙とデータの形式で配布する。

さまざまな美術作品や文化、表現技法を紹介するので、適宜ノートをとることが望ましい。

[後期]

講義に加え、教室の PC を使用し、簡易な映像編集を体験する演習を行う。

演習回は作業時間が授業内に限られるので、スケジュール管理を適切に行うこと。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	60%	40%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に

判断し、S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

授業内でのフィードバックのほか、Classroom に講評を掲載する。

【授業展開と内容-前期】

1.[イントロダクション / 古代美術とその表現・役割を考えてみよう]

- ・授業概要説明
- ・視覚芸術とはどのようなものか
- ・古代美術とは:さまざまな古代文明と美術
- ・古代のイメージを絵に描いてみよう
- ・古代美術を見てみよう①:人類最古の壁画
- ・古代美術を見てみよう②:新石器時代のヨーロッパ・アジア諸国の美術
- ・古代美術を見てみよう③:古代メソポタミア美術
- ・古代美術を見てみよう④:古代エジプト美術
- ・用途の分からない古代の遺物(オーパーツ)から得られる様々な空想

事前学習	授業では、課題ではないが、特定の時代や語句などのイメージを絵に描く時間を設ける場合がある。簡単なもので構わないので、さまざまなもののイメージを自由に絵に描く経験をしておくこと。	時間	30 分
事後学習	・授業で扱った作品について書籍、インターネット、美術館などを通じて再度鑑賞し、表現の特徴を振り返るとともに、自分なりの感想や解釈を得ること。 ・授業で扱った作品の文化背景について、書籍、インターネット、映画やドキュメンタリーなどを通じて調べ、深く想像すること。	時間	60 分

2.[古代ギリシア美術①]

- ・エーゲ文明(ミケーネ、クレタ、ミケーネ、トロイア)と美術
- ・ギリシア神話:神々と英雄、トロイア戦争と美術
- ・古代ギリシア陶器の表現①:幾何学様式

- ・古代ギリシア陶器の表現②:コリントス式陶器
- ・古代ギリシア文明:ポリス社会と古代ギリシア文化(アテネ、スパルタ)
- ・アルカイック期の彫刻:クローロスとコレーの表現
- ・アルカイック・スマイルとは？

事前学習	・次回授業で扱う時代や作品・作家(授業内で予告する)について、書籍やインターネットを通じて調べ、簡単なイメージをつかんでおくこと。 ・授業では、課題ではないが、特定の時代や語句などのイメージを絵に描く時間を設ける場合がある。簡単なもので構わないので、さまざまなもののイメージを自由に絵に描く経験をしておくこと。	時間	30 分
事後学習	・授業で扱った作品について書籍、インターネット、美術館などを通じて再度鑑賞し、表現の特徴を振り返るとともに、自分なりの感想や解釈を得ること。 ・授業で扱った作品の文化背景について、書籍、インターネット、映画やドキュメンタリーなどを通じて調べ、深く想像すること。	時間	60 分

3.[古代ギリシア美術②]

- ・陶器装飾(壺絵など)の表現:陶器の用途に応じた表現の違い
- ・陶器装飾の技法:黒絵式と赤絵式
- ・クラシック期の彫刻:コントラポストに見るポージングの変遷
- ・クラシック期彫刻の三大巨匠
- ・クラシック期の壁画:古代ギリシアにおける平面美術の位置づけ、ポリュグノートスの大壁画の表現
- ・古代ギリシア建築:石柱に見る建築様式の変遷
- ・視覚芸術におけるさまざまな比率:黄金比、白銀比、絵画のキャンパスの比、映画のアスペクト比
- ・黄金比の矩形を描いてみよう
- ・ヘレニズム時代:マケドニア王国とヘレニズム文化
- ・代表的ヘレニズム美術

事前学習	・次回授業で扱う時代や作品・作家(授業内で予告する)について、書籍やインターネットを通じて調べ、簡単なイメージをつかんでおくこと。 ・授業では、課題ではないが、特定の時代や語句などのイメージを絵に描く時間を設ける場合がある。簡単なもので構わないので、さまざまなもののイメージを自由に絵に描く経験をしておくこと。	時間	30 分
事後学習	・授業で扱った作品について書籍、インターネット、美術館などを通じて再度鑑賞し、表現の特徴を振り返るとともに、自分なりの感想や解釈を得ること。 ・授業で扱った作品の文化背景について、書籍、インターネット、映画やドキュメンタリーなどを通じて調べ、深く想像すること。	時間	60 分

4.[エトルリア / ローマ美術]

- ・これまでのおさらい:初期文明の変遷
- ・エトルリア文明と来世信仰①:ネクロポリスの墳墓装飾
- ・エトルリア文明と来世信仰②:人体像の表現
- ・ネクロポリスの壁画の表現
- ・古代ローマ:成立と古代ギリシア文化との関係
- ・ローマンコピー:古代ギリシア美術へのあこがれ
- ・ネオ・アッティカ派と皇帝:アウグストゥスと美術の保護
- ・古代ローマの皇帝たち
- ・古代ローマ皇帝の彫刻表現と権威:アウグストゥス像、マルクス=アウレリウス=アントニヌス帝の騎馬像
- ・古代ローマ建築:コロッセオ、ポン・デュ・ガールに見る力学的、美術的構造と様式

事前学習	・次回授業で扱う時代や作品・作家(授業内で予告する)について、書籍やインターネットを通じて調べ、簡単なイメージをつかんでおくこと。 ・授業では、課題ではないが、特定の時代や語句などのイメージを絵に描く時間を設ける場合がある。簡単なもので構わないので、さまざまなもののイメージを自由に絵に描く経験をしておくこと。	時間	30 分
事後学習	・授業で扱った作品について書籍、インターネット、美術館などを通じて再度鑑賞し、表現の特徴を振り返るとともに、自分なりの感想や解釈を得ること。 ・授業で扱った作品の文化背景について、書籍、インターネット、映画やドキュメンタリーなどを通じて調べ、深く想像すること。	時間	60 分

5.[ポンペイ美術 / キリスト教美術①]

- ・フレスコ画・モザイク画とは？
- ・ポンペイのフレスコ壁画①:神話表現と日常描写
- ・ポンペイのフレスコ壁画②:空間性とだまし絵
- ・壁画を想定して描いてみよう
- ・ポンペイのモザイク画:「イッソスの戦い」に見るマケドニアの栄光
- ・ポンペイの終焉
- ・キリスト教の歴史①:ユダヤ教
- ・キリスト教の歴史②:キリスト教成立とローマ
- ・初期キリスト教美術①:イエスのシンボル、キリスト教の戒律と美術
- ・自分を表すシンボルを描いてみよう
- ・初期キリスト教美術②:カタコンベの壁画

・ニケーア公会議:正統キリスト観の規定とキリスト教美術の変化

事前学習	・次回授業で扱う時代や作品・作家(授業内で予告する)について、書籍やインターネットを通じて調べ、簡単なイメージをつかんでおくこと。 ・授業では、課題ではないが、特定の時代や語句などのイメージを絵に描く時間を設ける場合がある。簡単なもので構わないので、さまざまなもののイメージを自由に絵に描く経験をしておくこと。	時間	30 分
事後学習	・授業で扱った作品について書籍、インターネット、美術館などを通じて再度鑑賞し、表現の特徴を振り返るとともに、自分なりの感想や解釈を得ること。 ・授業で扱った作品の文化背景について、書籍、インターネット、映画やドキュメンタリーなどを通じて調べ、深く想像すること。	時間	60 分

6.[キリスト教美術②]

- ・これまでの文明史を振り返ってみよう
- ・ローマ帝国の分裂:西と東のローマ帝国
- ・西ローマ帝国滅亡後の世界とキリスト教:ローマ地域の支配者と教皇
- ・キリスト教美術③:聖堂建築、ローマ・カトリックの4大バシリカ
- ・聖堂建築の様式:バシリカ式と集中式
- ・聖堂の様式・間取りを考えて描いてみよう
- ・キリスト教美術④ :ラヴェンナのモザイク画
- ・モザイク画を描いてみよう
- ・キリスト教美術⑤:ビザンティンのアイコン(予習編)

事前学習	・次回授業で扱う時代や作品・作家(授業内で予告する)について、書籍やインターネットを通じて調べ、簡単なイメージをつかんでおくこと。 ・授業では、課題ではないが、特定の時代や語句などのイメージを絵に描く時間を設ける場合がある。簡単なもので構わないので、さまざまなもののイメージを自由に絵に描く経験をしておくこと。	時間	30 分
事後学習	・授業で扱った作品について書籍、インターネット、美術館などを通じて再度鑑賞し、表現の特徴を振り返るとともに、自分なりの感想や解釈を得ること。 ・授業で扱った作品の文化背景について、書籍、インターネット、映画やドキュメンタリーなどを通じて調べ、深く想像すること。	時間	60 分

7.[キリスト教美術③ / キリスト教建築①]

- ・西 / 東ローマ帝国の教会
- ・イコノクラスム:聖像破壊運動に見るキリスト教の戒律と美術表現
- ・ビザンティンのアイコンとアイコン画家たち
- ・マンディリオンに見る戒律の抜け道

- ・至聖三者とアンドレイ・ルブリョフの表現
- ・ロマネスク建築(予習編)
- ・ロマネスクとは？
- ・ロマネスク建築の技法①:半円筒ヴォールトとアーチ構造
- ・ロマネスク建築の技法②:壁

事前学習	・次回授業で扱う時代や作品・作家(授業内で予告する)について、書籍やインターネットを通じて調べ、簡単なイメージをつかんでおくこと。 ・授業では、課題ではないが、特定の時代や語句などのイメージを絵に描く時間を設ける場合がある。簡単なもので構わないので、さまざまなもののイメージを自由に絵に描く経験をしておくこと。	時間	30 分
事後学習	・授業で扱った作品について書籍、インターネット、美術館などを通じて再度鑑賞し、表現の特徴を振り返るとともに、自分なりの感想や解釈を得ること。 ・授業で扱った作品の文化背景について、書籍、インターネット、映画やドキュメンタリーなどを通じて調べ、深く想像すること。	時間	60 分

8.[キリスト教建築②]

- ・ロマネスク建築(復習編)
- ・ロマネスク建築の技法③:交差ヴォールト
- ・理想の天井を描いてみよう
- ・ロマネスク建築のタンパン:「最後の審判」の表現と役割
- ・マジェステ:聖遺物容器の役割と表現
- ・ロマネスク建築建設の背景
- ・代表的ロマネスク建築
- ・ゴシック建築(予習編):ゴシックとは？
- ・「高さ」という価値

事前学習	・次回授業で扱う時代や作品・作家(授業内で予告する)について、書籍やインターネットを通じて調べ、簡単なイメージをつかんでおくこと。 ・授業では、課題ではないが、特定の時代や語句などのイメージを絵に描く時間を設ける場合がある。簡単なもので構わないので、さまざまなもののイメージを自由に絵に描く経験をしておくこと。	時間	30 分
事後学習	・授業で扱った作品について書籍、インターネット、美術館などを通じて再度鑑賞し、表現の特徴を振り返るとともに、自分なりの感想や解釈を得ること。 ・授業で扱った作品の文化背景について、書籍、インターネット、映画やドキュメンタリーなどを通じて調べ、深く想像すること。	時間	60 分

9.[キリスト教建築③]

・ゴシック建築(復習編)

・ゴシック建築の構造:尖塔アーチ、リブ・ヴォールト、フライング・バットレスの構造的特徴

・巨大さは美か？

・「過剰な」ゴシック建築の装飾的特徴

・ゴシック建築の装飾① :タンパン

・ゴシック建築の装飾② :外壁の装飾、ガーゴイル、シメール

・ゴシック建築の装飾③:尖塔

・ゴシック建築の内部①: 柱

・ゴシック建築の内部②: ステンドグラス

・プロト・ルネサンス(予習編):11 世紀以降のヨーロッパ都市

事前学習	・次回授業で扱う時代や作品・作家(授業内で予告する)について、書籍やインターネットを通じて調べ、簡単なイメージをつかんでおくこと。 ・授業では、課題ではないが、特定の時代や語句などのイメージを絵に描く時間を設ける場合がある。簡単なもので構わないので、さまざまなもののイメージを自由に絵に描く経験をしておくこと。	時間	30 分
事後学習	・授業で扱った作品について書籍、インターネット、美術館などを通じて再度鑑賞し、表現の特徴を振り返るとともに、自分なりの感想や解釈を得ること。 ・授業で扱った作品の文化背景について、書籍、インターネット、映画やドキュメンタリーなどを通じて調べ、深く想像すること。	時間	60 分

10.[プロト・ルネサンス / ルネサンス①]

・中世後期のヨーロッパ都市:都市の成長と十字軍

・祭壇画:用途とその表現

・祭壇画の技法:テンペラ

・ジオット〜ルネサンスの父〜:空間性と人体描写のリアリズム

・フィレンツェ派とシエナ派

・ルネサンス①:ルネサンスの背景と動向

・初期ルネサンスの三巨匠

・線遠近法:透視図とは？

・透視図を描いてみよう

事前学習	・次回授業で扱う時代や作品・作家(授業内で予告する)について、書籍やインターネットを通じて調べ、簡単なイメージをつかんでおくこと。	時間	30 分
------	---	----	------

	・授業では、課題ではないが、特定の時代や語句などのイメージを絵に描く時間を設ける場合がある。簡単なもので構わないので、さまざまなもののイメージを自由に絵に描く経験をしておくこと。		
事後学習	・授業で扱った作品について書籍、インターネット、美術館などを通じて再度鑑賞し、表現の特徴を振り返るとともに、自分なりの感想や解釈を得ること。 ・授業で扱った作品の文化背景について、書籍、インターネット、映画やドキュメンタリーなどを通じて調べ、深く想像すること。	時間	60 分

11.[ルネサンス②]

- ・プロト・ルネサンス～初期ルネサンスのおさらい
- ・ルネサンス②:マサッチオの一点透視
- ・一点透視のガイドに沿って絵を描いてみよう
- ・マサッチオの影響①:フラ・アンジェリコと受胎告知
- ・マサッチオの影響②:ドメニコ・ヴェネツィアーノと聖会話
- ・他地域でのルネサンス: 北方ルネサンス① ロベルト・カンピンなど
- ・油彩画の発明:ファン・エイク兄弟
- ・油彩画の普及:ベッリーニの超絶技巧
- ・キャンバスの発明

事前学習	・次回授業で扱う時代や作品・作家(授業内で予告する)について、書籍やインターネットを通じて調べ、簡単なイメージをつかんでおくこと。 ・授業では、課題ではないが、特定の時代や語句などのイメージを絵に描く時間を設ける場合がある。簡単なもので構わないので、さまざまなもののイメージを自由に絵に描く経験をしておくこと。	時間	30 分
事後学習	・授業で扱った作品について書籍、インターネット、美術館などを通じて再度鑑賞し、表現の特徴を振り返るとともに、自分なりの感想や解釈を得ること。 ・授業で扱った作品の文化背景について、書籍、インターネット、映画やドキュメンタリーなどを通じて調べ、深く想像すること。	時間	60 分

12.[ルネサンス③]

- ・ボッティチェリとメディチ家:画家とパトロンの関係
- ・ボッティチェリの表現:「プリマヴェーラ」「ヴィーナスの誕生」など
- ・盛期ルネサンスの三巨匠①:レオナルド・ダ・ヴィンチ
- ・レオナルド「最後の晩餐」「モナ・リザ」の表現
- ・自分の「最後の晩餐」を描いてみよう
- ・盛期ルネサンスの三巨匠②:ラファエロ

・ラファエロ「アテネの学堂」「小椅子の聖母」の表現

事前学習	・次回授業で扱う時代や作品・作家(授業内で予告する)について、書籍やインターネットを通じて調べ、簡単なイメージをつかんでおくこと。 ・授業では、課題ではないが、特定の時代や語句などのイメージを絵に描く時間を設ける場合がある。簡単なもので構わないので、さまざまなもののイメージを自由に絵に描く経験をしておくこと。	時間	30 分
事後学習	・授業で扱った作品について書籍、インターネット、美術館などを通じて再度鑑賞し、表現の特徴を振り返るとともに、自分なりの感想や解釈を得ること。 ・授業で扱った作品の文化背景について、書籍、インターネット、映画やドキュメンタリーなどを通じて調べ、深く想像すること。	時間	60 分

13.[ルネサンス④ / マニエリスム①]

・盛期ルネサンスの三巨匠③:ミケランジェロ

・ミケランジェロ「サン・ピエトロのピエタ」「ダヴィデ」「トンド・ドーニ」の表現

・マニエリスム①:マニエリスムとは？

・ミケランジェロの天井画:「最後の審判」の表現

・理想の人体を描いてみよう

・15～16 世紀のヨーロッパ世界

・北方ルネサンス②:デューラー 木版画と銅版画

・北方ルネサンス③:ボス

・北方ルネサンス④:ルーカス・クラナッハとルターの宗教改革

・宗教改革と美術 / ルネサンスの終焉

事前学習	・次回授業で扱う時代や作品・作家(授業内で予告する)について、書籍やインターネットを通じて調べ、簡単なイメージをつかんでおくこと。 ・授業では、課題ではないが、特定の時代や語句などのイメージを絵に描く時間を設ける場合がある。簡単なもので構わないので、さまざまなもののイメージを自由に絵に描く経験をしておくこと。	時間	30 分
事後学習	・授業で扱った作品について書籍、インターネット、美術館などを通じて再度鑑賞し、表現の特徴を振り返るとともに、自分なりの感想や解釈を得ること。 ・授業で扱った作品の文化背景について、書籍、インターネット、映画やドキュメンタリーなどを通じて調べ、深く想像すること。	時間	60 分

14.[後期北方ルネサンス / マニエリスム② / バロック]

・北方ルネサンス⑤:ブリューゲル一族 風俗画と風景画、静物画

・マニエリスム②:ミケランジェロ、エル・グレコ、パルミジャニーノなど

・イタリア戦争:ヴァロワ家とハプスブルク家の覇権争いと美術

- ・フォンテーヌブロー派:フランソワ 1 世とフランス宮廷美術
- ・バロック美術:バロックとは？
- ・イタリアのバロック①:カラッチ 宗教画と風俗画
- ・イタリアのバロック② カラヴァッジョ 写実性と劇的效果
- ・スペインのバロック :ベラスケス
- ・ネーデルラントのバロック:ネーデルラントの歴史的動向
- ・集団肖像画と写実性
- ・一般家庭向けの絵画の成立:風俗画、風景画、静物画の隆盛
- ・ネーデルラントのバロック画家①:フェルメール
- ・ネーデルラントのバロック画家②:レンブラント

事前学習	・次回授業で扱う時代や作品・作家(授業内で予告する)について、書籍やインターネットを通じて調べ、簡単なイメージをつかんでおくこと。	時間	30 分
事後学習	・授業で扱った作品について書籍、インターネット、美術館などを通じて再度鑑賞し、表現の特徴を振り返るとともに、自分なりの感想や解釈を得ること。 ・授業で扱った作品の文化背景について、書籍、インターネット、映画やドキュメンタリーなどを通じて調べ、深く想像すること。	時間	60 分

15.[18～19 世紀のフランス美術]

- ・ロ可可:ルイ王朝と宮廷美術
- ・ルイ 14 世とヴェルサイユ宮殿、ルイ 14 世様式
- ・ル・ブランとアカデミー
- ・ルイ 14 世様式からロ可可へ
- ・ロ可可様式の調度品:ロカイユ、セーヴル焼き
- ・ロ可可画家①:ヴァトー
- ・ロ可可画家②:ブーシェ
- ・ロ可可画家③:フラゴナール
- ・反ロ可可的な美術:シャルダンと風俗画
- ・18～19 世紀フランス美術の背景:フランス革命
- ・新古典主義①:ダヴィッドの表現とフランス革命以降の政治、ナポレオン
- ・新古典主義②:アングルと理想化された人体描写

・ロマン主義① :ジェリコーとリアリズム

・ロマン主義②: ドラクロワと即時性

・フランス革命と美術館の成立

事前学習	・次回授業で扱う時代や作品・作家(授業内で予告する)について、書籍やインターネットを通じて調べ、簡単なイメージをつかんでおくこと。 ・授業では、課題ではないが、特定の時代や語句などのイメージを絵に描く時間を設ける場合がある。簡単なもので構わないので、さまざまなもののイメージを自由に絵に描く経験をしておくこと。	時間	30 分
事後学習	・授業で扱った作品について書籍、インターネット、美術館などを通じて再度鑑賞し、表現の特徴を振り返るとともに、自分なりの感想や解釈を得ること。 ・授業で扱った作品の文化背景について、書籍、インターネット、映画やドキュメンタリーなどを通じて調べ、深く想像すること。	時間	60 分

【授業展開と内容-後期】

1.[イントロダクション / 絵画のリアリズムの歴史①]※講義回

・授業概要、スケジュール説明

・リアリズムとは? :絵画の歴史とリアリズム

・アカデミーという権威:19 世紀の絵画ジャンルの序列

・アカデミーを支えた潮流:新古典主義とロマン主義

・アカデミズムの画家①:カバネル

・アカデミズムの画家②:ブグロー

事前学習	授業で扱う作品や時代、語句(授業内で予告する)について、書籍やインターネットを通じて調べ、簡単なイメージをつかんでおくこと。	時間	30 分
事後学習	授業で扱った美術の技法や役割、効果、考え方を思い出しながら、美術作品を書籍やインターネットを通じて再度鑑賞し、視覚表現について深く考えること。	時間	60 分

2.[絵画のリアリズムの歴史②]※講義回

・反アカデミズムの画家たちとリアリズム①:ミレー、コロー、テオドール・ルソー、ドービニーなどの風景画

・イギリスの風景画家たちとリアリズム①:コンスタブル

・イギリスの風景画家たちとリアリズム②:ターナー

・絵で運動性を表現してみよう

・反アカデミズムの画家たちとリアリズム②:クールベの表現と主題

・印象派とは? :新たなリアリズムの形

- ・印象派の父:マネ
- ・印象派の画家①:モネ
- ・印象派の画家②:ルノワール

事前学習	授業で扱う作品や時代、語句(授業内で予告する)について、書籍やインターネットを通じて調べ、簡単なイメージをつかんでおくこと。	時間	30 分
事後学習	授業で扱った美術の技法や役割、効果、考え方を思い出しながら、美術作品を書籍やインターネットを通じて再度鑑賞し、視覚表現について深く考えること。	時間	60 分

3.[写真・映像のテクノロジー史]※講義回

- ・写真の本質とは？
- ・ものが見える仕組み
- ・光と像の原理
- ・カメラ・オブスクラ
- ・写真の仕組み
- ・写真の発明家たち①:ニエプスとダゲール ダゲレオタイプの発明
- ・写真の発明家たち②:タルボットのカロタイプ
- ・写真の発明家たち③:アーチャーの写真湿板
- ・写真乾板:写真の一般化
- ・フィルムの登場
- ・写真と絵画、リアリズム
- ・映像の原理
- ・映像技術の歴史①: おどろき板 & ゴートローブ
- ・映像技術の歴史②:テアトル・オブティーク
- ・映像技術の歴史③ :連続写真
- ・映像技術の歴史④: エジソンとディクソン キネトスコープの発明
- ・映像技術の歴史⑤ :リュミエール兄弟 シネマトグラフの発明

事前学習	授業で扱う作品や時代、語句(授業内で予告する)について、書籍やインターネットを通じて調べ、簡単なイメージをつかんでおくこと。	時間	30 分
事後学習	授業で扱った映像作品の技法や役割、効果を思い出しながら、写真や映像コンテンツを分析的に見て、視覚表現について深く考えること。	時間	60 分

4.[映像編集①]※講義+演習回

- ・初期映画の表現:映像編集のない時代
- ・編集による物語表現:E・S・ポーターの編集表現
- ・カット / シーン / シークエンスとは?
- ・編集技法の発展:D・W・グリフィス
- ・カットの本質
- ・アクションつなぎとコンティニューティ
- ・編集ソフト操作説明
- ・編集演習課題① 配布素材を使い、アクションつなぎでカットをつなぎ編集をやってみよう

事前学習	授業で扱う作品や時代、語句(授業内で予告する)について、書籍やインターネットを通じて調べ、簡単なイメージをつかんでおくこと。	時間	30 分
事後学習	・授業で扱った映像表現の技法や役割、効果を思い出しながら、映像コンテンツを分析的に見て、視覚表現について深く考えること。 ・可能であれば授業で得た映像撮影・編集の知識を応用し、写真・動画を撮影してみたり、編集ソフトで編集に取り組んでみる。	時間	60 分

5.[映像編集②]※講義+演習回

- ・映像編集の技法①:繰り返し
- ・映像編集の技法②:フラッシュバック、フラッシュフォワード
- ・映像編集の技法③:オーバーラップ
- ・映像編集の技法④:ジャンプカット
- ・編集ソフト操作説明
- ・編集演習課題② 配布素材を使い、アクションつなぎでカットをつなぎ編集をやってみよう

事前学習	授業で扱う作品や時代、語句(授業内で予告する)について、書籍やインターネットを通じて調べ、簡単なイメージをつかんでおくこと。	時間	30 分
事後学習	・授業で扱った映像表現の技法や役割、効果を思い出しながら、映像コンテンツを分析的に見て、視覚表現について深く考えること。 ・可能であれば授業で得た映像撮影・編集の知識を応用し、写真・動画を撮影してみたり、編集ソフトで編集に取り組んでみる。	時間	60 分

6.[映像編集③]※講義回

- ・映像編集の技法⑤:クロスカッティング
- ・映像の文法～繰り返しの基本～:イマジナリーライン
- ・シーン単位の会話:電話シーンの編集
- ・映像編集理論の成立:エイゼンシュテインらのモンタージュ理論

・ジガ・ヴェルトフ:「カメラを持った男」 カットによるメッセージの構築

・レフ・クレシヨフの実験:カットの組み合わせで生じる意味

・モンタージュ理論とソビエト連邦

・特異なモンタージュの出現:「アンダルシアの犬」

・シュルレアリスム:歴史と精神性

・意味のない絵または文章を描いてみよう

事前学習	授業で扱う作品や時代、語句(授業内で予告する)について、書籍やインターネットを通じて調べ、簡単なイメージをつかんでおくこと。	時間	30 分
事後学習	・授業で扱った映像表現の技法や役割、効果を思い出しながら、映像コンテンツを分析的に見て、視覚表現について深く考えること。 ・可能であれば授業で得た映像撮影・編集の知識を応用し、写真・動画を撮影してみたり、編集ソフトで編集に取り組んでみる。	時間	60 分

7.[映像撮影①]※講義＋演習回

・画角

・レンズと画角の関係

・焦点距離とレンズの種類

・焦点距離と画角の関係

・ショットサイズとは

・さまざまなショットサイズ

・人数によるショット分類

・撮影演習課題①:画角を考えながらカメラを使ってみよう-1

事前学習	授業で扱う作品や時代、語句(授業内で予告する)について、書籍やインターネットを通じて調べ、簡単なイメージをつかんでおくこと。	時間	30 分
事後学習	・授業で扱った映像表現の技法や役割、効果を思い出しながら、映像コンテンツを分析的に見て、視覚表現について深く考えること。 ・可能であれば授業で得た映像撮影・編集の知識を応用し、写真・動画を撮影してみたり、編集ソフトで編集に取り組んでみる。	時間	60 分

8.[映像撮影②]※講義＋演習回

・構図

・基本的な構図

・カメラポジション / アングル

・撮影演習課題②:画角を考えながらカメラを使ってみよう-2

事前学習	授業で扱う作品や時代、語句(授業内で予告する)について、書籍やインターネットを通じて調べ、簡単なイメージをつかんでおくこと。	時間	30 分
事後学習	・授業で扱った映像表現の技法や役割、効果を思い出しながら、映像コンテンツを分析的に見て、視覚表現について深く考えること。 ・可能であれば授業で得た映像撮影・編集の知識を応用し、写真・動画を撮影してみたり、編集ソフトで編集に取り組んでみる。	時間	60 分

9.[映像撮影③ / 映像の形式]※講義回

- ・フォーカス
- ・フォーカスに関する基礎知識①:被写界深度とは？
- ・フォーカスに関する基礎知識②:アイリスと被写界深度
- ・フォーカスによる演出:ディープフォーカス / ナローフォーカス
- ・スクリーンサイズ / アスペクト比の歴史と種類:スタンダードから IMAX まで
- ・1910～1950 年代のアメリカ大手映画会社とスクリーンサイズ開発
- ・好きなスクリーンサイズで絵を描いてみよう

事前学習	授業で扱う作品や時代、語句(授業内で予告する)について、書籍やインターネットを通じて調べ、簡単なイメージをつかんでおくこと。	時間	30 分
事後学習	・授業で扱った映像表現の技法や役割、効果を思い出しながら、映像コンテンツを分析的に見て、視覚表現について深く考えること。 ・可能であれば授業で得た映像撮影・編集の知識を応用し、写真・動画を撮影してみたり、編集ソフトで編集に取り組んでみる。	時間	60 分

10.[映像と音声]※講義回

- ・なぜカチンコを鳴らすのか？
- ・映画撮影での映像と音声
- ・映像と音の歴史① :エジソンのフォノグラフからキネトフォンまで
- ・映像と音の歴史②:ベルリナーのグラモフォンからサウンド・オン・ディスクまで
- ・映像と音の歴史③:フィルムに載った音

事前学習	授業で扱う作品や時代、語句(授業内で予告する)について、書籍やインターネットを通じて調べ、簡単なイメージをつかんでおくこと。	時間	30 分
事後学習	・授業で扱った映像表現の技法や役割、効果を思い出しながら、映像コンテンツを分析的に見て、視覚表現について深く考えること。 ・可能であれば授業で得た映像撮影・編集の知識を応用し、写真・動画を撮影してみたり、編集ソフトで編集に取り組んでみる。	時間	60 分

11.[映像編集④]※演習回

- ・編集ソフト操作説明

・編集演習課題③-1 配布素材を使い、会話シーンを形作る編集をやってみよう

事前学習	授業で扱う作品や時代、語句(授業内で予告する)について、書籍やインターネットを通じて調べ、簡単なイメージをつかんでおくこと。	時間	30 分
事後学習	・授業で扱った映像表現の技法や役割、効果を思い出しながら、映像コンテンツを分析的に見て、視覚表現について深く考えること。 ・可能であれば授業で得た映像撮影・編集の知識を応用し、写真・動画を撮影してみたり、編集ソフトで編集に取り組んでみる。	時間	60 分

12.[映像編集⑤]※演習回

・編集ソフト操作説明

・編集演習課題③-2 配布素材を使い、会話シーンを形作る編集をやってみよう

事前学習	授業で扱う作品や時代、語句(授業内で予告する)について、書籍やインターネットを通じて調べ、簡単なイメージをつかんでおくこと。	時間	30 分
事後学習	・授業で扱った映像表現の技法や役割、効果を思い出しながら、映像コンテンツを分析的に見て、視覚表現について深く考えること。 ・可能であれば授業で得た映像撮影・編集の知識を応用し、写真・動画を撮影してみたり、編集ソフトで編集に取り組んでみる。	時間	60 分

13.[リアリズムと視覚芸術 / 映画]※講義回

・後期のおさらい:19 世紀以降の絵画、写真のリアリズム

・美術での作品価値とは？

・美術の作品価値と音楽

・複製技術と美術価値の転換:ベンヤミンの論考 礼拝価値と展示価値

・映画の本質 映画をどう捉えるか？ 太宰治のエッセイ

・絵画とリアリズム～19 世紀後半から 20 世紀～

・画家と現実の関係①:印象派 モネ、ルノワール

・画家と現実の関係②:後期印象派 ゴッホ、ゴーガン

・絵画とリアリズムの動向①:点描派 スーラ

・絵画とリアリズムの動向②:フォーヴィスム マティス

・絵画とリアリズムの動向③:キュビスム ピカソ、ブラック

・絵画とリアリズムの動向④:エコール・ド・パリ モディリアーニ、シャガール

・絵画とリアリズムの動向⑤:ダダイスム / シュルレアリスム デュシャン、マグリット

・絵画とリアリズムの動向⑥:バウハウスと抽象絵画 クレー、モンドリアン、カンディンスキー

事前学習	授業で扱う作品や時代、語句(授業内で予告する)について、書籍やインター	時間	30 分
------	-------------------------------------	----	------

	ネットを通じて調べ、簡単なイメージをつかんでおくこと。		
事後学習	授業で扱った美術の技法や役割、効果、考え方を思い出しながら、美術作品を書籍やインターネットを通じて再度鑑賞し、視覚表現について深く考えること。	時間	60 分

14.[映像編集⑥]※演習回

・編集ソフト操作説明

・編集演習課題④-1 配布素材を使い、1つのシーンを形作る編集をやってみよう

事前学習	授業で扱う作品や時代、語句(授業内で予告する)について、書籍やインターネットを通じて調べ、簡単なイメージをつかんでおくこと。	時間	30 分
事後学習	・授業で扱った映像表現の技法や役割、効果を思い出しながら、映像コンテンツを分析的に見て、視覚表現について深く考えること。 ・可能であれば授業で得た映像撮影・編集の知識を応用し、写真・動画を撮影してみたり、編集ソフトで編集に取り組んでみる。	時間	60 分

15.[映像編集⑦]※演習回

・編集ソフト操作説明

・編集演習課題④-2 配布素材を使い、1つのシーンを形作る編集をやってみよう

・後期の総括

事前学習	授業で扱う作品や時代、語句(授業内で予告する)について、書籍やインターネットを通じて調べ、簡単なイメージをつかんでおくこと。	時間	30 分
事後学習	・授業で扱った映像表現の技法や役割、効果を思い出しながら、映像コンテンツを分析的に見て、視覚表現について深く考えること。 ・可能であれば授業で得た映像撮影・編集の知識を応用し、写真・動画を撮影してみたり、編集ソフトで編集に取り組んでみる。	時間	60 分

【オフィスアワー】

毎授業後、仙川教室にて授業前後に時間を確保します。

哲学 α (前期), β (後期)					
担当教員	木下 頌子 講師	曜日時限		水 5 時限	
実施キャンパス	仙川	単位	各 2 単位	対象年次	学部 1 年～

【授業の概要】

現代の英米圏を中心に展開される「分析哲学」のスタイルに則り、さまざまな哲学的問題を考える。

哲学 α (前期): 形而上学や伝統的な倫理学の代表的な問題を紹介する。たとえば、1年前の自分と現在の自分が同一の人物であるのはなぜか、幸福とは何か、道徳的な善さや正義とは何かかといった問いを扱う。

哲学 β (後期): 美学や応用倫理学の問題を紹介する。たとえば、フィクション作品を鑑賞するときに私たちはなぜ現実でないことに対して怖がったり悲しんだりするのか、作品に含まれる倫理的な悪さ(差別的な内容を含むなど)はその作品の美的な価値を下げることになるのか、「女性は感情的だ」のようなステレオタイプ化にはどのような問題があるのか、といった問いを扱う。

【到達目標】

- ・身近なテーマに関わる哲学的問題の面白さを実感できるようになる。
- ・抽象的で複雑な哲学の議論について、特定の立場の内容やそれを導く根拠を正確に理解し、検討できるようになる。
- ・その上で、それぞれの問題に対して自らの考えを導き、それをわかりやすく伝えられるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

過去に受講したことのある方は重複履修できません。(哲学 α のみ受講していて今回哲学 β を受講、あるいはその逆は可能です)

【授業の形式】

【講義形式】

- ・毎回、授業の理解の確認や考えを問うためのコメントペーパーを課します。
- ・講義形式ではありますが、適宜ディスカッションの時間も設けますので、積極的に参加してください。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	70%	30%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業時にフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1. イントロダクション: 授業の進め方と哲学的議論について

事前学習	哲学について自分なりに調べ、イメージをもっておくこと。	時間	30 分
事後学習	授業で紹介した哲学の特徴について、もう一度整理しておくこと。	時間	60 分

2. 人の同一性の問題: 魂説

事前学習	1年前の自分と現在の自分がなぜ同一の人物であるのかについて、自分なりに考えておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で扱った立場の内容や議論をもう一度整理し、理解を定着させること。	時間	45 分

3.人の同一性の問題:身体説

事前学習	前回の授業で学んだことを踏まえて、疑問点や反論をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で扱った立場の内容や議論をもう一度整理し、理解を定着させること。	時間	45 分

4.人の同一性の問題:心理説

事前学習	前回の授業で学んだことを踏まえて、疑問点や反論をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で扱った立場の内容や議論をもう一度整理し、理解を定着させること。	時間	45 分

5.人の同一性の問題:それぞれの立場の問題

事前学習	前回の授業で学んだことを踏まえて、疑問点や反論をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で扱った立場の内容や議論をもう一度整理し、理解を定着させること。	時間	45 分

6.幸福とはなにか:快樂説

事前学習	幸福な状態と不幸な状態の具体的な事例を複数考えておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で扱った立場の内容や議論をもう一度整理し、理解を定着させること。	時間	45 分

7.幸福とはなにか:欲求実現説

事前学習	前回の授業で学んだことを踏まえて、疑問点や反論をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で扱った立場の内容や議論をもう一度整理し、理解を定着させること。	時間	45 分

8.幸福とはなにか:客観リスト説

事前学習	前回の授業で学んだことを踏まえて、疑問点や反論をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で扱った立場の内容や議論をもう一度整理し、理解を定着させること。	時間	45 分

9.幸福とはなにか:折衷説

事前学習	前回の授業で学んだことを踏まえて、疑問点や反論をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で扱った立場の内容や議論をもう一度整理し、理解を定着させること。	時間	45 分

10.道徳的に正しい行為とはなにか:功利主義

事前学習	私たちが何を基準に道徳的な正しさを判断しているのか考えてみること。	時間	45 分
事後学習	授業で扱った立場の内容や議論をもう一度整理し、理解を定着させること。	時間	45 分

11.道徳的に正しい行為とはなにか:義務論

事前学習	前回の授業で学んだことを踏まえて、疑問点や反論をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で扱った立場の内容や議論をもう一度整理し、理解を定着させること。	時間	45 分

12.ふりかえりとレポートの書き方

事前学習	前回の授業で学んだことを踏まえて、疑問点や反論をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業の説明を踏まえ、レポートを書くための準備をすること。	時間	45 分

13.道徳的に正しい行為とはなにか:徳倫理学

事前学習	前回の授業で学んだことを踏まえて、疑問点や反論をまとめておくこと。	時間	45 分
------	-----------------------------------	----	------

事後学習	授業で扱った立場の内容や議論をもう一度整理し、理解を定着させること。	時間	45 分
------	------------------------------------	----	------

14.正義とはなにか:ロールズの正義論

事前学習	前回の授業で学んだことを踏まえて、疑問点や反論をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で扱った立場の内容や議論をもう一度整理し、理解を定着させること。	時間	45 分

15.正義とはなにか:ケイパビリティ・アプローチ

事前学習	前回の授業で学んだことを踏まえて、疑問点や反論をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で扱った立場の内容や議論をもう一度整理し、理解を定着させること。	時間	45 分

【授業展開と内容-後期】

1.イントロダクション:授業の進め方と哲学的議論について

事前学習	哲学について自分なりに調べ、イメージをもっておくこと。	時間	30 分
事後学習	授業で扱った立場の内容や議論をもう一度整理し、理解を定着させること。	時間	60 分

2.フィクションのパラドクス:なぜ私たちは実際に存在しない怪物を怖がるのか

事前学習	フィクションを鑑賞するときの感情のあり方について考えておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で扱った立場の内容や議論をもう一度整理し、理解を定着させること。	時間	45 分

3.フィクションのパラドクス:錯覚説

事前学習	前回の授業で学んだことを踏まえて、疑問点や反論をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で扱った立場の内容や議論をもう一度整理し、理解を定着させること。	時間	45 分

4.フィクションのパラドクス:フリ説

事前学習	前回の授業で学んだことを踏まえて、疑問点や反論をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で扱った立場の内容や議論をもう一度整理し、理解を定着させること。	時間	45 分

5.フィクションのパラドクス:思考説

事前学習	前回の授業で学んだことを踏まえて、疑問点や反論をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で扱った立場の内容や議論をもう一度整理し、理解を定着させること。	時間	45 分

6.ホラーのパラドクス:なぜ人々は恐怖を喚起するホラーを楽しめるのか

事前学習	ホラー作品を鑑賞するとき何を楽しんでいるのかについて考えておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で扱った立場の内容や議論をもう一度整理し、理解を定着させること。	時間	45 分

7.ホラーのパラドクス:キャロルの理論

事前学習	前回の授業で学んだことを踏まえて、疑問点や反論をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で扱った立場の内容や議論をもう一度整理し、理解を定着させること。	時間	45 分

8.ホラーのパラドクス:キャロルに対する批判

事前学習	前回の授業で学んだことを踏まえて、疑問点や反論をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で扱った立場の内容や議論をもう一度整理し、理解を定着させること。	時間	45 分

9.不道徳作品の問題:作品の倫理的よしあしは作品の美的価値を左右するのか

事前学習	倫理的に問題のありそうな作品の具体例を考えてみる	時間	45 分
事後学習	授業で扱った立場の内容や議論をもう一度整理し、理解を定着させること。	時間	45 分

10.不道徳作品の問題:自律主義

事前学習	前回の授業で学んだことを踏まえて、疑問点や反論をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で扱った立場の内容や議論をもう一度整理し、理解を定着させること。	時間	45 分

11.不道徳作品の問題:倫理主義

事前学習	前回の授業で学んだことを踏まえて、疑問点や反論をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で扱った立場の内容や議論をもう一度整理し、理解を定着させること。	時間	45 分

12.ふりかえりとレポートの書き方

事前学習	前回の授業で学んだことを踏まえて、疑問点や反論をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業の説明を踏まえ、レポートを書くための準備をすること。	時間	45 分

13.不道徳作品の問題:不道徳主義

事前学習	前回の授業で学んだことを踏まえて、疑問点や反論をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で扱った立場の内容や議論をもう一度整理し、理解を定着させること。	時間	45 分

14.ステレオタイプ化の問題:なぜステレオタイプ化は悪いのか

事前学習	社会に流通しているステレオタイプの例を考えておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で扱った立場の内容や議論をもう一度整理し、理解を定着させること。	時間	45 分

15.ステレオタイプ化の問題:誤謬説と非個人扱い説

事前学習	前回の授業で学んだことを踏まえて、疑問点や反論をまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で扱った立場の内容や議論をもう一度整理し、理解を定着させること。	時間	45 分

【オフィスアワー】

水曜日5限後 仙川教員室

【教材】

教員の自作資料を配布します。

以下は授業内容をより深く理解するための参考文献ですので、関心に応じてぜひ参照してください。

- ・鈴木生郎・秋葉剛史・谷川卓・倉田剛『ワードマップ・現代形而上学:分析哲学が問う、人・因果・存在の謎』、新曜社、2014年、ISBN-13 : 978-4788513662
- ・秋葉剛史『形而上学とは何か』、筑摩書房、2025 年、ISBN-13:978-4480076991
- ・森村進『幸福とは何か:思考実験で学ぶ倫理学入門』、筑摩書房、2018 年、ISBN-13 : 978-4480683298
- ・赤林朗・児玉聡編『入門・倫理学』、勁草書房、2018 年、ISBN-13:978-4-326-10265-5
- ・ロバート・ステッカー(森功次訳)『分析美学入門』、勁草書房、2013 年、ISBN-13 : 978-4326800537

- ・戸田山和久『恐怖の哲学:ホラーで人間を読む』、NHK 出版、2016 年、ISBN-13 ： 978-4140884782
- ・ノエル・キャロル(高田敦史訳)『ホラーの哲学:フィクションと感情をめぐるパラドックス』、フィルムアート社、2022 年、ISBN-13 ： 978-4845919208
- ・メリッサ・M・シュー＋キンバリー・K・ガーチャー＝編、三木那由他＋西條玲奈＝監訳『女の子のための西洋哲学入門』、フィルムアート社、2024 年、ISBN-13: 978-4845921072

【その他】

- ・受講希望者が多い場合、各期の初回の授業で抽選を行います。その場合には第2回からの受講が認められないので、ご注意ください。
- ・初回授業の抽選方法等について事前に Google Classroom より連絡する場合があります。受講を考えている方は初回の前日までに必ず Google Classroom に参加しておいてください。
- ・授業中の質問や議論の盛り上がりによって、スケジュールが多少前後する可能性があります。

体育講義Ⅰ α(前期), β(後期)

担当教員	小宮 暖 講師			曜日時限	土 1 時限	
実施キャンパス	仙川	単位	各 2 単位		対象年次	学部

【授業の概要】

音楽家は創造活動をする上で、さまざまな心と身体に関するチャレンジに出会う。音楽家にとって必要な「心身のスキル」はどのように育ててゆけばよいのだろうか？ 本授業ではこのテーマに関する各種トピックを取り上げ、その具体的な鍛錬方法について実際に体験していく。特に養育環境の影響で生じやすいさまざまな心の脆弱性(心の弱さ)がどのように音楽活動の上に影響してくるか、その関係を探り、それらの諸問題への解決の糸口を示唆する。講師は米国認定音楽療法士であり、セラピストになる過程で受けた心身の訓練のうち音楽家にも役立つものを紹介してゆく。

体育講義とありますが、実際に身体を使ったワーク(各種の身体調整法、瞑想、呼吸法、音楽療法など)も盛り込んでいきます。

メンタルが弱いと感じる、パフォーマンスにおける過度な緊張がある、感情表現のブロック、身体の内側から音楽が湧いてこない、自分の音楽が好きじゃない、身体が固いなど、自分と音楽との関係において何らかの問題を抱えているという問題意識をお持ちの方におすすめします。テキストとして、小宮暖 著『芸術家のための分析的音楽療法 こころとからだの健康を探す旅』を用います。

【到達目標】

- 1.音楽家の心と身体 of 諸問題を概観することでそれらの性質を理解できるようになる。

2.それらの原因について学ぶことで、より深く自己を理解することができるようになる。

3.心と身体を整えるスキルを学ぶことがで、セルフケアをすることができるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

定員50名 学部1年～

前期か後期いずれかの履修に限ります(両方履修は不可)。

受講希望者が多い場合は履修制限を行う。この場合、上級学年を優先する。

【授業の形式】

土 1 時限と記載されていますが、遠隔授業(オンデマンド配信)です。

「講義・遠隔」動画、文章配信、テキスト図書の購読による授業です。課題提出をもって出席とします。Google Classroom を用いますので、桐朋アカウントへの登録が必要です。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	60%	40%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

課題レポートは7点満点(提出点3+内容点4点)で評価を付けて返却する。

レポート内に書かれた授業内容についての質問等は、クラス全体に向けた講師の答えを付して、google Classroom 内で共有する。

【授業展開と内容-前期】

1.①オリエンテーション

②資料 下記からダウンロード可能

③履修希望の方は google Classroom から入室してください クラスコードは学校から配布されます。

④ご質問、お問い合わせ:tohotaiiku@gmail.com(ご自身の送信元アドレスは toho ドメインのもの(学籍番号@st.tohomusic.ac.jp)を使用してください。)

添付資料

事前学習	なぜこの授業を履修したいのか考える。 時間: 45 分	時間	45 分
------	-----------------------------------	----	------

事後学習	課題提出:自分のニーズと授業内容が一致しているか検討し、履修動機を1分程度の動画で話す。 時間: 45分	時間	45分
------	--	----	-----

2.音楽家の諸問題を概観する

事前学習	テキストの指定箇所を読む。	時間	45分
事後学習	課題提出:テキスト内容を参考に、自分の抱える音楽生活上の課題や悩みを振り返る。	時間	45分

3.パフォーマンス不安の理解と対処 症状編

事前学習	本番などで過緊張になる時に、自分にはどのような症状が出るか振り返る。	時間	45分
事後学習	提出課題:動画を閲覧し、自分のパフォーマンス不安の症状について理解が深まったか振り返る。	時間	45分

4.パフォーマンス不安の理解と対処 原因編

事前学習	自分のパフォーマンス不安の原因について考える。	時間	45分
事後学習	提出課題:動画を閲覧し、自分のパフォーマンス不安の原因についてさらに洞察する。	時間	45分

5.基本的信頼感 ホールディングという概念について

事前学習	テキストの指定箇所を読む。	時間	45分
事後学習	提出課題:動画の内容について考察し、感想を書く。	時間	45分

6.同調について

事前学習	動画を閲覧する。	時間	45分
事後学習	同調を実践し感想をレポートする。	時間	45分

7.心身の安定した基盤を作る その1:セロトニンを増やす

事前学習	動画を視聴する。	時間	45分
事後学習	動画内容を実践し、感想を書く。	時間	45分

8.心身の安定した基盤を作る その2:マインドフルネス

事前学習	動画を視聴する。	時間	45分
事後学習	動画内容を実践し、感想を書く。	時間	45分

9.感情について

事前学習	提出課題:テキスト内の感情についてのワークを行い、感想を書く。	時間	45分
事後学習	提出課題:テキスト内容を基に自分自身について振り返り、洞察を書く。	時間	45分

10.自己感

事前学習	テキストの指定箇所を読む。	時間	45分
事後学習	提出課題:テキスト内容を基に自分自身について振り返り、洞察を書く。	時間	45分

11.創造的不安について

事前学習	テキストの指定箇所を読む。	時間	45 分
事後学習	創造的不安について自身の体験を書く。	時間	45 分

12.批判の扱い方

事前学習	テキストの指定箇所を読む。	時間	45 分
事後学習	テキスト内の批判の扱いについてのワークを実践し、感想を書く。	時間	45 分

13.実存的不安

事前学習	テキストの指定箇所を読む。	時間	45 分
事後学習	提出課題:テキスト内容を基に自分自身について振り返り、洞察を書く。	時間	45 分

14.音楽家を対象にした分析的音楽療法の事例

事前学習	テキストの指定箇所を読む。	時間	45 分
事後学習	動画を閲覧しレポートを書く	時間	45 分

15.まとめ

事前学習	これまでの自分の提出課題を読み返す。	時間	45 分
事後学習	提出課題:授業全体を通して学んだことを振り返り、最終レポートを書く。	時間	45 分

【授業展開と内容-後期】

1.①オリエンテーション

②資料 下記からダウンロード可能

③履修希望の方は google Classroom から入室してください クラスコードは学校から配布されます。

④ご質問、お問い合わせ:tohotaiiku@gmail.com(ご自身の送信元アドレスは toho ドメインのもの(学籍番号@st.tohomusic.ac.jp)を使用してください。)

添付資料

事前学習	なぜこの授業を履修したいのか考える。 時間: 45 分	時間	45 分
事後学習	課題提出:自分のニーズと授業内容が一致しているか検討し、履修動機を1分程度の動画で話す。 時間: 45 分	時間	45 分

2.音楽家の諸問題を概観する

事前学習	テキストの指定箇所を読む。	時間	45 分
事後学習	課題提出:テキスト内容を参考に、自分の抱える音楽生活上の課題や悩みを振り返る。	時間	45 分

3.パフォーマンス不安の理解と対処 症状編

事前学習	本番などで過緊張になる時に、自分にはどのような症状が出るか振り返る。	時間	45 分
事後学習	提出課題:動画を閲覧し、自分のパフォーマンス不安の症状について理解が深まったか振り返る。	時間	45 分

4.パフォーマンス不安の理解と対処 原因編

事前学習	自分のパフォーマンス不安の原因について考える。	時間	45 分
事後学習	提出課題:動画を閲覧し、自分のパフォーマンス不安の原因についてさらに洞察する。	時間	45 分

5.基本的信頼感 ホールディングという概念について

事前学習	テキストの指定箇所を読む。	時間	45 分
事後学習	提出課題:動画の内容について考察し、感想を書く。	時間	45 分

6.同調について

事前学習	動画を閲覧する	時間	45 分
事後学習	同調を実践し感想をレポートする。	時間	45 分

7.心身の安定した基盤を作る その1:セロトニンを増やす

事前学習	動画を視聴する。	時間	45 分
事後学習	動画内容を実践し、感想を書く。	時間	45 分

8.心身の安定した基盤を作る その2:マインドフルネス

事前学習	動画を視聴する。	時間	45 分
事後学習	動画の内容を実践する。	時間	45 分

9.感情について

事前学習	提出課題:テキスト内の感情についてのワークを行い、感想を書く。	時間	45 分
事後学習	提出課題:テキスト内容を基に自分自身について振り返り、洞察を書く。	時間	45 分

10.自己感

事前学習	テキストの指定箇所を読む。	時間	45 分
事後学習	提出課題:テキスト内容を基に自分自身について振り返り、洞察を書く。	時間	45 分

11.創造的不安について

事前学習	テキストの指定箇所を読む。	時間	45 分
事後学習	創造的不安について自身の体験を書く。	時間	45 分

12.批判の扱い方

事前学習	テキストの指定箇所を読む。	時間	45 分
事後学習	テキスト内の批判の扱いについてのワークを実践し、感想を書く。	時間	45 分

13.実存的不安

事前学習	テキストの指定箇所を読む。	時間	45 分
事後学習	提出課題:テキスト内容を基に自分自身について振り返り、洞察を書く。	時間	45 分

14.音楽家を対象にした分析的音楽療法の事例

事前学習	テキストの指定箇所を読む。	時間	45 分
事後学習	動画を閲覧しレポートを書く	時間	45 分

15.まとめ

事前学習	これまでの自分の提出課題を読み返す。	時間	45 分
事後学習	提出課題:授業全体を通して学んだことを振り返り、最終レポートを書く。	時間	45 分

【オフィスアワー】

ご質問やお問い合わせは、googleclassroom を通じて、または授業専用メール:tohotaiiku@gmail.com にて随時受け付けます。

【テキスト】

1.芸術家のための分析的音楽療法 こころとからだの健康を探す旅 小宮暖 2020 年 ¥4,400 9784802099318

備考:プリント・オン・デマンド方式によるため、Amazon.jp のサイトのみで販売しています。(電子版もあります)

体育講義Ⅱ α (前期), β (後期)					
担当教員	伊澤 英紀 講師		曜日時限	土 1 時限	
実施キャンパス	仙川	単位	各 2 単位	対象年次	学部 1 年～

【授業の概要】

我々人間のからだは、常に心身ともに健康であることが望ましい。その心身の健康を維持・増進するためには、栄養－運動－休養の 3 つをバランス良く行うことが、大きな必須要素となっている。しかし、産業革命以降、製品の増加・大量生産がもたらされ、都市化が発達したことで、我々の生活スタイルが大きく変化した。それに伴い、食生活・労働・余暇などがこれまで大きく変化し、生活スタイル全般にも大きな変革が訪れた。その一つとして、社会的重労働、パソコン作業などが伴い、栄養－運動－休養の 3 つのバランスが大きく崩れ、心身のストレスを抱え、からだの本来の機能が低下し、健康を阻害している人も少なくない。そこで、本授業では、生涯を通じて心身が健康であり続けるために、からだの機能や構造、ストレス要因などを把握し、栄養－運動－休養の 3 つのバランスが保てるように、自らの生活パターンを見直したり、不調の場合であれば、適切に対処できる知識や健康を育む意義を学んでいく。

前期は、健康を阻害する精神的要因や疲労や睡眠のメカニズム、さらには健康に関連した環境について学んでいく。

後期は、生理学的な知見を通して、自らのからだの機能・構造を学んでいく。

【到達目標】

「健康」をテーマとして、心身の健康を自ら積極的に維持・増進するための具体的な指針や対策を常に考えていくことができるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

大学生および短大生 全学年 履修可能。

履修人数:最大 30 名。

【授業の形式】

土 1 時限と記載されていますが、遠隔授業(オンデマンド配信)です。

オンライン授業です。

毎回の授業において、google classroom にアップされている動画を視聴し、レポート課題を提出してください。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
10%	80%	10%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目に基づき S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業時にフィードバックする。

学年末試験／学年末レポートについては Classroom に講評を掲載する。

【授業展開と内容-前期】

1.オリエンテーション

質問がある学生は、本授業担当の伊澤へ連絡を下さい。

izawa.hidenori@g.tohomusic.ac.jp

事前学習	心身の健康に関する最近のニュースやトピックスをチェックする。	時間	45 分
事後学習	講義で学んだことを自分の生活に関連させて、今後の方向性を検討していく。	時間	45 分

2.健康の捉え方について

事前学習	次回のテーマに関連した文献やニュースなどを事前に調べて、疑問点などをまとめること。	時間	45 分
事後学習	講義で学んだことを自分の生活に関連させて、今後の方向性を検討していく。	時間	45 分

3.感染症について

事前学習	次回のテーマに関連した文献やニュースなどを事前に調べて、疑問点などをまとめること。	時間	45 分
事後学習	講義で学んだことを自分の生活に関連させて、今後の方向性を検討していく。	時間	45 分

4.心身相関について

事前学習	次回のテーマに関連した文献やニュースなどを事前に調べて、疑問点などをまとめること。	時間	45 分
事後学習	講義で学んだことを自分の生活に関連させて、今後の方向性を検討していく。	時間	45 分

5.欲求とストレスについて①

事前学習	次回のテーマに関連した文献やニュースなどを事前に調べて、疑問点などをまとめること。	時間	45 分
事後学習	講義で学んだことを自分の生活に関連させて、今後の方向性を検討していく。	時間	45 分

6.欲求とストレスについて②

事前学習	次回のテーマに関連した文献やニュースなどを事前に調べて、疑問点などをまとめること。	時間	45 分
事後学習	講義で学んだことを自分の生活に関連させて、今後の方向性を検討していく。	時間	45 分

7.心理学について①

事前学習	次回のテーマに関連した文献やニュースなどを事前に調べて、疑問点などをまとめること。	時間	45 分
事後学習	講義で学んだことを自分の生活に関連させて、今後の方向性を検討していく。	時間	45 分

8.心理学について②

事前学習	次回のテーマに関連した文献やニュースなどを事前に調べて、疑問点などをまとめること。	時間	45 分
事後学習	講義で学んだことを自分の生活に関連させて、今後の方向性を検討していく。	時間	45 分

9.疲労と休養について

事前学習	次回のテーマに関連した文献やニュースなどを事前に調べて、疑問点などをまとめること。	時間	45 分
事後学習	講義で学んだことを自分の生活に関連させて、今後の方向性を検討していく。	時間	45 分

10.生活リズムと睡眠について

事前学習	次回のテーマに関連した文献やニュースなどを事前に調べて、疑問点などをまとめること。	時間	45 分
事後学習	講義で学んだことを自分の生活に関連させて、今後の方向性を検討していく。	時間	45 分

11.環境とパフォーマンスについて

事前学習	次回のテーマに関連した文献やニュースなどを事前に調べて、疑問点などをまとめること。	時間	45 分
事後学習	講義で学んだことを自分の生活に関連させて、今後の方向性を検討していく。	時間	45 分

12.食事・栄養について

事前学習	次回のテーマに関連した文献やニュースなどを事前に調べて、疑問点などをまとめること。	時間	45 分
事後学習	講義で学んだことを自分の生活に関連させて、今後の方向性を検討していく。	時間	45 分

13.技術と技能およびパフォーマンスについて

事前学習	次回のテーマに関連した文献やニュースなどを事前に調べて、疑問点などをまとめること。	時間	45 分
事後学習	講義で学んだことを自分の生活に関連させて、今後の方向性を検討していく。	時間	45 分

14.自己分析について

事前学習	次回のテーマに関連した文献やニュースなどを事前に調べて、疑問点などをまとめること。	時間	45 分
事後学習	講義で学んだことを自分の生活に関連させて、今後の方向性を検討していく。	時間	45 分

15.まとめ

事前学習	次回のテーマに関連した文献やニュースなどを事前に調べて、疑問点などをまとめること。	時間	45 分
事後学習	半期を振り返り、今後の身の在り方を改めて考える。	時間	45 分

【授業展開と内容-後期】

1.オリエンテーション

質問がある学生は、本授業担当の伊澤へ連絡を下さい。

izawa.hidenori@g.tohomusic.ac.jp

事前学習	心身の健康に関する最近のニュースやトピックスをチェックする。	時間	45 分
事後学習	講義で学んだことを自分の生活に関連させて、今後の方向性を検討していく。	時間	45 分

2.健康の概念について

事前学習	次回のテーマに関連した文献やニュースなどを事前に調べて、疑問点などをまとめること。	時間	45 分
事後学習	講義で学んだことを自分の生活に関連させて、今後の方向性を検討していく。	時間	45 分

3.からだの構造①(脳・神経系について)

事前学習	次回のテーマに関連した文献やニュースなどを事前に調べて、疑問点などをまとめること。	時間	45 分
事後学習	講義で学んだことを自分の生活に関連させて、今後の方向性を検討していく。	時間	45 分

4.からだの構造②(呼吸循環について)

事前学習	次回のテーマに関連した文献やニュースなどを事前に調べて、疑問点などをまとめること。	時間	45 分
事後学習	講義で学んだことを自分の生活に関連させて、今後の方向性を検討していく。	時間	45 分

5.からだの構造③(血液循環について)

事前学習	次回のテーマに関連した文献やニュースなどを事前に調べて、疑問点などをまとめること。	時間	45 分
事後学習	講義で学んだことを自分の生活に関連させて、今後の方向性を検討していく。	時間	45 分

6.からだの構造④(体力について)

事前学習	次回のテーマに関連した文献やニュースなどを事前に調べて、疑問点などをまとめること。	時間	45 分
事後学習	講義で学んだことを自分の生活に関連させて、今後の方向性を検討していく。	時間	45 分

7.からだの構造⑤(筋肉について)

事前学習	次回のテーマに関連した文献やニュースなどを事前に調べて、疑問点などをまとめること。	時間	45 分
事後学習	講義で学んだことを自分の生活に関連させて、今後の方向性を検討していく。	時間	45 分

8.からだの構造⑥(骨・関節について)

事前学習	次回のテーマに関連した文献やニュースなどを事前に調べて、疑問点などをまとめること。	時間	45 分
事後学習	講義で学んだことを自分の生活に関連させて、今後の方向性を検討していく。	時間	45 分

9.相対的年齢効果について

事前学習	次回のテーマに関連した文献やニュースなどを事前に調べて、疑問点などをまとめること。	時間	45 分
事後学習	講義で学んだことを自分の生活に関連させて、今後の方向性を検討していく。	時間	45 分

10.男女の体力・運動能力の特徴について

事前学習	次回のテーマに関連した文献やニュースなどを事前に調べて、疑問点などをまとめること。	時間	45 分
事後学習	講義で学んだことを自分の生活に関連させて、今後の方向性を検討していく。	時間	45 分

11.依存と依存症について

事前学習	次回のテーマに関連した文献やニュースなどを事前に調べて、疑問点などをまとめること。	時間	45 分
事後学習	講義で学んだことを自分の生活に関連させて、今後の方向性を検討していく。	時間	45 分

12.生活習慣病について

事前学習	次回のテーマに関連した文献やニュースなどを事前に調べて、疑問点などをまとめること。	時間	45 分
事後学習	講義で学んだことを自分の生活に関連させて、今後の方向性を検討していく。	時間	45 分

13.加齢に伴う体力の低下と運動について

事前学習	次回のテーマに関連した文献やニュースなどを事前に調べて、疑問点などをまとめること。	時間	45 分
事後学習	講義で学んだことを自分の生活に関連させて、今後の方向性を検討していく。	時間	45 分

14.外傷・障害について

事前学習	次回のテーマに関連した文献やニュースなどを事前に調べて、疑問点などをまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	講義で学んだことを自分の生活に関連させて、今後の方向性を検討していく。	時間	45 分

15.まとめ

事前学習	次回のテーマに関連した文献やニュースなどを事前に調べて、疑問点などをまとめておくこと。	時間	45 分
事後学習	半期を振り返り、今後の身の在り方を改めて考える。	時間	45 分

【オフィスアワー】

木曜日 3 限後・4 限後 仙川キャンパス 体育センター1 階教員室

金曜日 1 限後・2 限後 仙川キャンパス 体育センター1 階教員室

体育実技 1 音楽家のためのトータルコンディショニング' α (前期), β (後期)					
担当教員 野上 圭太 講師			曜日時限		火 2 時限
実施キャンパス	仙川	単位	各 1 単位	対象年次	学部 1 年～

【授業の概要】

< 身体リセット～体力強化 >

疲労や痛みがあると、脳から筋肉への神経伝達が阻害されて動きが鈍ります。それらを改善するためにまずは柔らかく、そして関節を大きく動かすことが可能になるように身体をリセットし、思い通りに身体をコントロールできれば音楽の精度も高まります。長時間コンディションを保持するためにエクササイズで体力強化(スタミナ)を図ることが必要で、短期間でなく時間がかかるものなので通年で履修することを強く推奨する。

【到達目標】

疲労しにくく(スタミナ)、身体を思い通りに動かすことができれば(器用)、高度な長時間練習もこなすことができるようになる。音楽に必要な身体コンディションを良好にしていけば、本番のステージが上手くできるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

定員は 40 名を目安に、該当教室の収容人数との兼ね合いにより決定します。希望者多数の場合は、初回オリエンテーションで抽選します。初回授業を欠席すると抽選の権利がなくなりますので、理由がある場合は事前に担当教員(野上)までメール連絡を入れること。もしくは友人等に抽選を依頼すること。

同じ科目名称・同じ担当者であっても毎年内容が変わるため、本科目は「重複履修」を認める。

【授業の形式】

【対面】演習

要所で解説を入れながら、実技を中心に進めていきます。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	10%	90%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に

判断し、S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業時にフィードバックする。

個別課題については、Classroom に講評を掲載する。

【授業展開と内容-前期】

1.<オリエンテーション>

授業説明、スクリーニング序章

事前学習	シラバスを熟読し、履修するか否かを決定する。	時間	60 分
事後学習	オリエンテーションを受けて、履修するか否かを再考する。	時間	30 分

2.<スクリーニング before>

現在の自分の身体状態(主に筋肉柔軟性、関節可動性)をチェックします。

事前学習	授業内で指示した内容を予習しておくこと。	時間	45 分
事後学習	スクリーニング結果を受けて、自分の体の弱点部位を把握しておくこと。	時間	45 分

3.<肩こり>

トラブルが多い首肩、筋肉を弛めて伸ばして痛みを軽減させていきます。

事前学習	授業内で指示した内容を予習しておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	45 分

4.<腰痛>

腰部を挟んでいる胸部と骨盤、その周辺筋肉を緩めて伸ばしていきます。

事前学習	授業内で指示した内容を予習しておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	45 分

5.<上肢>

演奏や発声にとっても重要な上半身の姿勢、楽器に触れる指、繊細かつ疲労しやすいので丁寧に筋肉を弛めていきます。キーポイントは肩甲骨、動きを獲得します。

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくること。	時間	45 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	45 分

6.<下肢>

大きい筋肉が多くある脚に特化して筋肉を弛めて、脚が軽く楽に動かせるようにしていきます。

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくること。	時間	45 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	45 分

7.<呼吸>

発声はもちろん、演奏にも重要な要素です。さらに神経系にも影響するので、リラクゼーション効果も期待できる呼吸法を実践します。

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくること。	時間	45 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	45 分

8.<肩甲骨からのリラクゼーション>

緩んだ筋肉を使って、肩の関節を柔らかく大きく動かしていきます。

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくること。	時間	45 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	45 分

9.<骨盤からのリラクゼーション>

緩んだ筋肉を使って、股関節を柔らかく大きく動かしていきます。

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくること。	時間	45 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	45 分

10.<上半身トレーニング>

正しい肩甲骨の使い方、上半身の筋力トレーニングを実施します。特に肩の力み(肩甲骨が持ち上がった状態)を予防改善するために肩甲骨を下げる筋力をつけていきます。

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくること。	時間	45 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	45 分

11.<下半身トレーニング>

正しい骨盤の動きで、反り腰にならないように下半身の筋力トレーニングを実施します。

事前学習	授業内で指示した内容を予習しておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	45 分

12.<上下半身連動性>

普段の生活では、上半身と下半身はともに連動して動きます。その仕組みを理解して、正しくきれいな歩き方を実践します。さらに上下半身の連動性を高めるエクササイズで、脳-神経伝達を高めます。

事前学習	授業内で指示した内容を予習しておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	45 分

13.<学習内容のまとめ> 課題提出

*遠隔授業(オンデマンド型)

事前学習	今までの授業内容を整理しておくこと。	時間	30 分
事後学習	課されたレポートをきちんと仕上げて提出すること。	時間	60 分

14.<全身のリラクゼーション>

全身がリラックスできるように、柔らかく体を動かしていきます。

事前学習	授業内で指示した内容を予習しておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	45 分

15.<スクリーニング after>

スクリーニング(after)を実施し、before と身体状態変化を比較します。

事前学習	自分の弱点を再確認しておくこと。	時間	45 分
事後学習	改善できていない弱点を、絶対に忘れないこと！そのためにやるべきことを理解しておくこと。	時間	45 分

【授業展開と内容-後期】

1.<オリエンテーション>

授業説明

事前学習	シラバスを熟読し、履修するか否かを決定する。	時間	60 分
事後学習	オリエンテーションを受けて、履修するか否かを再考する。	時間	30 分

2.<フィジカルスクリーニング>

フィジカルスクリーニング(before)を実施し、現状(体力)を把握します。

事前学習	授業内で指示した内容を予習しておくこと。	時間	45 分
事後学習	スクリーニング結果を受けて、自分の体の虚弱部位を把握しておくこと。	時間	45 分

3.<身体調整>

全身の筋肉を弛め、関節可動域を確保します。

事前学習	授業内で指示した内容を予習しておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	45 分

4.<ナンバ術>

『骨』を動かす意識を持ち、「快」の動きを自分で感じ取れるようにします。

事前学習	授業内で指示した内容を予習しておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	45 分

5.<レジスタンストレーニングⅠ>

全身筋力トレーニングします。

事前学習	授業内で指示した内容を予習しておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	45 分

6.<心臓血管系トレーニングⅠ>

スタミナ養成のために、心拍数を上げるエクササイズ(種目サーキットトレーニング)を実施します。

事前学習	授業内で指示した内容を予習しておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	45 分

7.<心臓血管系トレーニングⅡ>

スタミナ養成のために、心拍数を上げるエクササイズ(起き上がり系サーキットトレーニング)を実施します。

事前学習	授業内で指示した内容を予習しておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	45 分

8.<トリートメント>

トレーニングで疲労した筋肉をセルフケアします。

事前学習	授業内で指示した内容を予習しておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	45 分

9.<レジスタンストレーニングⅡ>

全身筋力トレーニングします。

事前学習	授業内で指示した内容を予習しておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	45 分

10.<心臓血管系トレーニングⅢ>

スタミナ養成のために、心拍数を上げるエクササイズ(低強度高回数)を実施します。

事前学習	授業内で指示した内容を予習しておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	45 分

11.<心臓血管系トレーニングⅣ>

スタミナ養成のために、心拍数を上げるエクササイズ(ジャンプ系サーキットトレーニング)を実施します。

事前学習	授業内で指示した内容を予習しておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	45 分

12.<心臓血管系トレーニングⅤ>

スタミナ養成のために、心拍数を上げるエクササイズ(HIIT)を実施します。

事前学習	授業内で指示した内容を予習しておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	45 分

13.<学習内容のまとめ>課題提出

*遠隔授業(オンデマンド型)

事前学習	今までの授業内容を整理しておくこと	時間	30 分
事後学習	課されたレポートをきちんと仕上げて提出すること。	時間	60 分

14.<身体調整>

全身の筋肉を弛め、関節可動域を確保します。

事前学習	授業内で指示した内容を予習しておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	45 分

15.<フィジカルスクリーニング>

フィジカルスクリーニング(after)を実施し、before と体力変化を比較します。

事前学習	授業内で指示した内容を予習しておくこと。	時間	45 分
事後学習	改善できていない弱点を、絶対に忘れないこと！そのためにやるべきことを理解しておくこと。	時間	45 分

【オフィスアワー】

火曜日 8:00～8:30 教員室 or 体育センター / 2時限後 授業教室

木曜日 3時限後 体育センター

金曜日 2時限後 体育センター

【テキスト】

1.ナンバの心身対話術:隠れた感性を呼び覚ます 矢野 龍彦 2007 年 ¥1,430

備考:必要に応じてプリント資料等を配布するので、テキストとして授業のために購入する必要はない。

【教材】

【その他】

動きやすい服装、運動シューズ、水分、マット(バスタオル等で代用可)を持参。

その他、必要に応じて授業でその都度指示する。

体育実技 2 パフォーマンスアップ°骨体操 α(前期), β(後期)					
担当教員 遠藤 記代子 講師			曜日時限		火 4 時限
実施キャンパス	仙川	単位	各 1 単位	対象年次	学部 1 年～

【授業の概要】

本授業の目的は

- ①日本古来から伝わる【ナンバ(古武術)】の知恵を用いて、日本人の力を取り戻すべく、心技体のつながりを学ぶ。
- ②後期では更に発展させ、日本人の力を取り戻した土台の上に、西洋的な身体使いに昇華させていく。

授業で扱う所作は、感性が良くなり、思考力・意志の力・生命力・運動神経・聴力をアップさせ、

そして、記憶力・集中力・想像力・コミュニケーション力・また、音楽における構成力や閃きの力を高める。

【到達目標】

- ・己の心と体を観察し、自ら「心技体」のバランスを取れる知恵が身に付くようになる
- ・体の不調のある程度は、自分で治せるようになる
- ・自分の得意なことを見極め、その能力を自分自身で伸ばす知恵がつく
- ・音楽に対する自分の哲学をもつ
- ・「日本人の力」を取り戻した上での西洋的な身体使いを学ぶので、演奏における「日本人癖」を楽に取り除くことができる
- ・「練習ノート」をつけるコツを身につける

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

本授業は、Google classroom を用いたオンライン授業とする。

身体の変化を実感しやすくするため、授業の前後に演奏をして試していただきたい。

授業で用意するものは、『ノート・紐・小筆ペン(PILOT 瞬筆・小筆～柔らかめ)、金・銀の油性ペン』詳細は各授業のシラバス・Google classroom にて明記する。

履修生は直接「パフォーマンスアップ骨体操」の Google classroom より直接入室するか、担当教員の遠藤に履修の意志をメールすること。

授業動画閲覧後、Google classroom の「限定コメント」にて講師に連絡すること。それをもって出席扱いとする。

【授業の形式】

【遠隔】による実技演習形式。

土 1 時限と記載されていますが、遠隔授業(オンデマンド配信)です。

授業の動画・資料を Google classroom から、授業のある火曜日朝8時に配信を行うので、閲覧後に Google classroom の「限定コメント」へ課題を提出のこと。課題の提出をもって出席とする。

前期は日本人の力を発揮するナンバの動きを、後期は西洋的な身体使いを学ぶ。

後期のみの受講も可能。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	50%	50%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目に基づき S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

Google classroom にて、限定公開のコメントでフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1.【遠隔授業】

ナンバの基礎～自分を知る①快と不快1

一番小さな行動である「筆跡」から、自分自身を見る

事前学習	シラバスを読んで、意欲的に継続して出席できるか確認しておく。 ※小筆ペン(PILOT 瞬筆・小筆～柔らかめ)、練習ノートを用意する。 (ノートは提出の必要はない) ノートの見開きページを使い、 左側に自分の根が手ジブな面、右ページにはポジティブな面を書き出してお	時間	45 分
------	---	----	------

	く。 また、「日本人とヨーロッパ人は何が違うか」思いついたことを書き留めておく。		
事後学習	ナンバ式骨体操を1日5分程度、練習前に行う。 身体の変化、メンタルの変化に気づいたことあれば、書き留めておく。	時間	45 分

2.ナンバの基礎～自分を知る②睡眠の質と得意な活動時間帯

すぐに良質な睡眠へ入れる方法。

自分の体質を調べる簡易テストを行う。

事前学習	授業でお渡しするシートを使い、一週間の時間の使い方を、生活しながらノートに記録してみる。	時間	45 分
事後学習	ナンバ式骨体操を1日5分程度、練習前または就寝前に行う。身体の変化や、自分のスケジュールリングに気づいたことがあれば、その旨ノートに記録しておく。	時間	45 分

3.ナンバの基礎～自分を知る③欲求の段階と有意な感覚

自分を知る気質テストを行う

事前学習	人間関係について、思い出してみる。 苦手な人がいれば、なぜ苦手なのかノートに書き出してみる。	時間	45 分
事後学習	ナンバ式骨体操を毎日5分以上、起床時や練習前後、または就寝前、思い出した時に取り組む。 自分自身について、以前よりよく知れたことがあれば、ノートに書き留めておく。	時間	45 分

4.ナンバの基礎～④快と不快2

「心技体」のバランスを取る

事前学習	ナンバ 12 の骨体操について、覚えていないところや、よく理解していないものがないか、チェックしておく。	時間	45 分
事後学習	身体の「快と不快」の声を聞くことは、実は自分自身の声を聞く訓練だったことに気づいた例があれば、ノートに書き留めておく。 ナンバ式骨体操を、自分のスケジュールの中に埋め込む。	時間	45 分

5.ナンバ 12 の骨体操と 7 つのムーブメント①

事前学習	音楽之友社出版「ヴァイオリン骨体操」または 「ピアノ骨体操」を参考に、自分の「7つのムーブメント」の効果をいくつか考えてみる。	時間	45 分
事後学習	ナンバ式骨体操を自分の生活の中に取り入れる。 授業で行った「7つのムーブメント」の中で好きだったものはどれか。また、苦手なものはどれかをノートに書き留めておく。 生活の中で、好きな時に好きなムーブメントを好きな時間だけ行ってみる。	時間	45 分

6.ナンバ 12 の骨体操と 7 つのムーブメント②

事前学習	体操効果が演奏に現れていたら、ノートに書き留めておく。	時間	45 分
------	-----------------------------	----	------

事後学習	授業で行ったムーブメントの応用が、演奏にどのように効果をもたらしたのか、書き留めておく。 骨体操を行う。	時間	45 分
------	---	----	------

7.ナンバ 12 の骨体操と 7 つのムーブメント③

事前学習	第 2 回目の授業で行ったスケジュールの書き出しを、もう一度行ってみる。	時間	45 分
事後学習	コンクール、本番に向けての賢いスケジュールを考えてみる。骨体操を行う。	時間	45 分

8.関節のお手入れ①手指

事前学習	演奏での苦手な動きをピックアップしておく	時間	45 分
事後学習	授業で行った「手指の関節のお手入れ」を行ってから、先にピックアップしていた演奏の動きをすると、変化があったかどうか。 気に入った体操はノートに書き留めておく。 骨体操を行う。	時間	45 分

9.皮膚感覚、紐トレ

事前学習	2 メートルくらいの紐を用意してください。身体に結んだり巻いたりします。百円ショップの「エプロン紐」などがちょうど良いです。 「皮膚」の役割について、自分なりに普段どんなことを感じているか考えてみる。 前回授業の事前学習と同じように、演奏での苦手な動きをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	授業で行った紐・皮膚感覚の話で、自分の演奏に活かそうと思ったことがあれば、ノートに書き留めておく。	時間	45 分

10.「気」を下げる(日本の動き1)

事前学習	「上がって」しまった時の身体の状態を、なるべく具体的に思い出しておく。	時間	45 分
事後学習	自分の練習のために取り入れたいと思った動きがあれば、ノートに書き留めておく。 骨体操を行う。	時間	45 分

11.呼吸法、瞑想、

全身を繋げる

事前学習	自分の日々の練習を振り返ってどんなことが良くなりたいか考える。ノートに自分の至らないことを書き留めておく。	時間	45 分
事後学習	呼吸が変わり、どのような心身の変化を感じたか、書き留めておく。骨体操を行う。	時間	45 分

12.椅子と上手く付き合う

事前学習	座奏で困っていることを書き出しておく	時間	45 分
事後学習	これからの座奏の際に、取り組もうと思った体操や心掛け、または必要な道具など考えたことをノートに書き留めておく。	時間	45 分

	骨体操を行う。		
--	---------	--	--

13.日本の動き2

事前学習	今までの授業内容を更に深めたい事柄や、もう一度授業してもらいたいことあればノートに書き留めて、先生にメールする。 骨体操を行う。	時間	45 分
事後学習	授業で扱った日本の動きをした後では、演奏のしやすさに変化はあったか？ 気に入った動きがあれば、書き留めておく。 骨体操を行う。	時間	45 分

14.メンタルアップ文字トレーニング

事前学習	自分の本番を振り返って、どんなことが良くなりたいか考える。 ノートに書き留めておく。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を聞いて、これから取り組んでみようと思ったことを書き出しておく。 例)・筆跡に気をつけて、日記をつけてみようと思った。 ・毎日、小筆ペンで自分の名前を書いてみようと思った。 骨体操を行う。	時間	45 分

15.関節のお手入れ②顎関節、頸椎、背骨

金と銀の油性ペンを使います

事前学習	金と銀の油性ペンを用意して下さい。ペンは、授業を見た後で購入するのでも構いません。 骨体操、日本の動きを思い出しておく。 今までの授業内容で演奏に活かされたことがあれば、ノートに書き留めておく。先生にメールする。	時間	45 分
事後学習	日本人とヨーロッパ人の違いは何か、考えてみる。自分に足りないものは、なんだろうか。 骨体操を行う。	時間	45 分

【授業展開と内容-後期】

1.ナンバの応用～流れの良い身体を作る①思考・感情・意志

事前学習	シラバスを読んで、意欲的に継続して出席できそうか、確認しておく。 「練習ノート」と「小筆ペン」を用意のこと。 自分の演奏姿を予め録画しておく。 録画は自分の「前から」「後ろから」「横から」可能であれば「上から」を撮っておく。それを観て、自分の理想通りの動きだったかどうか、考えて練習ノートに書き留めておく。 「日本人」と「ヨーロッパ人」の違いはどんなことか、思いっただけ書き出してお	時間	45 分
------	---	----	------

	く。		
事後学習	授業で行った動きでどのように身体に変化が起きたかを、ノートに書き留めておく。 毎日5分、身体に向き合う時間を作る。	時間	45 分

2. ナンバの応用～流れの良い身体を作る②

「立つ」は「立ち続ける」という動作

事前学習	「良い立ち方」について、今までどのように意識していたか、書き出しておく。	時間	45 分
事後学習	授業を受けて身体の変化はあったかどうか、練習ノートに書き留めておく。 毎日5分、身体に向き合う時間を作る。	時間	45 分

3. ナンバの応用～流れの良い身体を作る③呼吸

事前学習	「演奏の呼吸」について、今までどのように意識していたか、書き出しておく。	時間	45 分
事後学習	演奏の呼吸について、授業を受けて自分なりに気づいたことを書き留めておく。 毎日5分、身体に向き合う時間を作る。	時間	45 分

4. 筆跡診断と文字トレーニング

事前学習	「小筆ペン」と「コピー用紙3枚」用意のこと。 自分の演奏について、メンタル面で改善したいことあれば、練習ノートに書き留めておく。	時間	45 分
事後学習	授業を受け、取り組みたいことあれば練習ノートに書き留めておく。もしも、欲しい「筆跡トレーニング」の課題あれば、先生にメールする。 毎日5分、身体に向き合う時間を作る。	時間	45 分

5. 母音の響きを味わう

事前学習	母音「あいうえお」は生活の中で、どんなシーンがあるか考えてみる。 「音質」や音楽の「方向性」が良くなりたいと思っている曲をピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	予め選んでおいた曲の、母音を考えてから演奏してみる。 身体に向き合う時間を毎日5分作る。	時間	45 分

6. 「心」を取り出す

事前学習	「気持ち」のせいで「身体」が崩壊し、上手く演奏できなかったことはないだろうか。 演奏の時に「こんなメンタルが欲しい」と普段から思っていることを、練習ノートに書き出しておく。	時間	45 分
事後学習	自分を整える「セリフ」を決める。 本番に試してみる。 身体に向き合う時間を毎日5分作る。	時間	45 分

7. 子音の所作を味わう

事前学習	日本の歌と、ヨーロッパの歌(授業ではドイツ語のリートを 사용합니다)の違いは何か、考えておく。 演奏の仕方を悩んでいる曲またはパッセージをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	「日本人節」「日本人癖」が、自分になかったらどうか。なぜ演奏しづらかったのか、気がついたことをノートに書き留めておく。 予め選んでおいた曲に、子音を入れて演奏してみる。 身体に向き合う時間を毎日5分作る。	時間	45 分

8.直線の動き

事前学習	「直線的だな」と思うメンタルや曲の部分を考える。	時間	45 分
事後学習	直線で動いて得られたメンタルや身体感覚はあるか？気がついたことをノートに書き留めておく。 身体に向き合う時間を毎日5分作る。	時間	45 分

9.曲線の動き

事前学習	「曲線的だな」と思うメンタルや曲を考える	時間	45 分
事後学習	曲線で動いて得られたメンタルや身体感覚はあるか？気がついたことをノートに書き留めておく。 身体に向き合う時間を毎日5分作る。	時間	45 分

10.音程の所作を味わう

事前学習	「もっと歌って演奏したい」と解決を模索している作品を予め決めておく。	時間	45 分
事後学習	予め用意していた自分の曲に応用してみる。 身体に向き合う時間を毎日5分作る。	時間	45 分

11.リズムの所作を味わう、メロディーを造形する

事前学習	「もっと音楽的に演奏したい」と解決を模索している作品を予め用意しておく。	時間	45 分
事後学習	リズムのメンタル、音程のメンタル、今までの授業を自分なりに応用してみる。 身体に向き合う時間を毎日5分作る。	時間	45 分

12.魂の体操

事前学習	普段から欲しいメンタルはあるだろうか。	時間	45 分
事後学習	好きだった動きを生活の中で取り入れる。 身体に向き合う時間を毎日5分作る。	時間	45 分

13.音楽を造形する

事前学習	後期の授業を振り返り、もう一度説明を受けたいことがあれば、先生にメールする。	時間	45 分
事後学習	授業を受けて、取り入れたいと思ったことをノートに書き留めておく。	時間	45 分

14.メンタルアップ文字トレーニング

行書で自分のお名前を美しく書く

事前学習	文字を書くことが心身やメンタルに影響があるだろうか？考えてみる。 または、石崎白龍氏の著書を読む。	時間	45 分
------	--	----	------

	石崎白龍著「気がつく自立神経が整う！メンタルアップ文字トレ」		
事後学習	これから取り組んでみようと思ったことがあれば、ノートに書き留めておく。	時間	45 分

15.健康で過ごすためのいくつかの知恵

事前学習	健康のことで困っていることがあれば、事前に先生にメールする。 例)花粉症、咳、喉の痛み	時間	45 分
事後学習	自分の演奏姿をまた録画してみる。 第一回目の授業の頃と比べて、よくなったことがあれば、どうしてそうなったか、わかる範囲でノートに書き留めておく。	時間	45 分

【オフィスアワー】

授業期間内は、いつでもメールにて受け付ける。質問の内容によっては、動画や資料を添付することもある。

【テキスト】

1.みるみる音が変わる！ヴァイオリン骨体操 矢野龍彦・遠藤記代子、共著 2017 年 ¥2,035 9784276144149

備考:価格は 2025 年 1 月現在

2.音が変わる！演奏が楽になる！ピアノ骨体操 矢野龍彦・須関裕子、共著 2018 年 ¥2,035 9784276148048

備考:価格は 2025 年 1 月現在

3.気がつく自律神経が整う！

メンタルアップ文字トレ 石崎白龍著、小林弘幸監修 2023 年 ¥1,650 4198656126

【その他】

服装:動くやすく、汗を書いても大丈夫なもの。室内であれば、靴下推奨。

持ち物:練習ノート、筆記用具、汗ふきタオル、飲み水、小筆ペン(PILOT 瞬筆・小筆～柔らかめ～)、紐(百円ショップのエブリオン紐など、2メートル程度)、金と銀の油性ペン

問い合わせ:各自の桐朋ドメインアドレスから、endo.kiyoko@g.tohomusic.ac.jp へ、メールを送ること。オンライン配信となる。

体育実技 3 音楽家のための身体トレーニング α (前期), β (後期)					
担当教員	荒巻 由紀 講師	曜日時限		月 2 時限	
実施キャンパス	仙川	単位	各 1 単位	対象年次	学部 1 年～

【授業の概要】

本授業の目的は、

- ①基本的な身体構造(しくみ)とその機能(はたらき)を理解し、イメージすること、
- ②①を踏まえて自分の身体をイメージ通りに動かすと同時に、イメージ通りに動く身体を目指すこと、である。

その手段として、ボディ・マッピングやボディコンディショニング、スポーツ、ダンス、武術、格闘技、ナンバ的動作等における多様な身体操作法を用いる。

上記の目的は、音楽家・演奏家である皆さんが、理想のパフォーマンスを目指す上で重要なことである。

【到達目標】

1. 普段あたり前のように存在する自分の身体を、知的かつ感覚的に捉え直す。
2. 1を踏まえて身体意識を強化することで、心身に変化をもたらし、あらゆるパフォーマンスの質を向上させる。
3. 2に関する創意工夫を各自が自律して永続的に続け、物事の本質や人間としての豊かさを追求することを楽しむ。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

本授業は、対面による講義と実技(理論と実践)の混合ワークショップ形式で行う。

※履修制限数は前後期それぞれ 25 名ほど。制限人数を超える場合は、前後期初回対面オリエンテーションにて人数調整の抽選(教職必修の 4 年生を優先)を行う。

【授業の形式】

本授業は、対面による講義と実技(理論と実践)の混合ワークショップ形式で行う。学期の後半からはショートプレゼンテーションを実施する。

※授業に関する連絡(オンデマンド授業を含む)のツールとして GoogleClassroom を使用するので、履修者は必ず登録すること。詳細は初回オリエンテーションにて説明する。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	10%	90%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業時や、学期末のまとめの時などに、口頭やコメントシートなどを用いてフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1.4 月 6 日 (月) ※対面授業

前期初回オリエンテーション

履修者が 25 名を超える場合は、人数調整の抽選を行う。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、対面授業が一斉中断した場合は、GoogleClassroom によるオンライン授業に切り替える。

事前学習	シラバスを読んで、意欲的に継続して出席できるか確認しておく。	時間	30 分
事後学習	授業で学んだことを、日常生活や音楽活動における自分の姿勢や動作に応用していく。	時間	60 分

2.4 月 13 日 (月) ※対面授業 「身体イメージの書き換え」

事前学習	前回の授業内容を振り返ったり、配布資料の内容を確認しておく。	時間	30 分
事後学習	授業で学んだことを、日常生活や音楽活動における自分の姿勢や動作に応用していく。	時間	60 分

3.4 月 20 日 (月) ※対面授業 「身体イメージの書き換え」

事前学習	前回の授業内容を振り返ったり、配布資料の内容を確認しておく。	時間	30 分
事後学習	授業で学んだことを、日常生活や音楽活動における自分の姿勢や動作に応用していく。	時間	60 分

4.4 月 27 日 (月) ※対面授業 「安定の捉えなおし」「身体ほぐしと呼吸」

事前学習	前回の授業内容を振り返ったり、配布資料の内容を確認しておく。	時間	30 分
事後学習	授業で学んだことを、日常生活や音楽活動における自分の姿勢や動作に応用していく。	時間	60 分

5.5 月 11 日 (月) ※対面授業 「イメージ通りの姿勢・動作の習得①(N ポジション)」

事前学習	前回の授業内容を振り返ったり、配布資料の内容を確認しておく。	時間	30 分
事後学習	授業で学んだことを、日常生活や音楽活動における自分の姿勢や動作に応用していく。	時間	60 分

6.5 月 18 日 (月) ※対面授業 「イメージ通りの姿勢・動作の習得②(体癖の修正)」

事前学習	前回の授業内容を振り返ったり、配布資料の内容を確認しておく。	時間	30 分
事後学習	授業で学んだことを、日常生活や音楽活動における自分の姿勢や動作に応用していく。	時間	60 分

7.5 月 25 日 (月) ※対面授業 「イメージ通りの姿勢・動作の習得③(バランス)」

事前学習	前回の授業内容を振り返ったり、配布資料の内容を確認しておく。	時間	30 分
事後学習	授業で学んだことを、日常生活や音楽活動における自分の姿勢や動作に応用していく。	時間	60 分

8.6 月 1 日 (月) ※対面授業 「イメージ通りの姿勢・動作の習得④(関節の捉えなおし)」

事前学習	前回の授業内容を振り返ったり、配布資料の内容を確認しておく。	時間	30 分
事後学習	授業で学んだことを、日常生活や音楽活動における自分の姿勢や動作に応用していく。	時間	60 分

	用していく。		
--	--------	--	--

9.6月8日(月)※対面授業「イメージ通りの姿勢・動作の強化①(背骨)」

事前学習	前回の授業内容を振り返ったり、配布資料の内容を確認しておく。	時間	30分
事後学習	授業で学んだことを、日常生活や音楽活動における自分の姿勢や動作に応用していく。	時間	60分

10.6月15日(月)※対面授業「イメージ通りの姿勢・動作の強化②(骨盤～股関節など)」

ショートプレゼンテーション

事前学習	前回の授業内容を振り返ったり、配布資料の内容を確認しておく。	時間	30分
事後学習	授業で学んだことを、日常生活や音楽活動における自分の姿勢や動作に応用していく。	時間	60分

11.6月22日(月)「イメージ通りの姿勢・動作の強化③(肩甲骨など)」全身における力の導線

ショートプレゼンテーション

事前学習	前回の授業内容を振り返ったり、配布資料の内容を確認しておく。	時間	30分
事後学習	授業で学んだことを、日常生活や音楽活動における自分の姿勢や動作に応用していく。	時間	60分

12.6月29日(月)※対面授業「局所運動から全身運動へ①前後②左右」

ショートプレゼンテーション

事前学習	前回の授業内容を振り返ったり、配布資料の内容を確認しておく。	時間	30分
事後学習	授業で学んだことを、日常生活や音楽活動における自分の姿勢や動作に応用していく。	時間	60分

13.7月6日(月)※オンデマンド授業を予定「局所運動から全身運動へ③上下④前面後面」

事前学習	前回の授業内容を振り返ったり、配布資料の内容を確認しておく。	時間	30分
事後学習	授業で学んだことを、日常生活や音楽活動における自分の姿勢や動作に応用していく。	時間	60分

14.7月13日(月)※対面授業「局所運動から全身運動へ⑤螺旋」

ショートプレゼンテーション

事前学習	前回の授業内容を振り返ったり、配布資料の内容を確認しておく。	時間	30分
事後学習	授業で学んだことを、日常生活や音楽活動における自分の姿勢や動作に応用していく。	時間	60分

15.7月20日(月)※対面授業「まとめと振り返り」

ショートプレゼンテーション

事前学習	前回の授業内容を振り返ったり、配布資料の内容を確認しておく。	時間	30分
事後学習	授業で学んだことを、日常生活や音楽活動における自分の姿勢や動作に応用していく。	時間	60分

【授業展開と内容-後期】

1.9 月 14 日(月)

後期初回オリエンテーション ※対面授業

履修者が 25 名を超える場合は、人数調整の抽選を行います。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、対面授業が一斉中断した場合は、GoogleClassroom によるオンライン授業に切り替えます。

事前学習	シラバスを読んで、意欲的に継続して出席できるか確認しておく。	時間	30 分
事後学習	授業で学んだことを、日常生活や音楽活動における自分の姿勢や動作に応用していく。	時間	60 分

2.9 月 21 日(月)※対面授業「身体イメージの書き換え」

事前学習	前回の授業内容を振り返ったり、配布資料の内容を確認しておく。	時間	30 分
事後学習	授業で学んだことを、日常生活や音楽活動における自分の姿勢や動作に応用していく。	時間	60 分

3.9 月 28 日(月)※対面授業「身体イメージの書き換え」

事前学習	前回の授業内容を振り返ったり、配布資料の内容を確認しておく。	時間	30 分
事後学習	授業で学んだことを、日常生活や音楽活動における自分の姿勢や動作に応用していく。	時間	60 分

4.10 月 5 日(月)※対面授業「安定の捉えなおし」「身体ほぐしと呼吸」

事前学習	前回の授業内容を振り返ったり、配布資料の内容を確認しておく。	時間	30 分
事後学習	授業で学んだことを、日常生活や音楽活動における自分の姿勢や動作に応用していく。	時間	60 分

5.10 月 19 日(月)※対面授業「イメージ通りの姿勢・動作の習得①(N ポジション)」

事前学習	前回の授業内容を振り返ったり、配布資料の内容を確認しておく。	時間	30 分
事後学習	授業で学んだことを、日常生活や音楽活動における自分の姿勢や動作に応用していく。	時間	60 分

6.10 月 26 日(月)※対面授業「イメージ通りの姿勢・動作の習得②(体癖の修正)」

事前学習	前回の授業内容を振り返ったり、配布資料の内容を確認しておく。	時間	30 分
事後学習	授業で学んだことを、日常生活や音楽活動における自分の姿勢や動作に応用していく。	時間	60 分

7.11 月 2 日(月)※対面授業「イメージ通りの姿勢・動作の習得③(バランス)」

事前学習	前回の授業内容を振り返ったり、配布資料の内容を確認しておく。	時間	30 分
事後学習	授業で学んだことを、日常生活や音楽活動における自分の姿勢や動作に応用していく。	時間	60 分

8.11 月 9 日(月)※対面授業「イメージ通りの姿勢・動作の習得④(関節の捉えなおし)」

事前学習	前回の授業内容を振り返ったり、配布資料の内容を確認しておく。	時間	30 分
事後学習	授業で学んだことを、日常生活や音楽活動における自分の姿勢や動作に応用していく。	時間	60 分

	用していく。		
--	--------	--	--

9.11月16日(月)※対面授業「イメージ通りの姿勢・動作の強化①(背骨)」

事前学習	前回の授業内容を振り返ったり、配布資料の内容を確認しておく。	時間	30分
事後学習	授業で学んだことを、日常生活や音楽活動における自分の姿勢や動作に応用していく。	時間	60分

10.11月23日(月)※対面授業「イメージ通りの姿勢・動作の強化②(骨盤～股関節など)」ショートプレゼンテーション

事前学習	前回の授業内容を振り返ったり、配布資料の内容を確認しておく。	時間	30分
事後学習	授業で学んだことを、日常生活や音楽活動における自分の姿勢や動作に応用していく。	時間	60分

11.11月30日(月)※対面授業「イメージ通りの姿勢・動作の強化③(肩甲骨など)」ショートプレゼンテーション

事前学習	前回の授業内容を振り返ったり、配布資料の内容を確認しておく。	時間	30分
事後学習	授業で学んだことを、日常生活や音楽活動における自分の姿勢や動作に応用していく。	時間	60分

12.12月7日(月)※対面授業「局所運動から全身運動へ①前後②左右」

ショートプレゼンテーション

事前学習	前回の授業内容を振り返ったり、配布資料の内容を確認しておく。	時間	30分
事後学習	授業で学んだことを、日常生活や音楽活動における自分の姿勢や動作に応用していく。	時間	60分

13.12月14日(月)※対面授業「局所運動から全身運動へ⑤螺旋」

ショートプレゼンテーション

事前学習	前回の授業内容を振り返ったり、配布資料の内容を確認しておく。	時間	30分
事後学習	授業で学んだことを、日常生活や音楽活動における自分の姿勢や動作に応用していく。	時間	60分

14.12月21日(月)※オンデマンド授業を予定「局所運動から全身運動へ③上下④前面後面」

事前学習	前回の授業内容を振り返ったり、配布資料の内容を確認しておく。	時間	30分
事後学習	授業で学んだことを、日常生活や音楽活動における自分の姿勢や動作に応用していく。	時間	60分

15.1月19日(月)※対面授業「まとめと振り返り」

ショートプレゼンテーション

事前学習	前回の授業内容を振り返ったり、配布資料の内容を確認しておく。	時間	30分
事後学習	授業で学んだことを、日常生活や音楽活動における自分の姿勢や動作に応用していく。	時間	60分

【オフィスアワー】

木曜 14:30～15:30 体育センター1階教員室

【その他】

本授業についての問い合わせは、aramaki.yuki@g.tohomusic.ac.jp へ各自の桐朋ドメインアドレスから送ること。

体育実技 4 心身コントロール α (前期), β (後期)					
担当教員 秦 江里奈 講師			曜日時限		火 5 時限
実施キャンパス	仙川	単位	各 1 単位	対象年次	学部 1 年～

【授業の概要】

＜音楽家のための心身コントロール＞

自分自身のことは意外にも分からないことばかりである。ましてや自分の脳部位、骨や関節、心の中など、見て確認することは不可能であり、認識すら定かではない。この授業では ①脳科学的視点から見る演奏について ②メンタル強化 ③ナンバ術による自己の快・不快の認知と演奏時の理想の身体の使い方、骨と関節、筋肉を知る ④表現について、など。まずは自分自身と対話が出来るよう上記の項目を追及していく。

【到達目標】

授業テーマ①②③④は演奏者にとって全ての要素が関連しあっているものである。授業終盤での試演会にて、半期で多少なりとも様々なことを認識して演奏しているかどうか。練習、演奏による身体の痛みがある学生の改善がみられるかどうか。緊張時の自分の状態の分析を踏まえて、今後のためその改善方法を見いだせるかどうか。授業を終えてセルフコントロールができるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

特になし

【授業の形式】

遠隔授業形式。Google クラスルームに授業録画動画の URL を載せる。それを視聴し、Google フォームに配信した課題を締め切りまでに記入後出席となる。ただし、第1回目は対面でも行う。前期は第10回、第11回目、後期は第14回目、15回目は対面で履修者の試験曲の試演会を仙川教室で行う。試験日、参加人数、状況により変動する場合がある。(対面に参加しない学生は Google フォームの課題提出にて出席扱いとなる。)履修希望者は第1回目の添付資料より Google クラスルームに直接登録するか、担当教員に直接メールをして履修の意思表示をすること。なお、この授業は半期で完結するため、原則的に後期からは再履修不可。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	60%	40%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目に基づき S, A, B, C, D で評価する。

Google フォーム記入で出席となります。第1回目、試演会に参加、聴講された方は記入なしで出席となります。(動画はご覧ください) 欠席3回までは単位取得できます。

【課題に対するフィードバックの方法】

基本的にはメール、またはクラスルーム内でのやり取り。対面授業時でも口頭で行う。

【授業展開と内容-前期】

1.対面授業 オリエンテーションと自己紹介

初回はクラスルームに提示いたします教室(仙川)にお集まりください。いらした方には第1、2回目の出席は Google フォーム記入なしで出席となります。

同時に動画配信もいたします。 脳のおはなし第1回目 (No.1, No.2 脳の概要、ゲーム脳、脳梁、他)

事前学習	自己紹介とは立派な自己との対話のいい機会でもある。自分自身に問いかけ、長所や短所、自分の好みなど自分自身と対話を試みよう。	時間	40 分
事後学習	授業動画 No.2 の手遊び歌の左右違う形でのバージョンをマスターしてみる。	時間	50 分

2.遠隔授業 脳のおはなし第2回目動画配信 (No.1, No.2 音がどのようにして耳につたわるか、他の動物との比較 他)

事前学習	授業動画 No.2 のムスキート音は何ヘルツまで聞こえたかを Google フォームに記入する。	時間	45 分
事後学習	音がどのようにして我々の耳に伝わっているのか、もう一度復習する。	時間	45 分

3.遠隔授業 脳のおはなし第3回目動画配信 (脳に伝わった音楽がどのような作業をして認識するのか 「脳はオーケストラ」「譜読み、仕上げ、暗譜時の脳のはたらきを知る」)

事前学習	もう一度前回の授業動画を視聴し、特に図の部分をよく復習する。	時間	50 分
事後学習	音楽がどのような回路を伝わって我々が認識するのかを復習する。	時間	40 分

4.遠隔授業 脳のおはなし第4回目動画配信 (脳に伝わった音楽がどのような作業をして認識するのか 「初見、即興演奏時の脳のはたらきを知る」)

事前学習	実際に初見、即興演奏を必ず実践してからこの動画を視聴すること。	時間	45 分
事後学習	動画を視聴後、また初見、即興演奏を行う。自分の困難だった点(初見時の指使い、即興時の自分の中のストックなど) Google フォームに記入する。	時間	45 分

5.遠隔授業 動画配信 楽観脳と悲観脳 No.1 と No.2 脳内物質の働き。簡単な自己分析テストを交えながら、より有意義な人生を歩むための心のあり方を探る

事前学習	自己と向き合い、過去での失敗した時などの出来事(演奏に限らず)自分の状況を思い起こし、その時の感情、反省、その後の改善などをノートに書き起こしてみる。	時間	45 分
事後学習	自己と向き合い、過去での失敗した時などの出来事(演奏に限らず)自分の状況を思い起こし、その時の感情、反省、その後の改善などをノートに書き起こしてみる。	時間	45 分

6.遠隔授業 動画配信 楽観脳と悲観脳 No.3 と No.4 脳内物質の働き。簡単な自己分析テストを交えながら、より有意

義な人生を歩むための心のあり方を探る

事前学習	自分にとっての悲観のバイアスの原因は何かを探り、それを軽減するための改善方法を考察する。	時間	45 分
事後学習	自己分析テストをノートに記入し、自己との対話の中から今後の改善案を考察。家族、友人にも試してみて話し合う。	時間	45 分

7.遠隔授業 動画配信 潜在意識「ゾーンにはいるとは」No.1

事前学習	過去の自分の本番の中で最もよかった時のことを思い出し、曲目、それに至るまでの仕上げまでの経緯、またその日の朝からの行動(何を食べたのかなど)や精神状態などを可能な限り記憶を思い起こし詳細にノートに記す。	時間	45 分
事後学習	過去の自分の本番の中で最も悪かった時のことを思い出し、何が原因か、何の雑音が潜在意識に入り込んだのかを考える。	時間	45 分

8.遠隔授業 動画配信 潜在意識「ゾーンにはいるとは」No.2

事前学習	先週配布した自分記録に記入をする。	時間	45 分
事後学習	授業動画内のピラミッド型の自己目標の表をよく考察の上作成する。	時間	45 分

9.遠隔授業 動画配信 ナンバ術による心身コントロール (ナンバ術の概要と自己との対話へのヒント)

事前学習	普段の無意識での動きを意識下に変えてみる。(歯磨きをする時ではどの部位の収縮とどの関節からの指令で動いているのか、など)	時間	45 分
事後学習	演奏時、自分の音色を何種類も出してみる。(悪い音も) 意識を持って聴き、その時の動きを観察する。どの部位が力んでいるか、またはどの関節からの動きなのかを考察する。	時間	45 分

10.対面授業 みなさんの試験曲の試演会 身体の動きの視点から教員のアドバイス

動画配信 ナンバ術 実践動画 No.1「12の骨体操」 No.2「7つのムーブメント」 No.3「音楽付き7つのムーブメント」

事前学習	ラジオ体操をして、前後左右の同じ動きで、どちらが自分にとって「快」であるかを知る。	時間	45 分
事後学習	必ず本日のナンバ体操を実施し、より「快」を確たるものとして認識できるようにする。	時間	45 分

11.対面授業 試験曲の試演会 身体の動きの視点から教員のアドバイス

動画配信 骨と関節を知る No.1

事前学習	練習前にナンバ体操の実践を続け、練習後の自己の身体がどのように変化したかを観察する。	時間	45 分
事後学習	本日の動画を見ながら、実際に触れる自分の骨、関節を触ってみて、身体の動き(骨体操)とともにどのような動きをしているのかを観察する。	時間	45 分

12.対面授業未定 試演会 身体の動きの視点から教員のアドバイスとナンバ体操

動画配信 骨と関節を知る No.2

事前学習	自分の演奏の録画をする。	時間	45 分
事後学習	自分の演奏録画を身体の使い方の視点から視聴し、特にプレスに留意して観察する。また跳躍時の動き(力みやどこからの指令で動いたか考察する。)姿勢など気になったところをノートに記す。	時間	45 分

13.遠隔授業 動画配信 動きへの改善案

事前学習	身体からの痛みの訴えはないか、今一度自己と対話し、ある場合は教員にクラスルームより連絡のこと。	時間	45 分
事後学習	本日の動画のエクササイズを実践する。	時間	45 分

14.遠隔授業 動画配信 ナンバ式のいろいろ No.1

事前学習	引き続き先週のエクササイズの実践とそれによって指先の楽器への圧の変化を考察する。	時間	45 分
事後学習	第 8 回の事後学習で書いた自己目標の修正を行う。特に短期の欄を書き換える。	時間	45 分

15.遠隔授業 動画配信 ナンバ式のいろいろ No.2 授業のまとめ

事前学習	この授業を振り返り、半期で何か変化した点、まだ不可解な点などをノートに書く。	時間	45 分
事後学習	今一度身体の連動ということを意識し、本日の動画をヒントに、ひとつの動きにより普段意識していない関節、筋肉も連動しているその部位を触りながら自己との身体の対話をする。	時間	45 分

【授業展開と内容-後期】

1.対面授業 オリエンテーションと自己紹介

初回はクラスルームに提示いたします教室(仙川)にお集まりください。いらした方には第1、2回目の出席は Google フォーム記入なしで出席となります。

同時に動画配信もいたします。

動画配信 脳のおはなし第1回目(No.1,No.2 大脳の概要、ゲーム脳、脳梁、他)

事前学習	自己紹介とは立派な自己との対話のいい機会でもある。自分自身に問いかけ、長所や短所、自分の好みなど自分自身と対話を試みよう。	時間	40 分
事後学習	授業動画 No.2 の手遊び歌の左右違う形でのバージョンをマスターしてみる。	時間	50 分

2.遠隔授業 脳のおはなし第2回目動画配信(No.1,No.2 音がどのようにして耳につたわるか、他の動物との比較 他)

事前学習	授業動画 No.2 のムスキート音は何ヘルツまで聞こえたかを Google フォームに記入する。	時間	45 分
事後学習	音がどのようにして我々の耳に伝わっているのか、もう一度復習する。	時間	45 分

3.遠隔授業 脳のおはなし第3回目動画配信(脳に伝わった音楽がどのような作業をして認識するのか 「脳はオーケストラ」「譜読み、仕上げ、暗譜時の脳のはたらきを知る」)

事前学習	もう一度前回の授業動画を視聴し、特に図の部分をよく復習する。	時間	50 分
事後学習	音楽がどのような回路を伝わって我々が認識するのかを復習する。	時間	40 分

4.遠隔授業 脳のおはなし第4回目動画配信(脳に伝わった音楽がどのような作業をして認識するのか 「初見、即興演奏時の脳のはたらきを知る」)

事前学習	実際に初見、即興演奏を必ず実践してからこの動画を視聴すること。	時間	45 分
事後学習	動画を視聴後、また初見、即興演奏を行う。自分の困難だった点(初見時の指使い、即興時の自分の中のストックなど)Google フォームに記入する。	時間	45 分

5.遠隔授業 動画配信 楽観脳と悲観脳 No.1 とNo.2 脳内物質の働き。簡単な自己分析テストを交えながら、より有意義な人生を歩むための心のあり方を探る

事前学習	自己と向き合い、過去での失敗した時などの出来事(演奏に限らず)自分の状況を思い起こし、その時の感情、反省、その後の改善などをノートに書き起こしてみる。	時間	45 分
事後学習	自己と向き合い、過去での失敗した時などの出来事(演奏に限らず)自分の状況を思い起こし、その時の感情、反省、その後の改善などをノートに書き起こしてみる。	時間	45 分

6.遠隔授業 動画配信 楽観脳と悲観脳 No.3 とNo.4 脳内物質の働き。簡単な自己分析テストを交えながら、より有意義な人生を歩むための心のあり方を探る

事前学習	自分にとっての悲観のバイアスの原因は何かを探り、それを軽減するための改善方法を考察する。	時間	45 分
事後学習	自己分析テストをノートに記入し、自己との対話の中から今後の改善案を考察。家族、友人にも試してみて話し合う。	時間	45 分

7.遠隔授業 動画配信 潜在意識「ゾーンにはいるとは」No.1

事前学習	過去の自分の本番の中で最もよかった時のことを思い出し、曲目、それに至るまでの仕上げまでの経緯、またその日の朝からの行動(何を食べたのかなど)や精神状態などを可能な限り記憶を思い起こし詳細にノートに記す。	時間	45 分
事後学習	過去の自分の本番の中で最も悪かった時のことを思い出し、何が原因か、何の雑音が潜在意識に入り込んだのかを考える。	時間	45 分

8.遠隔授業 動画配信 潜在意識「ゾーンにはいるとは」No.2

事前学習	先週配布した自分記録に記入をする。	時間	45 分
事後学習	授業動画内のピラミッド型の自己目標の表をよく考察の上作成する。	時間	45 分

9.遠隔授業 動画配信 ナンバ術による心身コントロール (ナンバ術の概要と自己との対話へのヒント)

事前学習	普段の無意識での動きを意識下に変えてみる。(歯磨きをする時ではどの部位の収縮とどの関節からの指令で動いているのか、など)	時間	45 分
事後学習	演奏時、自分の音色を何種類も出してみる。(悪い音も) 意識を持って聴き、その時の動きを観察する。どの部位が力んでいるか、またはどの関節からの動きなのかを考察する。	時間	45 分

10.対面授業 みんなの試験曲の試演会 身体の動きの視点から教員のアドバイス

事前学習	ラジオ体操をして、前後左右の同じ動きで、どちらが自分にとって「快」であるかを知る。	時間	45 分
事後学習	必ず本日のナンバ体操を実施し、より「快」を確たるものとして認識できるようにする。	時間	45 分

11.対面授業 試験曲の試演会 身体の動きの視点から教員のアドバイス

動画配信 骨と関節を知る No.1

事前学習	練習前にナンバ体操の実践を続け、練習後の自己の身体がどのように変化したかを観察する。	時間	45 分
事後学習	本日の動画を見ながら、実際に触れる自分の骨、関節を触ってみて、身体の動き(骨体操)とともにどのような動きをしているのかを観察する。	時間	45 分

12.対面授業未定 試演会 身体の動きの視点から教員のアドバイスとナンバ体操

動画配信 骨と関節を知る No.2

事前学習	自分の演奏の録画をする。	時間	45 分
事後学習	自分の演奏録画を身体の使い方の視点から視聴し、特にブレスに留意して観察する。また跳躍時の動き(力みやどこからの指令で動いたか考察する。)姿勢など気になったところをノートに記す。	時間	45 分

13.遠隔授業 動画配信 動きへの改善案

事前学習	身体からの痛みの訴えはないか、今一度自己と対話し、ある場合は教員にクラスルームより連絡のこと。	時間	45 分
事後学習	本日の動画のエクササイズを実践する。	時間	45 分

14.遠隔授業 動画配信 ナンバ式のいろいろ No.1

事前学習	引き続き先週のエクササイズの実践とそれによって指先の楽器への圧の変化を考察する。	時間	45 分
事後学習	第8回の事後学習で書いた自己目標の修正を行う。特に短期の欄を書き換える。	時間	45 分

15.遠隔授業 動画配信 ナンバ式のいろいろ No.2 授業のまとめ

事前学習	この授業を振り返り、半期で何か変化した点、まだ不可解な点などをノートに書く。	時間	45 分
事後学習	今一度身体の連動ということを意識し、本日の動画をヒントに、ひとつの動きにより普段意識していない関節、筋肉も連動しているその部位を触りながら自己との身体の対話をする。	時間	45 分

【オフィスアワー】

基本的にはメール、またはクラスルーム内でのやり取り。対面授業時でも口頭で行う。

【教材】

参考文献

『音が変わる！ 演奏がラクになる！ピアノ骨体操』矢野龍彦、須関裕子 共著 音楽之友社

『みるみる音が変わる！ヴァイオリン骨体操』矢野龍彦、遠藤記代子 共著 音楽之友社

『前向きに考える 演奏家のメンタル強化術』矢野龍彦 著 音楽之友社

体育実技 5 骨盤・肩甲骨からのリラクゼーション α (前期), β (後期)					
担当教員 阿部 史佳 講師			曜日時限		月 4 時限
実施キャンパス	仙川	単位	各 1 単位	対象年次	学部 1 年～

【授業の概要】

良い姿勢とは、全身リラックスし骨格的に最も負担の無い状態である。

それが崩れると、首こり・肩こり・腰痛・疲れやすい・パフォーマンスの低下に繋がる。

本講座では、全身の歪みをリセットするメンテナンス法を学ぶとともに、骨盤・肩甲骨やそれらを取り巻く筋肉をストレッチ・トレーニングすることで、上手な脱力によるパフォーマンスアップで自分だからこそその表現を生み出せる体を作っていく。

【到達目標】

- ①「骨盤を立てる」ができるようになる。
- ② 骨盤・肋骨・肩甲骨の正しい位置を理解し、良い姿勢を作ることができるようになる。
- ③「脱力」ができるようになる。
- ④ それがパフォーマンスアップと大きく関係していると実感できるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

自身の体の癖(猫背、肩こり、骨盤が歪んでいる、右足の方が長い等)と、それを引き起こす日常生活の癖が何なのか、考えておくこと。

【授業の形式】

遠隔(今後コロナの感染状況が落ち着いた場合には対面授業を行うこともあり得る。)

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	30%	70%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に

判断し、S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

提出課題に対しコメントを書き加え返却するとともに、次回授業時にフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1.オリエンテーション

事前学習	自分の姿勢や体の癖の原因はどこから来ているのか、しっかり考えること。	時間	30 分
事後学習	この授業を通して何を学びたいのか、日常生活や演奏時の体を考えて整理しておくこと。 課題提出。	時間	60 分

2.姿勢改善のために～骨格の構造～

・解説編

・ストレッチ編

事前学習	姿勢の癖をチェックすること。 体のどこが硬いのか、自分なりにストレッチして準備しておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で学んだことを、日常生活のどんな場面で実践できるか考えること。 姿勢をチェックすること。 課題提出。	時間	45 分

3.骨盤を立てるために

・骨盤の構造

・腸腰筋の働き

事前学習	生活の中で「骨盤を立てる」を意識すること。 例) 歩行時、着席時、信号待ちの時 姿勢をチェックすること。	時間	45 分
事後学習	骨盤の構造をしっかり理解し、正しい骨盤の立て方を実践すること。 日頃から腸腰筋を使うように意識すること。 例) 歩行時、階段を上る時 姿勢をチェックすること。 課題提出。	時間	45 分

4.骨盤を立てるために～骨盤の可動域を広げる～

・股関節&腰椎ストレッチ

事前学習	骨盤を立てて行動すると、体のどこに力がかかるか、また鍛える必要があるか考えること。 姿勢をチェックすること。	時間	45 分
------	---	----	------

事後学習	骨盤が立てやすくなる為に股関節と腰椎の柔軟性が大切であることを意識し、起立時、着席時、歩行時に考えながら行動すること。 姿勢をチェックすること。 課題提出。	時間	45 分
------	--	----	------

5.骨盤を立てるために～股関節のストレッチ～

事前学習	骨盤が立てやすくなる為に股関節と腰椎の柔軟性が大切であることを意識し、起立時、着席時、歩行時に考えながら行動すること。 姿勢をチェックすること。	時間	45 分
事後学習	常に「骨盤を立てる」を意識すること。 姿勢をチェックすること。 課題提出。	時間	45 分

6.骨盤を立てるために～お尻と内もものトレーニング～

事前学習	骨盤を立てて行動すると、体のどこに力がかかるか、また鍛える必要があるか考えること。 姿勢をチェックすること。	時間	30 分
事後学習	常に「骨盤を立てる」を意識すること。 お尻と内もものトレーニングが何故大切なのか、起立時、着席時、歩行時に考えながら行動すること。 姿勢をチェックすること。 課題提出。	時間	60 分

7.骨盤を立てるために～骨盤矯正ストレッチ～

事前学習	常に「骨盤を立てる」を意識すること。 姿勢をチェックすること。	時間	30 分
事後学習	骨盤矯正ストレッチを1日1回必ず行いながら、「骨盤を立てる」を癖づけること。 姿勢をチェックすること。 課題提出。	時間	60 分

8.肩甲骨を動かす

事前学習	骨盤矯正ストレッチをして、正しく骨盤が立ちやすい状態に準備しておくこと。 姿勢をチェックすること。	時間	30 分
事後学習	肩甲骨まわりがほぐれた体で楽器の練習をし、どのような変化があるか確認すること。 姿勢をチェックすること。 課題提出。	時間	60 分

9.首・胸・肩甲骨ストレッチ

事前学習	自分なりに首・胸・肩甲骨あたりのストレッチをしておくこと。 姿勢をチェックすること。	時間	30 分
事後学習	練習前後に取り入れることで、演奏時にどのような効果が表れるか確認すること。	時間	60 分

	姿勢をチェックすること。 課題提出。		
--	-----------------------	--	--

10.前鋸筋～骨盤から肩甲骨への連動のために～

- ・前鋸筋の構造
- ・骨盤と肩甲骨の連動を考える
- ・ストレッチ・トレーニング

事前学習	前鋸筋がどこにあり、どんな役割があるのか調べておくこと。 姿勢をチェックすること。	時間	30 分
事後学習	脱力に意識を向けて練習し、演奏にどのような変化があるか確認すること。 姿勢をチェックすること。 課題提出。	時間	60 分

11.腹横筋～体幹安定のために～

- ・腹筋群の構造
- ・腹横筋トレーニング・ストレッチ

事前学習	腹横筋がどこにあり、どんな役割があるのか調べておくこと。 姿勢をチェックすること。	時間	30 分
事後学習	骨盤底筋を意識しドローインの練習をすること。 体幹安定すると脱力しやすくなり肩甲骨が自由になる感覚を探すこと。 姿勢をチェックすること。 課題提出。	時間	60 分

12.体幹ストレッチ

- ・腹横筋トレーニング・ストレッチ

事前学習	骨盤を立てて腹横筋を働かせること。 姿勢をチェックすること。	時間	30 分
事後学習	脱力を考えながら楽器の練習をすること。 姿勢をチェックすること。 課題提出。	時間	60 分

13.連動を考えながら動く

- ・全身ストレッチ
- ・骨盤～肩甲骨～腕～指先の連動を考える

事前学習	「体幹が安定し脱力しやすい体」を意識すること。 姿勢をチェックすること。	時間	30 分
事後学習	連動しやすい体を考えながら楽器の練習をし、骨盤～肩甲骨～腕～指先の意識を持つこと。 姿勢をチェックすること。	時間	60 分

	課題提出。		
--	-------	--	--

14.体幹を使う

- ・全身ストレッチ
- ・体幹トレーニング
- ・体幹ストレッチ

事前学習	骨盤からの連動を強く意識すること。 姿勢をチェックすること。	時間	30 分
事後学習	より安定した体幹、骨盤から連動する体で楽器の練習をし、どのような効果・変化があるか確認すること。 姿勢をチェックすること。 課題提出。	時間	60 分

15.全身を開く

- ・深呼吸を意識して骨盤・肋骨・肩甲骨・股関節等の可動域を広げる
- ・凝り固まった部分をほぐして全身開く

事前学習	体幹安定・脱力・骨盤からの連動を意識すること。 姿勢をチェックすること。	時間	30 分
事後学習	骨盤・肋骨・肩甲骨の位置を意識し、姿勢をチェックすること。 脱力に意識を向けて練習し、演奏にどのような変化があるか確認すること。 姿勢をチェックすること。 課題提出。	時間	60 分

【授業展開と内容-後期】

1.オリエンテーション

事前学習	自分の姿勢や体の癖の原因はどこから来ているのか、しっかり考えること。	時間	30 分
事後学習	この授業を通して何を学びたいのか、日常生活や演奏時の体を考えて整理しておくこと。 課題提出。	時間	60 分

2.姿勢改善のために～骨格の構造～

- ・解説編
- ・ストレッチ編

事前学習	姿勢の癖をチェックすること。 また、体のどこが硬いのか、自分なりにストレッチして準備しておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で学んだことを、日常生活のどんな場面で実践できるか考えること。 姿勢をチェックすること。 課題提出。	時間	45 分

3.骨盤を立てるために

・骨盤の構造

・腸腰筋の働き

・ストレッチ

事前学習	生活の中で「骨盤を立てる」を意識してみること。 例) 歩行時、着席時、信号待ちの時 姿勢をチェックすること。	時間	45 分
事後学習	骨盤の構造をしっかりと理解し、正しい骨盤の立て方を実践すること。 日頃から腸腰筋を使うように意識すること。 例) 歩行時、階段を上る時 姿勢をチェックすること。 課題提出。	時間	45 分

4. 骨盤を立てるために～骨盤の可動域を広げる～

・股関節&腰椎ストレッチ

事前学習	骨盤を立てて行動すると、体のどこに力がかかるか、また鍛える必要があるか 考えること。 姿勢をチェックすること。	時間	45 分
事後学習	骨盤が立てやすくなる為に股関節と腰椎の柔軟性が大切であることを意識し、 起立時、着席時、歩行時に考えながら行動すること。 姿勢をチェックすること。 課題提出。	時間	45 分

5. 骨盤を立てるために～股関節ストレッチ～

事前学習	骨盤を立てて行動すると、体のどこに力がかかるか、また鍛える必要があるか 考えること。 姿勢をチェックすること。	時間	45 分
事後学習	骨盤が立てやすくなる為に股関節の柔軟性が大切であることを意識し、起立 時、着席時、歩行時に考えながら行動すること。 姿勢をチェックすること。 課題提出。	時間	45 分

6. 骨盤を立てるために～お尻と内もものトレーニング～

事前学習	骨盤を立てて行動すると、体のどこに力がかかるか、また鍛える必要があるか 考えること。 姿勢をチェックすること。	時間	30 分
事後学習	常に「骨盤を立てる」を意識すること。 お尻と内もものトレーニングが何故大切なのか、起立時、着席時、歩行時に考 えながら行動すること。 姿勢をチェックすること。	時間	60 分

	課題提出。		
--	-------	--	--

7.骨盤を立てるために～骨盤矯正ストレッチ～

事前学習	常に「骨盤を立てる」を意識すること。 姿勢をチェックすること。	時間	30 分
事後学習	骨盤矯正ストレッチを1日1回必ず行いながら、「骨盤を立てる」を癖づけること。 姿勢をチェックすること。 課題提出。	時間	60 分

8.肩甲骨を動かす

・肩甲骨周りの構造

・肩甲骨ストレッチ

事前学習	骨盤矯正ストレッチをして、正しく骨盤が立ちやすい状態に準備しておくこと。 姿勢をチェックすること。	時間	30 分
事後学習	肩甲骨まわりがほぐれた体で楽器の練習をし、どのような変化があるか確認すること。 姿勢をチェックすること。 課題提出。	時間	60 分

9.首・胸・肩甲骨ストレッチ

事前学習	自分なりに首・胸・肩甲骨あたりのストレッチをしておくこと。 姿勢をチェックすること。	時間	30 分
事後学習	練習前後に取り入れることで、演奏時にどのような効果が表れるか確認すること。 姿勢をチェックすること。 課題提出。	時間	60 分

10.前鋸筋～骨盤から肩甲骨への連動のために～

・前鋸筋の構造

・骨盤と肩甲骨の連動を考える

・ストレッチ・トレーニング

事前学習	前鋸筋がどこにあり、どんな役割があるのか調べておくこと。 姿勢をチェックすること。	時間	30 分
事後学習	脱力に意識を向けて練習し、演奏にどのような変化があるか確認すること。 姿勢をチェックすること。 課題提出。	時間	60 分

11.腹横筋～体幹安定のために～

・腹筋群の構造

・腹横筋トレーニング・ストレッチ

事前学習	腹横筋がどこにあり、どんな役割があるのか調べておくこと。 姿勢をチェックすること。	時間	30 分
事後学習	骨盤底筋を意識しドローインの練習をすること。 体幹安定すると脱力しやすくなり肩甲骨が自由になる感覚を探すこと。 課題提出。	時間	60 分

12.体幹ストレッチ

・腹横筋トレーニング・ストレッチ

事前学習	骨盤を立てて腹横筋を働かせること。 姿勢をチェックすること。	時間	30 分
事後学習	脱力を考えながら楽器の練習をすること。 姿勢をチェックすること。 課題提出。	時間	60 分

13.連動を考えながら動く

・全身ストレッチ

・骨盤～肩甲骨～腕～指先の連動を考える

事前学習	「体幹が安定し脱力しやすい体」を意識すること。 姿勢をチェックすること。	時間	30 分
事後学習	連動しやすい体を考えながら楽器の練習をし、骨盤～肩甲骨～腕～指先の意識を持つこと。 姿勢をチェックすること。 課題提出。	時間	60 分

14.体幹を使う

・全身ストレッチ

・体幹トレーニング

・体幹ストレッチ

事前学習	骨盤からの連動を強く意識すること。 姿勢をチェックすること。	時間	30 分
事後学習	より安定した体幹、骨盤から連動する体で楽器の練習をし、どのような効果・変化があるか確認すること。 姿勢をチェックすること。 課題提出。	時間	60 分

15.全身を開く

・深呼吸を意識して骨盤・肋骨・肩甲骨・股関節等の可動域を広げる

・凝り固まった部分をほぐして全身開く

事前学習	体幹安定・脱力・骨盤からの連動を意識すること。	時間	30 分
------	-------------------------	----	------

	姿勢をチェックすること。		
事後学習	全身開きほぐれた体で脱力に意識を向けて練習し、演奏にどのような変化があるか確認すること。 姿勢をチェックすること。 課題提出。	時間	60 分

【オフィスアワー】

遠隔授業である為、メールや Classroom にて常時受け付ける。

体育実技 6 ナンバリズム α (前期), β (後期)					
担当教員	須関 裕子 講師		曜日時限	水 2 時限	
実施キャンパス	仙川	単位	各 1 単位	対象年次	学部 1 年～

【授業の概要】

本授業では、自分の心身と対話をしながら体操し、無理のない、より良い身体の使い方を探っていく。

音楽に合わせて気持ちよく身体を動かし、全身のリズム感を養う。

自分の理想の音が出せるように・理想の音楽が奏でられるように、身体・骨のしくみ等を知り、ナンバの合理的な動きを活用していく。

【到達目標】

身体の使い方を探求し、演奏に活かせるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

履修者は 20 人以内とします。制限人数を超える場合は、オリエンテーションにて人数調整の抽選(上級生を優先)を行います。

【授業の形式】

【対面授業】演習中心

※半期に2～3回、オンライン授業になる日もあります。詳細は初回オリエンテーションにて説明します。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	20%	80%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に

判断し、(S,)A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業時にフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1.オリエンテーション・授業概要の説明

事前学習	自分がリラックスできる方法を見つける。	時間	45 分
事後学習	オリエンテーション内容の復習	時間	45 分

2.心身をほぐす体操の実践

事前学習	演奏時の自分の課題、改善したいことをまとめておく。	時間	45 分
事後学習	授業で体操をして、どのような効果があったかを感じてみる。	時間	45 分

3.骨についてのお話

事前学習	前回の体操で、身体の中のどの部分が変わったのかを思い出す。	時間	10 分
事後学習	授業で学んだ骨の仕組みを復習し、どのように演奏に活かすことができるか、工夫する。	時間	80 分

4.身体の使い方と演奏(オンデマンド予定)

事前学習	好きな演奏家の演奏動画を観る。	時間	45 分
事後学習	演奏時の身体の使い方を工夫する。	時間	45 分

5.骨体操 ～骨盤～

事前学習	演奏時の姿勢・身体の状態がどうなっているかを感じる。	時間	10 分
事後学習	授業で学んだ骨盤の仕組みを復習し、どのように演奏に活かすことができるか、工夫する。	時間	80 分

6.骨体操 ～胸郭～

事前学習	自分の演奏時の胸郭の使い方を感じる。	時間	10 分
事後学習	授業で学んだ胸郭の仕組みを復習し、どのように演奏に活かすことができるか、工夫する。	時間	80 分

7.骨体操 ～股関節・脚～

事前学習	自分の演奏時の脚の使い方を感じる。	時間	45 分
事後学習	授業で学んだ脚や関節の仕組みを復習し、どのように演奏に活かすことができるか、工夫する。	時間	45 分

8.体操をすると、自分がどのように変わるのか？(オンデマンド予定)

事前学習	骨体操の復習をして、演奏する前に実践してみる。	時間	45 分
事後学習	骨体操を実践し、疑問点があればまとめておく。	時間	45 分

9.骨体操まとめ・7つのムーブメントより①

事前学習	これまでの授業で行った中で、自分の気に入った体操を日常に取り入れる。	時間	10 分
事後学習	新しく学んだムーブメントを復習する。	時間	80 分

10.手の骨について・7つのムーブメントより②

事前学習	これまでの体操で疑問点があればまとめておく。	時間	10 分
事後学習	授業で学んだ手の骨の仕組みを復習し、どのように演奏に活かすことができるか、工夫する。	時間	80 分

11.ナンバのステップなどを用い、リズムカルに身体を動かす

事前学習	これまでの授業で行った中で、自分の気に入った体操を演奏前に実践する。	時間	45 分
事後学習	自分が演奏する曲に合わせて、身体を動かしてみる。	時間	45 分

12.心身をほぐす体操と DVD (ピアノ)鑑賞

事前学習	気に入った体操を演奏前に実践する。	時間	45 分
事後学習	授業内の DVD を観て感じたことを、演奏に反映させる。	時間	45 分

13.自分の心と身体をみつめ直す(オンデマンド予定)

事前学習	気に入った体操を演奏前に実践する。	時間	45 分
事後学習	気に入った体操を演奏前に実践する。	時間	45 分

14.心身をほぐす体操と DVD (ヴァイオリン)鑑賞

事前学習	気に入った体操を演奏前に実践する。	時間	45 分
事後学習	授業内の DVD を観て感じたことを、演奏に反映させる。	時間	45 分

15.まとめと復習

事前学習	気に入った体操を演奏前に実践する。	時間	45 分
事後学習	気に入った体操を普段の生活に取り入れる。	時間	45 分

【授業展開と内容-後期】

1.オリエンテーション・授業概要の説明

事前学習	自分がリラックスできる方法を見つける。	時間	45 分
事後学習	オリエンテーション内容の復習	時間	45 分

2.心身をほぐす体操の実践

事前学習	演奏時の自分の課題、改善したいことをまとめておく。	時間	45 分
事後学習	授業で体操をして、どのような効果があったかを感じてみる。	時間	45 分

3.骨についてのお話

事前学習	前回の体操で、身体の中のどの部分が変わったのかを思い出す。	時間	10 分
事後学習	授業で学んだ骨の仕組みを復習し、どのように演奏に活かすことができるか、工夫する。	時間	80 分

4.骨体操 ～骨盤～

事前学習	演奏時の姿勢・身体の状態がどうなっているかを感じる。	時間	10 分
事後学習	授業で学んだ骨盤の仕組みを復習し、どのように演奏に活かすことができる	時間	80 分

	か、工夫する。		
--	---------	--	--

5.骨体操 ～胸郭～

事前学習	自分の演奏時の胸郭の使い方を覚える。	時間	10 分
事後学習	授業で学んだ胸郭の仕組みを復習し、どのように演奏に活かすことができるか、工夫する。	時間	80 分

6.骨体操 ～股関節・脚～

事前学習	自分の演奏時の脚の使い方を覚える。	時間	10 分
事後学習	授業で学んだ脚や関節の仕組みを復習し、どのように演奏に活かすことができるか、工夫する。	時間	80 分

7.骨体操まとめ①・7つのムーヴメントより①

事前学習	骨体操を実践し、疑問点があればまとめておく。	時間	45 分
事後学習	骨体操の復習をして、演奏する前に実践してみる。	時間	45 分

8.骨体操まとめ②・7つのムーヴメントより②

事前学習	前回のムーヴメントを実践する。	時間	45 分
事後学習	新しく学んだムーヴメントを復習する。	時間	45 分

9.手の骨について・7つのムーヴメントより③

事前学習	これまでの授業で行った中で、自分の気に入った体操を日常に取り入れる。	時間	10 分
事後学習	授業で学んだ手の骨の仕組みを復習し、どのように演奏に活かすことができるか、工夫する。	時間	80 分

10.ナンバのステップなどを用い、リズムカルに身体を動かす

事前学習	これまでの体操で疑問点があればまとめておく。	時間	10 分
事後学習	自分が演奏する曲に合わせて、身体を動かしてみる。	時間	80 分

11.心身をほぐす体操と DVD (ヴァイオリン)鑑賞

事前学習	これまでの授業で行った中で、自分の気に入った体操を演奏前に実践する。	時間	45 分
事後学習	授業内の DVD を観て感じたことを、演奏に反映させる。	時間	45 分

12.心身をほぐす体操と DVD (ピアノ)鑑賞

事前学習	気に入った体操を演奏前に実践する。	時間	45 分
事後学習	授業内の DVD を観て感じたことを、演奏に反映させる。	時間	45 分

13.体操をすると、自分がどのように変わるのか？自分の心と身体をみつめ直す(オンデマンド予定)

事前学習	気に入った体操を演奏前に実践する。	時間	45 分
事後学習	気に入った体操を演奏前に実践する。	時間	45 分

14.ナンバを応用した動きで、リズムカルに身体を動かす

事前学習	気に入った体操を演奏前に実践する。	時間	45 分
------	-------------------	----	------

事後学習	気に入った体操を演奏前に実践する。	時間	45 分
------	-------------------	----	------

15.まとめと復習

事前学習	気に入った体操を演奏前に実践する。	時間	45 分
事後学習	気に入った体操を普段の生活に取り入れる。	時間	45 分

【オフィスアワー】

仙川教員室にて授業前後に時間を確保します。

【テキスト】

1.音が変わる！演奏がラクになる！

ピアノ骨体操 矢野龍彦・須関裕子 2018 年 ¥1,998 978-4-276-14804-8

【その他】

動きやすい服装・靴で、必ず飲み物を持参。

本授業に関するお問い合わせは、suseki.hiroko@g.tohomusic.ac.jp 宛に、各自の桐朋ドメインアドレスから送るようにしてください。

体育実技 7 Let's Play! α (前期), β (後期)					
担当教員	野上 圭太 講師		曜日時限	火 1 時限	
実施キャンパス	仙川	単位	各 1 単位	対象年次	学部 1 年～

【授業の概要】

「Play」とは、音楽家の皆さんにとって「演奏する」こと、辞書の先頭に出てくる意味は「遊ぶ」である。この遊ぶことを通じて自身が動き、考え、健全な身体を作っていくのだ。そもそも遊びは楽しいものなので、楽しんでやるのが最も重要である！

【到達目標】

音楽は個人が主体のことが多いが、時にはオーケストラのようにグループで創っていく機会もある。ゲームをしていく中で知恵を出し話し合い、戦略を立て一致団結して勝利を目指すことにより、個の力が大きな集団の力になる。それを音楽フィールドでの結束力につなげられるようになる。

さらに、いろいろな種目を実施して動くことによって身体活動を活発にさせ、運動不足を解消できるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

身体を動かしたい、身体を動かすことが好き、身体を積極的に動かすことができる学生。

同じ科目名称・同じ担当者であっても毎年内容が変わるため、本科目は「重複履修」を認める。

【授業の形式】

【対面】演習

チーム戦でゲームを実施します。ルール説明の上、チーム戦略を立て、遊んで楽しみましょう。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	10%	90%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に

判断し、S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業時にフィードバックする。

個別課題については Classroom に講評を掲載する。

【授業展開と内容-前期】

1.〈オリエンテーション〉授業説明

事前学習	シラバスを熟読し、履修するか否かを決定する。	時間	60 分
事後学習	オリエンテーションを踏まえ、履修するか否かを再考する。	時間	30 分

2.卓球Ⅰ(シングルス)

事前学習	授業内で指示された内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で演習した課題をもとに、次回授業に取り組むこと。	時間	45 分

3.卓球Ⅱ(ダブルス)

事前学習	授業内で指示された内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で習得した技術や知識が、どのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	45 分

4.ヘルスバレーボール

事前学習	授業内で指示された内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で演習した課題をもとに、次回授業に取り組むこと。	時間	45 分

5.ドッチビー

事前学習	授業内で指示された内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で演習した課題をもとに、次回授業に取り組むこと。	時間	45 分

6.アルティメットⅠ

事前学習	授業内で指示された内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で演習した課題をもとに、次回授業に取り組むこと。	時間	45 分

7.ドッチボール

事前学習	授業内で指示された内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で演習した課題をもとに、次回授業に取り組むこと。	時間	45 分

8.アルティメットⅡ（桐朋特別ルール）

事前学習	授業で習得した技術や知識が、どのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	45 分
事後学習	授業で演習した課題をもとに、次回授業に取り組むこと。	時間	45 分

9.ハンドボール

事前学習	授業内で指示された内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で演習した課題をもとに、次回授業に取り組むこと。	時間	45 分

10.フットサル

事前学習	授業内で指示された内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で演習した課題をもとに、次回授業に取り組むこと。	時間	45 分

11.大縄

事前学習	授業内で指示された内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で演習した課題をもとに、次回授業に取り組むこと。	時間	45 分

12.なわとびリレー

事前学習	授業内で指示された内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で演習した課題をもとに、次回授業に取り組むこと。	時間	45 分

13.課題提出

*遠隔授業(オンデマンド型)

事前学習	授業内で指示された内容を予習してくる。	時間	30 分
事後学習	授業で出された課題を仕上げ、しっかり提出すること。	時間	60 分

14.バドミントン

事前学習	授業内で指示された内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で演習した課題をもとに、次回授業に取り組むこと。	時間	45 分

15.〈学習内容のまとめ〉

事前学習	今まで出された課題が積み重なってできるようにしておくこと。	時間	45 分
事後学習	身体を動かすことで、遊んで楽しくなることで自分の実技にどう生かせるか、考えること。	時間	45 分

【授業展開と内容-後期】

1.〈オリエンテーション〉授業説明

事前学習	シラバスを熟読し、履修するか否かを決定する。	時間	60 分
------	------------------------	----	------

事後学習	オリエンテーションを踏まえ、履修するか否かを再考する。	時間	30 分
------	-----------------------------	----	------

2.卓球Ⅰ(シングルス)

事前学習	授業内で指示された内容を予習しておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で演習した課題をもとに、次回授業に取り組むこと。	時間	45 分

3.卓球Ⅱ(ダブルス)

事前学習	授業内で指示された内容を予習しておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で習得した技術や知識が、どのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	45 分

4.ヘルスパレーボール

事前学習	授業内で指示された内容を予習しておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で演習した課題をもとに、次回授業に取り組むこと。	時間	45 分

5.ドッチビー

事前学習	授業内で指示された内容を予習しておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で演習した課題をもとに、次回授業に取り組むこと。	時間	45 分

6.アルティメットⅠ

事前学習	授業内で指示された内容を予習しておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で演習した課題をもとに、次回授業に取り組むこと。	時間	45 分

7.ドッチボール

事前学習	授業内で指示された内容を予習しておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で演習した課題をもとに、次回授業に取り組むこと。	時間	45 分

8.アルティメットⅡ(桐朋特別ルール)

事前学習	授業内で指示された内容を予習しておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で習得した技術や知識が、どのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	45 分

9.ハンドボール

事前学習	授業内で指示された内容を予習しておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で演習した課題をもとに、次回授業に取り組むこと。	時間	45 分

10.フットサル

事前学習	授業内で指示された内容を予習しておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で演習した課題をもとに、次回授業に取り組むこと。	時間	45 分

11.大縄

事前学習	授業内で指示された内容を予習しておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で演習した課題をもとに、次回授業に取り組むこと。	時間	45 分

12.なわとびリレー

事前学習	授業内で指示された内容を予習しておくこと。	時間	45 分
------	-----------------------	----	------

事後学習	授業で演習した課題をもとに、次回授業に取り組むこと。	時間	45 分
------	----------------------------	----	------

13.課題提出

*遠隔授業(オンデマンド形式)

事前学習	授業内で指示された内容を予習してくる。	時間	30 分
事後学習	授業で出された課題を仕上げ、しっかり提出すること。	時間	60 分

14.バドミントン

事前学習	授業内で指示された内容を予習してくる。	時間	45 分
事後学習	授業で演習した課題をもとに、次回授業に取り組むこと。	時間	45 分

15.〈学習内容のまとめ〉

事前学習	今まで出された課題が積み重なってできるようにしておくこと。	時間	45 分
事後学習	身体を動かすことで、遊んで楽しくなることで自分の実技にどう生かせるか、考えること。	時間	45 分

【オフィスアワー】

火曜日 8:00～8:30 教員室 or 体育センター / 1 時限後 体育センター

木曜日 3 時限後 体育センター

金曜日 2 時限後 体育センター

【テキスト】

【教材】

【その他】

運動に支障のない服装、体育館シューズ(上履き可)必須。

水分は必ず持参すること。

体育実技 8 音楽と共に生きる心と身体 α (前期), β (後期)					
担当教員 須関 裕子 講師			曜日時限		水 3 時限
実施キャンパス 仙川	単位	各 1 単位		対象年次	学部 1 年～

【授業の概要】

本授業では、「心」と「身体」と向き合い、演奏における自分らしいパフォーマンスの実現と、より豊かな音楽活動ができるようになることを目標に、学んでいく。

快く身体を動かすことによって、心身のバランスを整え、自分の理想の音・音楽が奏でられるように、探求していく。

【到達目標】

自分にとって「快い動きは何か」を探求し、普段の生活・音楽活動に活かせるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

履修者は20人以内とします。制限人数を超える場合は、オリエンテーションにて人数調整の抽選(上級生を優先)を行います。

【授業の形式】

【対面授業】演習中心

※半期に2～3回、オンライン授業になる日もあります。詳細は初回オリエンテーションにて説明します。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	20%	80%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に

判断し、(S,)A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業時にフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1.オリエンテーション・授業概要の説明

事前学習	自分がリラックスできる方法を見つける。	時間	45分
事後学習	オリエンテーション内容の復習	時間	45分

2.心身をほぐす体操の実践

事前学習	演奏時の自分の悩み・改善したいことをまとめておく。	時間	45分
事後学習	体操の復習	時間	45分

3.ボディマッピング～自分の身体を知る～

事前学習	前回の体操の復習	時間	10分
事後学習	ボディマッピングによって、自分の演奏がどのように変わるのかを試してみる。	時間	80分

4.身体の使い方と演奏(オンデマンド予定)

事前学習	前回の授業内容の復習	時間	10 分
事後学習	ボディマッピングによって、自分の演奏がどのように変わるのかを試してみる。	時間	80 分

5.骨を動かして身体を整える～骨体操より～

事前学習	前回の授業内容の復習	時間	10 分
事後学習	授業で行った骨体操を演奏前に実践してみる。	時間	80 分

6.骨を動かして元気になる～骨体操より～

事前学習	前回の授業内容の復習	時間	10 分
事後学習	授業で行った骨体操を演奏前に実践してみる。	時間	80 分

7.心も身体も快く①～7つのムーヴメントより～

事前学習	前回の授業内容の復習	時間	10 分
事後学習	授業で行ったムーヴメントを演奏前に実践してみる。	時間	80 分

8.体操によって、自分の心身がどのように変わるのか？(オンデマンド予定)

事前学習	前回の授業内容の復習	時間	10 分
事後学習	ムーヴメントを演奏前に実践してみる。	時間	80 分

9.心身をほぐす体操と DVD(ピアノ)鑑賞

事前学習	前回の授業内容の復習	時間	10 分
事後学習	授業内の DVD を観て感じたことを思いながら楽器に向かう。	時間	80 分

10.心身をほぐす体操と DVD(ヴァイオリン)鑑賞

事前学習	これまでの授業で行った中で、自分の気に入った体操を演奏前に実践する。	時間	45 分
事後学習	授業内の DVD を観て感じたことを思いながら楽器に向かう。	時間	45 分

11.心も身体も軽やかに～リズムカルな動き～

事前学習	これまでの授業で行った中で気に入った体操を、楽器の練習前に実践する。	時間	45 分
事後学習	授業で行った中で気に入った体操を、楽器の練習前に実践する。	時間	45 分

12.心も身体も柔軟に～リラックス～

事前学習	気に入った体操を、演奏前に実践する。	時間	45 分
事後学習	気に入った体操を、演奏前に実践する。	時間	45 分

13.実践につなげる～演奏がどのように変化するか～(オンデマンド予定)

事前学習	気に入った体操を、演奏前に実践する。	時間	45 分
事後学習	気に入った体操を、演奏前に実践する。	時間	45 分

14.心と身体～身体を動かして心の変化をみる～

事前学習	体操をすると、自分の心と身体がどのように変化するかを感じる。	時間	45 分
事後学習	気に入った体操を演奏前に実践する。	時間	45 分

15.まとめ～音楽と共に生きる心と身体～

事前学習	気に入った体操を、演奏前に実践する。	時間	45 分
事後学習	気に入った体操を、日常に取り入れる。	時間	45 分

【授業展開と内容-後期】

1.オリエンテーション・授業概要の説明

事前学習	自分がリラックスできる方法を見つける。	時間	45 分
事後学習	オリエンテーション内容の復習	時間	45 分

2.心身をほぐす体操の実践

事前学習	演奏時の自分の悩み・改善したいことをまとめておく。	時間	45 分
事後学習	体操の復習	時間	45 分

3.ボディマッピング～自分の身体を知る～

事前学習	前回の体操の復習	時間	10 分
事後学習	ボディマッピングによって、自分の演奏がどのように変わるのかを試してみる。	時間	80 分

4.ボディマッピング～自分をよく観察し動いてみよう～

事前学習	前回の授業内容の復習	時間	10 分
事後学習	ボディマッピングによって、自分の演奏がどのように変わるのかを試してみる。	時間	80 分

5.骨を動かして身体を整える～骨体操より～

事前学習	前回の授業内容の復習	時間	10 分
事後学習	授業で行った骨体操を演奏前に実践してみる。	時間	80 分

6.骨を動かして元気になる～骨体操より～

事前学習	前回の授業内容の復習	時間	10 分
事後学習	授業で行った骨体操を演奏前に実践してみる。	時間	80 分

7.心も身体も快く①～7つのムーブメントより～

事前学習	前回の授業内容の復習	時間	10 分
事後学習	授業で行ったムーブメントを演奏前に実践してみる。	時間	80 分

8.心も身体も快く②～7つのムーブメントより～

事前学習	前回の授業内容の復習	時間	10 分
事後学習	授業で行ったムーブメントを演奏前に実践してみる。	時間	80 分

9.心身をほぐす体操と DVD (ピアノ)鑑賞

事前学習	前回の授業内容の復習	時間	10 分
事後学習	授業内の DVD を観て感じたことを思いながら楽器に向かう。	時間	80 分

10.心身をほぐす体操と DVD (ヴァイオリン)鑑賞

事前学習	これまでの授業で行った中で、自分の気に入った体操を演奏前に実践する。	時間	45 分
事後学習	授業内の DVD を観て感じたことを思いながら楽器に向かう。	時間	45 分

11.心も身体も軽やかに～リズムカルな動き～

事前学習	これまでの授業で行った中で気に入った体操を、楽器の練習前に実践する。	時間	45 分
事後学習	授業で行った中で気に入った体操を、楽器の練習前に実践する。	時間	45 分

12.心も身体も柔軟に～リラックス～

事前学習	気に入った体操を、演奏前に実践する。	時間	45 分
事後学習	気に入った体操を、演奏前に実践する。	時間	45 分

13.心と身体～身体を動かして心の変化をみる～(オンデマンド予定)

事前学習	気に入った体操を演奏前に実践する。	時間	45 分
事後学習	気に入った体操を、演奏前に実践する。	時間	45 分

14.実践につなげる～演奏がどのように変化するか～

事前学習	体操をすると、自分の心と身体がどのように変化するかを感じる。	時間	45 分
事後学習	気に入った体操を、演奏前に実践する。	時間	45 分

15.まとめ～音楽と共に生きる心と身体～

事前学習	気に入った体操を、演奏前に実践する。	時間	45 分
事後学習	気に入った体操を、日常に取り入れる。	時間	45 分

【オフィスアワー】

仙川教員室にて授業前後に時間を確保します。

【テキスト】

1.音が変わる！演奏がラクになる！

ピアノ骨体操 矢野龍彦・須関裕子 2018 年 ¥1,998 978-4-276-14804-8

【その他】

動きやすい服装・靴で、必ず飲み物を持参。

本授業に関するお問い合わせは、suseki.hiroko@g.tohomusic.ac.jp 宛に、各自の桐朋ドメインアドレスから送るようにしてください。

体育実技特別コース(前期),(後期)					
担当教員	荒巻 由紀 講師	曜日時限		金 4 時限	
実施キャンパス	仙川	単位	各 1 単位	対象年次	学部 1 年～

【授業の概要】

通常の体育実技授業への参加を医師から止められている学生、1ヶ月以上にわたって通常の体育実技授業を病気やケガなどにより参加できない学生のための授業。

【到達目標】

受講生に応じて個別に設定する。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

医師の診断書を必要とする。

【授業の形式】

受講生に応じて随時指示する。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	20%	80%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に

判断し、S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業時にフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1.受講生に応じて随時指示する。

事前学習	次回の授業までに質問事項などがあればまとめて来る。	時間	30 分
事後学習	次回の授業までに質問事項などがあればまとめておく。	時間	60 分

2.受講生に応じて随時指示する。

事前学習	次回の授業までに質問事項などがあればまとめて来る。	時間	30 分
事後学習	次回の授業までに質問事項などがあればまとめておく。	時間	60 分

3.受講生に応じて指示する。

事前学習	次回の授業までに質問事項などがあればまとめて来る。	時間	30 分
事後学習	次回の授業までに質問事項などがあればまとめておく。	時間	60 分

4.受講生に応じて随時指示する。

事前学習	次回の授業までに質問事項などがあればまとめて来る。	時間	30 分
事後学習	次回の授業までに質問事項などがあればまとめて来る。	時間	60 分

5.受講生に応じて随時指示する。

事前学習	次回の授業までに質問事項などがあればまとめて来る。	時間	30 分
事後学習	次回の授業までに質問事項などがあればまとめておく。	時間	60 分

6.受講生に応じて随時指示する。

事前学習	次回の授業までに質問事項などがあればまとめて来る。	時間	30 分
事後学習	次回の授業までに質問事項などがあればまとめておく。	時間	60 分

7.受講生に応じて指示する。

事前学習	次回の授業までに質問事項などがあればまとめて来る。	時間	30 分
事後学習	次回の授業までに質問事項などがあればまとめておく。	時間	60 分

8.受講生に応じて随時指示する。

事前学習	次回の授業までに質問事項などがあればまとめて来る。	時間	30 分
事後学習	次回の授業までに質問事項などがあればまとめておく。	時間	60 分

9.受講生に応じて随時指示する。

事前学習	次回の授業までに質問事項などがあればまとめて来る。	時間	30 分
事後学習	次回の授業までに質問事項などがあればまとめておく。	時間	60 分

10.受講生に応じて随時指示する。

事前学習	次回の授業までに質問事項などがあればまとめて来る。	時間	30 分
事後学習	次回の授業までに質問事項などがあればまとめておく。	時間	60 分

11.受講生に応じて随時指示する。

事前学習	次回の授業までに質問事項などがあればまとめて来る。	時間	30 分
事後学習	次回の授業までに質問事項などがあればまとめておく。	時間	60 分

12.受講生に応じて随時指示する。

事前学習	次回の授業までに質問事項などがあればまとめて来る。	時間	30 分
事後学習	次回の授業までに質問事項などがあればまとめておく。	時間	60 分

13.受講生に応じて随時指示する。

事前学習	次回の授業までに質問事項などがあればまとめて来る。	時間	30 分
事後学習	次回の授業までに質問事項などがあればまとめておく。	時間	60 分

14.受講生に応じて随時指示する。

事前学習	次回の授業までに質問事項などがあればまとめて来る。	時間	30 分
事後学習	次回の授業までに質問事項などがあればまとめておく。	時間	60 分

15.受講生に応じて随時指示する。

事前学習	次回の授業までに質問事項などがあればまとめて来る。	時間	30 分
事後学習	これまでの授業内容を振りかえっておく。	時間	60 分

【授業展開と内容-後期】

1.受講生に応じて随時指示する。

事前学習	次回の授業までに質問事項などがあればまとめて来る。	時間	30 分
事後学習	次回の授業までに質問事項などがあればまとめて来る。	時間	60 分

2.受講生に応じて随時指示する。

事前学習	次回の授業までに質問事項などがあればまとめて来る。	時間	30 分
事後学習	次回の授業までに質問事項などがあればまとめて来る。	時間	60 分

3.受講生に応じて指示する。

15.受講生に応じて随時指示する。

事前学習	次回の授業までに質問事項などがあればまとめて来る。	時間	30 分
事後学習	これまでの授業内容を振りかえっておく。	時間	60 分

【オフィスアワー】

木曜日 14 時 30 分～15 時 30 分 体育センター1 階体育教員室

【その他】

本授業についての問い合わせは、aramaki.yuki@g.tohomusic.ac.jp へ各自の桐朋ドメインアドレスから送ること。

体育実技 9 室内球技 α (前期), β (後期)					
担当教員	伊澤 英紀 講師		曜日時限	木 4 時限	
実施キャンパス	仙川	単位	各 1 単位	対象年次	学部 1 年～

【授業の概要】

運動・スポーツ実技を通じて、心と体の健康を十分認識し、本来人間が持っている健康の度合い、体力の維持・向上を自己管理できる能力を習得する。

【到達目標】

- ① 運動・スポーツを通じて、楽しみながら体力の回復を図り、維持・向上に努めることができるようになる。
- ② 生涯にわたり、運動・スポーツ活動を習慣化できる資質を養う能力を高めることができるようになる。
- ③ スポーツゲームを通じて、フェアプレイの精神、集団行動に必要な考え方を身に着けることができるようになる。
- ④ 運動・スポーツを通じて、人とのコミュニケーション能力を高めることができるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

全学年全学科対象。運動・スポーツに適した服装および室内シューズを着用すること。授業は前向きな姿勢で取り組むこと。

※履修制限数は、20～25 名ほど。制限人数を超える場合は、初回オリエンテーションにて人数調整の抽選(教職必修の上級生を優先)を行う。

【授業の形式】

本授業は、【対面授業】とし、運動・スポーツを実施する科目である。

※受講者は、授業前後の手洗いおよびマスクの着用を推奨する。

【授業実施場所】:仙川キャンパス 体育センター1階 第3体育室

【実施予定種目】卓球、ドッチボール、バドミントン、ボッチャ、縄跳び、バレーボール、バスケットボール、フットサル、モルックなど

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
10%	10%	80%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に

判断し、S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業時にフィードバックする。

学年末試験／学年末レポートについては Classroom に講評を掲載する。

【授業展開と内容-前期】

1.初回オリエンテーション

履修者が 25 名を超える場合は、人数調整の抽選を行う。

※履修希望者は、必ず出席すること。

授業実施場所:仙川キャンパス 体育センター 1階 第3体育室

授業担当 伊澤のメールアドレス

izawa.hidenori@g.tohomusic.ac.jp

本授業に関して、何か質問があれば、伊澤へご連絡ください。

事前学習	シラバスを読んで、意欲的に継続して出席できるか確認しておく。	時間	30 分
事後学習	授業で積極的に動かすカラダの部位をほぐしたり、ストレッチを行うことで、疲労回復を図るとともに、運動・スポーツを日常的に行えるコンディションを維持する。	時間	60 分

2.卓球、ドッチボール、バドミントン、ボッチャ、縄跳び、バレーボール、バスケットボール、フットサル、モルックなどを実施する。

事前学習	前回の授業内容を振り返ることで、パフォーマンスの維持・向上に努める	時間	30 分
------	-----------------------------------	----	------

事後学習	授業で多用したからだの部位をほぐしたり、ストレッチを行うことで、疲労回復を図るとともに、運動・スポーツを日常的に行えるコンディションを維持する。	時間	60 分
------	--	----	------

3.卓球、ドッチボール、バドミントン、ボッチャ、縄跳び、バレーボール、バスケットボール、フットサル、モルックなどを実施する。

事前学習	前回の授業内容を振り返ることで、パフォーマンスの維持・向上に努める	時間	30 分
事後学習	授業で多用したからだの部位をほぐしたり、ストレッチを行うことで、疲労回復を図るとともに、運動・スポーツを日常的に行えるコンディションを維持する。	時間	60 分

4.卓球、ドッチボール、バドミントン、ボッチャ、縄跳び、バレーボール、バスケットボール、フットサル、モルックなどを実施する。

事前学習	前回の授業内容を振り返ることで、パフォーマンスの維持・向上に努める	時間	30 分
事後学習	授業で多用したからだの部位をほぐしたり、ストレッチを行うことで、疲労回復を図るとともに、運動・スポーツを日常的に行えるコンディションを維持する。	時間	60 分

5.卓球、ドッチボール、バドミントン、ボッチャ、縄跳び、バレーボール、バスケットボール、フットサル、モルックなどを実施する。

事前学習	前回の授業内容を振り返ることで、パフォーマンスの維持・向上に努める	時間	30 分
事後学習	授業で多用したからだの部位をほぐしたり、ストレッチを行うことで、疲労回復を図るとともに、運動・スポーツを日常的に行えるコンディションを維持する。	時間	60 分

6.卓球、ドッチボール、バドミントン、ボッチャ、縄跳び、バレーボール、バスケットボール、フットサル、モルックなどを実施する。

事前学習	前回の授業内容を振り返ることで、パフォーマンスの維持・向上に努める	時間	30 分
事後学習	授業で多用したからだの部位をほぐしたり、ストレッチを行うことで、疲労回復を図るとともに、運動・スポーツを日常的に行えるコンディションを維持する。	時間	60 分

7.卓球、ドッチボール、バドミントン、ボッチャ、縄跳び、バレーボール、バスケットボール、フットサル、モルックなどを実施する。

事前学習	前回の授業内容を振り返ることで、パフォーマンスの維持・向上に努める	時間	30 分
事後学習	授業で多用したからだの部位をほぐしたり、ストレッチを行うことで、疲労回復を図るとともに、運動・スポーツを日常的に行えるコンディションを維持する。	時間	60 分

8.卓球、ドッチボール、バドミントン、ボッチャ、縄跳び、バレーボール、バスケットボール、フットサル、モルックなどを実施する。

事前学習	前回の授業内容を振り返ることで、パフォーマンスの維持・向上に努める	時間	30 分
事後学習	授業で多用したからだの部位をほぐしたり、ストレッチを行うことで、疲労回復を図るとともに、運動・スポーツを日常的に行えるコンディションを維持する。	時間	60 分

9.卓球、ドッチボール、バドミントン、ボッチャ、縄跳び、バレーボール、バスケットボール、フットサル、モルックなどを実施する。

事前学習	前回の授業内容を振り返ることで、パフォーマンスの維持・向上に努める	時間	30 分
事後学習	授業で多用したからだの部位をほぐしたり、ストレッチを行うことで、疲労回復を図るとともに、運動・スポーツを日常的に行えるコンディションを維持する。	時間	60 分

10.卓球、ドッチボール、バドミントン、ボッチャ、縄跳び、バレーボール、バスケットボール、フットサル、モルックなどを実施する。

事前学習	前回の授業内容を振り返ることで、パフォーマンスの維持・向上に努める	時間	30 分
事後学習	授業で多用したからだの部位をほぐしたり、ストレッチを行うことで、疲労回復を図るとともに、運動・スポーツを日常的に行えるコンディションを維持する。	時間	60 分

11.卓球、ドッチボール、バドミントン、ボッチャ、縄跳び、バレーボール、バスケットボール、フットサル、モルックなどを実施する。

事前学習	前回の授業内容を振り返ることで、パフォーマンスの維持・向上に努める	時間	30 分
事後学習	授業で多用したからだの部位をほぐしたり、ストレッチを行うことで、疲労回復を図るとともに、運動・スポーツを日常的に行えるコンディションを維持する。	時間	60 分

12.卓球、ドッチボール、バドミントン、ボッチャ、縄跳び、バレーボール、バスケットボール、フットサル、モルックなどを実施する。

事前学習	前回の授業内容を振り返ることで、パフォーマンスの維持・向上に努める	時間	30 分
事後学習	授業で多用したからだの部位をほぐしたり、ストレッチを行うことで、疲労回復を図るとともに、運動・スポーツを日常的に行えるコンディションを維持する。	時間	60 分

13.卓球、ドッチボール、バドミントン、ボッチャ、縄跳び、バレーボール、バスケットボール、フットサル、モルックなどを実施する。

事前学習	前回の授業内容を振り返ることで、パフォーマンスの維持・向上に努める	時間	30 分
事後学習	授業で多用したからだの部位をほぐしたり、ストレッチを行うことで、疲労回復を図るとともに、運動・スポーツを日常的に行えるコンディションを維持する。	時間	60 分

14.卓球、ドッチボール、バドミントン、ボッチャ、縄跳び、バレーボール、バスケットボール、フットサル、モルックなどを実施する。

事前学習	前回の授業内容を振り返ることで、パフォーマンスの維持・向上に努める	時間	30 分
事後学習	授業で多用したからだの部位をほぐしたり、ストレッチを行うことで、疲労回復を図るとともに、運動・スポーツを日常的に行えるコンディションを維持する。	時間	60 分

15.卓球、ドッチボール、バドミントン、ボッチャ、縄跳び、バレーボール、バスケットボール、フットサル、モルックなどを実施する。

事前学習	前回の授業内容を振り返ることで、パフォーマンスの維持・向上に努める	時間	30 分
事後学習	授業で多用したからだの部位をほぐしたり、ストレッチを行うことで、疲労回復を図るとともに、運動・スポーツを日常的に行えるコンディションを維持する。	時間	60 分

【授業展開と内容-後期】

1.初回オリエンテーション

履修者が 25 名を超える場合は、人数調整の抽選を行う。

※履修希望者は、必ず出席すること。

授業実施場所:仙川キャンパス 体育センター 1階 第3体育室

授業担当 伊澤のメールアドレス

izawa.hidenori@g.tohomusic.ac.jp

本授業に関して、何か質問があれば、伊澤へご連絡ください。

事前学習	シラバスを読んで、意欲的に継続して出席できるか確認しておく。	時間	30分
事後学習	授業で積極的に動かすカラダの部位をほぐしたり、ストレッチを行うことで、疲労回復を図るとともに、運動・スポーツを日常的に行えるコンディションを維持する。	時間	60分

2.卓球、ドッチボール、バドミントン、ボッチャ、縄跳び、バレーボール、バスケットボール、フットサル、モルックなどを実施する。

事前学習	前回の授業内容を振り返ることで、パフォーマンスの維持・向上に努める	時間	30分
事後学習	授業で多用したからだの部位をほぐしたり、ストレッチを行うことで、疲労回復を図るとともに、運動・スポーツを日常的に行えるコンディションを維持する。	時間	60分

3.卓球、ドッチボール、バドミントン、ボッチャ、縄跳び、バレーボール、バスケットボール、フットサル、モルックなどを実施する。

事前学習	前回の授業内容を振り返ることで、パフォーマンスの維持・向上に努める	時間	30分
事後学習	授業で多用したからだの部位をほぐしたり、ストレッチを行うことで、疲労回復を図るとともに、運動・スポーツを日常的に行えるコンディションを維持する。	時間	60分

4.卓球、ドッチボール、バドミントン、ボッチャ、縄跳び、バレーボール、バスケットボール、フットサル、モルックなどを実施する。

事前学習	前回の授業内容を振り返ることで、パフォーマンスの維持・向上に努める	時間	30分
事後学習	授業で多用したからだの部位をほぐしたり、ストレッチを行うことで、疲労回復を図るとともに、運動・スポーツを日常的に行えるコンディションを維持する。	時間	60分

5.卓球、ドッチボール、バドミントン、ボッチャ、縄跳び、バレーボール、バスケットボール、フットサル、モルックなどを実施する。

事前学習	前回の授業内容を振り返ることで、パフォーマンスの維持・向上に努める	時間	30分
事後学習	授業で多用したからだの部位をほぐしたり、ストレッチを行うことで、疲労回復を図るとともに、運動・スポーツを日常的に行えるコンディションを維持する。	時間	60分

6.卓球、ドッチボール、バドミントン、ボッチャ、縄跳び、バレーボール、バスケットボール、フットサル、モルックなどを実施する。

事前学習	前回の授業内容を振り返ることで、パフォーマンスの維持・向上に努める	時間	30分
事後学習	授業で多用したからだの部位をほぐしたり、ストレッチを行うことで、疲労回復を図るとともに、運動・スポーツを日常的に行えるコンディションを維持する。	時間	60分

7.卓球、ドッチボール、バドミントン、ボッチャ、縄跳び、バレーボール、バスケットボール、フットサル、モルックなどを実施する。

事前学習	前回の授業内容を振り返ることで、パフォーマンスの維持・向上に努める	時間	30 分
事後学習	授業で多用したからだの部位をほぐしたり、ストレッチを行うことで、疲労回復を図るとともに、運動・スポーツを日常的に行えるコンディションを維持する。	時間	60 分

8.卓球、ドッチボール、バドミントン、ボッチャ、縄跳び、バレーボール、バスケットボール、フットサル、モルックなどを実施する。

事前学習	前回の授業内容を振り返ることで、パフォーマンスの維持・向上に努める	時間	30 分
事後学習	授業で多用したからだの部位をほぐしたり、ストレッチを行うことで、疲労回復を図るとともに、運動・スポーツを日常的に行えるコンディションを維持する。	時間	60 分

9.卓球、ドッチボール、バドミントン、ボッチャ、縄跳び、バレーボール、バスケットボール、フットサル、モルックなどを実施する。

事前学習	前回の授業内容を振り返ることで、パフォーマンスの維持・向上に努める	時間	30 分
事後学習	授業で多用したからだの部位をほぐしたり、ストレッチを行うことで、疲労回復を図るとともに、運動・スポーツを日常的に行えるコンディションを維持する。	時間	60 分

10.卓球、ドッチボール、バドミントン、ボッチャ、縄跳び、バレーボール、バスケットボール、フットサル、モルックなどを実施する。

事前学習	前回の授業内容を振り返ることで、パフォーマンスの維持・向上に努める	時間	30 分
事後学習	授業で多用したからだの部位をほぐしたり、ストレッチを行うことで、疲労回復を図るとともに、運動・スポーツを日常的に行えるコンディションを維持する。	時間	60 分

11.卓球、ドッチボール、バドミントン、ボッチャ、縄跳び、バレーボール、バスケットボール、フットサル、モルックなどを実施する。

事前学習	前回の授業内容を振り返ることで、パフォーマンスの維持・向上に努める	時間	30 分
事後学習	授業で多用したからだの部位をほぐしたり、ストレッチを行うことで、疲労回復を図るとともに、運動・スポーツを日常的に行えるコンディションを維持する。	時間	60 分

12.卓球、ドッチボール、バドミントン、ボッチャ、縄跳び、バレーボール、バスケットボール、フットサル、モルックなどを実施する。

事前学習	前回の授業内容を振り返ることで、パフォーマンスの維持・向上に努める	時間	30 分
事後学習	授業で多用したからだの部位をほぐしたり、ストレッチを行うことで、疲労回復を図るとともに、運動・スポーツを日常的に行えるコンディションを維持する。	時間	60 分

13.卓球、ドッチボール、バドミントン、ボッチャ、縄跳び、バレーボール、バスケットボール、フットサル、モルックなどを実施する。

事前学習	前回の授業内容を振り返ることで、パフォーマンスの維持・向上に努める	時間	30 分
事後学習	授業で多用したからだの部位をほぐしたり、ストレッチを行うことで、疲労回復を図るとともに、運動・スポーツを日常的に行えるコンディションを維持する。	時間	60 分

14.卓球、ドッチボール、バドミントン、ボッチャ、縄跳び、バレーボール、バスケットボール、フットサル、モルックなどを実施する。

事前学習	前回の授業内容を振り返ることで、パフォーマンスの維持・向上に努める	時間	30 分
事後学習	授業で多用したからだの部位をほぐしたり、ストレッチを行うことで、疲労回復を図るとともに、運動・スポーツを日常的に行えるコンディションを維持する。	時間	60 分

15.卓球、ドッチボール、バドミントン、ボッチャ、縄跳び、バレーボール、バスケットボール、フットサル、モルックなどを実施する。

事前学習	前回の授業内容を振り返ることで、パフォーマンスの維持・向上に努める	時間	30 分
事後学習	授業で多用したからだの部位をほぐしたり、ストレッチを行うことで、疲労回復を図るとともに、運動・スポーツを日常的に行えるコンディションを維持する。	時間	60 分

【オフィスアワー】

木曜日 3 限後・4 限後 仙川キャンパス 体育センター1 階教員室

金曜日 1 限後・2 限後 仙川キャンパス 体育センター1 階教員室